

綾瀬市図書館基本構想



令和7年1月
綾 瀬 市

はじめに

綾瀬市の図書館の歴史は、明治42（1909）年にまで遡り、昭和8（1933）年には文部省より選奨されるなど、古くから本と学びを大切にする地域でした。その後、現図書館が昭和56（1981）年に開館し、生涯学習の基幹施設として、その機能を最大限発揮してまいりましたが、開館から40年以上が経過し、様々な課題を抱えています。

そうした中、令和3年度より、本市における図書館の今後を市民と一緒に考え、市民参加の図書館づくりを目指すため、公募による有志の市民と図書館関係者で構成される「あやせの図書館を考える会」を設置し、本市に望ましいこれからの図書館像を検討してまいりました。

令和4年度には、同会での議論を参考に、「これからの綾瀬市立図書館の在り方について（指針）」の改定を行い、「知の情報拠点としての図書館」、「学び、交流できる図書館」、「地域の魅力を伝える図書館」、「すべての人に開かれた身近な図書館」の4つの目指す図書館像を明らかにしました。

令和5年度から令和6年にかけては、同指針を基礎資料として、本基本構想の策定を行いました。策定にあたっては、各種アンケートや関係者へのヒアリング調査、市民ワークショップ、パブリックコメント等を実施し、多くの方々の御協力をいただきながら、引き続き市民の思いを聴くことを大切にまいりました。また、綾瀬市生涯学習推進審議会及び同審議会図書館部会においては、非常に活発な議論をいただき、専門的な見地から諮問・答申をいただいております。

多様化・複雑化する社会の中で、子どもの頃から生涯を通して学び続けられる環境はますます重要な意義を持っています。図書館は、本市の「知のインフラ」として、世代を超えて、市民の暮らしを豊かにし、市民一人ひとりが学びや交流を通して、それぞれの夢の実現と社会参画への力を育むための、未来に寄与する大変重要な施設と考えております。

今後も市民の皆様とともに、人が育ち、地域が成長するための、図書館の再整備に向けた取り組みを進めてまいりますので、引き続き御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、本基本構想の策定に御協力いただきました皆様に、改めて厚く感謝申し上げます。

令和7年1月

綾瀬市長

橘川佳彦



目 次

第1章 計画策定の目的	7
第2章 前提条件の整理	8
2.1 「これからの綾瀬市立図書館の在り方について（指針）」の方向性の整理	8
2.2 現図書館の施設・機能・サービスの分析	10
2.3 望ましい基準及び同規模自治体図書館との比較	19
2.4 ICT機器活用を含む図書館の先進事例の整理	21
2.5 綾瀬市の特色と関連計画の把握	29
第3章 市民ニーズの調査と分析	32
3.1 アンケート調査	32
3.2 ヒアリング調査	36
3.3 ワークショップ	40
第4章 解消が必要な課題と今後の方向性	43
4.1 市立図書館の課題	43
4.2 今後の市立図書館の基本理念・基本方針	45
第5章 図書館のサービスの方向性	47
5.1 本と人をつなぎ、一人ひとりの学びや暮らしを支援	47
5.2 人と人をつなぎ、交流や新たな知の創出を促進	49
5.3 人とまちをつなぎ、地域の魅力に触れながら思い思いに過ごせる拠点づくりに貢献 ..	50
第6章 施設規模と再編手法の検討	51
6.1 蔵書と施設規模の検討	51
6.2 再整備手法のイメージ	56
巻末資料	59
資料1 策定経過等	61
資料1.1 策定経過	61
資料1.2 諮問文	62
資料1.3 答申文	63
資料2 綾瀬市生涯学習推進審議会関連資料	65
資料2.1 綾瀬市付属機関の設置に関する条例（抄）	65
資料2.2 綾瀬市生涯学習推進審議会規則	66
資料2.3 綾瀬市生涯学習推進審議会名簿	68
資料2.4 図書館部会名簿	68

資料3 市民ニーズ調査結果.....	69
資料3.1 市民アンケート調査結果.....	69
資料3.2 各種ヒアリング結果.....	98
資料3.3 市民ワークショップ結果.....	105
資料4 その他.....	124
資料4.1 用語解説.....	124
資料4.2 綾瀬市の図書館の歴史に関する参考文献.....	125

第1章 計画策定の目的



綾瀬市立図書館は、昭和 56（1981）年の本館開館から 40 年以上が経過し、蔵書収容能力の超過や、閲覧・学習・読み聞かせなどの各種活動のためのスペースの不足、施設・設備の老朽化、駐車場の不足、バリアフリー対応など求められるサービスを提供する上で多くの課題を抱えています。

また、本市の「知のインフラ」である市立図書館には、人と情報をつなぎ、人が育つ生涯学習の基幹施設として、潤いのある市民生活や活力ある地域社会づくりのために、特に重要な公共施設としての役割が期待されています。

こうした中、綾瀬市では、社会状況の変化等を踏まえて市立図書館の今後を市民と共に考え、市民参加の図書館づくりを目指すため、令和 4 年 1 月に「あやせの図書館を考える会」を設置し、本会において約 1 年間、計 5 回にわたる議論を行い、その内容を参考に令和 5 年 3 月に「これからの綾瀬市立図書館の在り方について（指針）」（以下、「指針」とします。）を改定しました。

本計画は、これらを踏まえ、さらに詳細な市立図書館の現状や市民ニーズ、先進事例の動向等についても調査と分析をしたうえで、本市の図書館として目指すべき方向性や必要な機能、施設再編方針等を具体的に示すものです。



綾瀬市立図書館本館

第2章 前提条件の整理



2.1 「これからの綾瀬市立図書館の在り方について（指針）」の方向性の整理

令和4年度の指針の改定にあたっては、現市立図書館の課題として資料及び市民ニーズに対応した機能・事業の充実、読書環境や施設の整備をあげた上で、目指す図書館像に以下の4つを設定しました。そして、運営面・施設面の双方から表2-1に示す各種取り組みを進めることとしました。

指針で目指す図書館像

1. 知の情報拠点としての図書館

- 知の拠点施設として、さまざまな知識・情報を収集・発信・提供していく図書館を目指します

2. 学び、交流できる図書館

- 誰もが気軽に訪れ、学び、時を過ごすことのできる居場所としての図書館を目指します。また、利用者同士が、図書館資料の活用や図書館事業等への参加を通して、知識・情報を共有できる交流の場としての図書館を目指します

3. 地域の魅力を伝える図書館

- 地域の歴史や文化、特徴を知ることのできる資料を収集・提供することで、地域の魅力を再発見し、郷土愛の醸成と地域の活性化に寄与する図書館を目指します

4. すべての人に開かれた身近な図書館

- 子どもから高齢者まで、障がい者や外国人など図書館を利用しにくかった方も含め、誰もが利用しやすい図書館サービスの提供と環境整備に努めるとともに、アウトリーチサービスや電子図書館サービスなどの充実により、市民がより身近に利用できる図書館を目指します



綾瀬市立図書館
マスコットキャラクター「ピッキー」

表 2-1 基本方針と関連する取り組み内容例

	基本方針	取り組み内容例
運 営	① 多様な資料・情報の収集、提供	郷土資料、電子書籍、外国語資料、点字資料、大活字本等を含む多様な資料の提供 等
	② 情報化の推進	外部データベースの活用／電子図書館サービス 館内Wi-Fi環境／多様なメディアによる情報発信 等
	③ 利用者支援・サービスの充実	読書普及事業の拡充／レファレンス・レフェラルサービスの周知・強化／利用が困難な方々への支援 アウトリーチサービス／オンラインサービス 等
	④ 子どもの読書活動を支援	読書相談、読書普及事業、配本サービス等の拡充 子育て支援センター等の関連機関との連携強化 等
	⑤ 学校連携事業を推進	学校図書館運営や司書教諭等への支援 学校支援貸出・団体貸出の推進／図書館案内受入 図書館内への作品展示 等
	⑥ 関連機関との連携を継続・推進	広域利用協定図書館や県内図書館等との連携強化 等
	⑦ 新たな発見の場となる学びと交流の場を形成	講座、読書会などの開催、企画展示の充実 利用者による情報発信の場の提供／書庫開放 ボランティアとの連携や育成支援 等
	⑧ 特色ある図書館(図書室)運営	地域性を活かした読書環境・蔵書・サービスの提供
施 設	① 誰もが利用しやすい施設環境の整備	ライフステージに応じた空間の設定 調査・研究スペースの充実／レファレンス用窓口設置 学習・会議・飲食・展示、ボランティア用スペースの整備 等
	② アウトリーチサービスによる利用しやすい図書館	返却ポストや図書館サービスポイントの拡充
	③ ICTの活用による利便性の高い図書館	ICタグシステムや自動貸出機の導入

2.2 現図書館の施設・機能・サービスの分析

2.2.1 沿革

綾瀬市の図書館の歴史は、綾瀬小学校で明治 42（1909）年に設置された図書館に端を発しています。神奈川県内でも図書館の設置は、相模原のほか 2、3 の町や村にみられるくらいと珍しいなかで、当時の綾瀬村の村長の働きかけで設置され、児童のほかに村民にも多く利用されました。そして、火災や関東大震災等を経て、昭和 6（1931）年には綾瀬小学校内に村立図書館として再建されました。その後の昭和 8（1933）年には、その経営成績が良好であるため、文部省より選奨されました。また、昭和 10（1935）年には、当時の高座郡内一となる 5,700 冊の資料を有し、年間開館日数も 346 日であったほか、青年団による知識訓練として図書館利用が奨励されていたことから、県内でも横浜市図書館に次いで 2 番目となる非常に多くの利用がありました。

このように古くから図書館が存在し、住民による読書活動も盛んな綾瀬市において、現在の市立図書館本館は昭和 56（1981）年に開館しました。その後は昭和 60（1985）年から地区センター図書室での貸出を開始し、平成 6（1994）年には寺尾いずみ図書室（寺尾いずみ会館内）、平成 10（1998）年には南部ふれあい図書室（南部ふれあい会館内）を開設しています。平成 20（2008）年度からは、県内で初めて指定管理者制度を導入し、現在も継続しています。近年では、開館日数・時間の拡大、電子図書館や視覚障がい者専用電子図書館サービスの提供、「あかちゃんのとしょかん」や利用者参加型事業の開催、「りんごの棚（読むことに困難を持つ人でも楽しむことができる資料を集めたコーナー）」「多言語資料の棚」を通じた資料提供等を通じて、サービスの拡充に取り組んでいます。

表 2-2 市立図書館の主な沿革

年月	経過・取り組み等
昭和56年 7月	・綾瀬市立図書館開館 ・リクエストサービス開始
昭和60年 6月	北の台地区センター図書室貸出業務開始
昭和63年 4月	図書館オンラインシステム導入
平成元年 4月	市内小学校へ配本事業開始
平成元年 11月	ビッキー（市立図書館のマスコットキャラクター）誕生
平成2年 4月	北の台図書室開設（北の台地区センター内）
平成6年 5月	寺尾いずみ図書室開設（寺尾いずみ会館内）
平成10年 4月	南部ふれあい図書室開設（南部ふれあい会館内）
平成12年 4月	図書館資料の貸出点数の改正（個人の貸出点数の制限なし、ビデオテープ・CDは2点まで）
平成14年 10月	図書館ホームページ開設
平成20年 4月	指定管理者制度を導入
平成23年 9月	ブックスタート事業を開始
平成24年 5月	・「あやせゼロの日運動」開始 ・保育所への配本開始

年月	経過・取り組み等
平成 25 年 5 月	幼稚園への配本開始
平成 30 年 4 月	・本館の開館時間を変更(平日は午後7時まで、土日祝日は午後5時まで開館) ・電子図書館事業開始 ・無料公衆無線LAN(Wi-Fi)利用サービス開始 ・絵本ふれあい事業開始 ・市役所と地区センター(綾南・中村・早園・吉岡)に返却ポストを設置
平成 30 年 5 月	あかちゃんのとしょかん開始
令和2年 9 月	・本館絵本架の書架を増設 ・新聞コーナーに新聞閲覧台を設置
令和2年 12 月	コミュニティセンター(寺尾いずみ・南部ふれあい)、地区センター(北の台・綾南・中村・早園・吉岡)に屋外返却ポスト設置
令和3年 10 月	開館40周年記念「郷土資料デジタルアーカイブ事業」を開始
令和5年 5 月	・「りんごの棚」「多言語資料の棚」コーナーを設置 ・視覚障がい者専用電子図書館を導入

2.2.2 施設概況

現在の市立図書館の施設は、市域中心に位置する本館のほか、北部の北の台図書室と寺尾いずみ図書室、南部の南部ふれあい図書室の3分室となっています。本館は築 42 年、北の台図書室を含む北の台地区センターは築 46 年と老朽化しており、北の台地区センターは令和 6 年 2 月より建替え工事を行っています。

本館の面積は約 1,200 m²で、開架室や書庫の収蔵能力は約 17 万冊ですが、現在の蔵書冊数は約 22 万 5,000 冊と、収蔵能力を大きく上回っています。3 分室の蔵書冊数も収蔵能力を超えており、市立図書館全体で収蔵スペースの不足が課題となっています。

本館は、複合施設である市民文化センター内にあり、併設施設は文化会館や中央公民館、高齢者福祉会館で、駐車場も施設全体で共有しています。諸室構成は1階が開架室とカウンター、2階が郷土資料室と新聞コーナー、学習室、事務室で、地下1階と中地下が書庫となっています。集会スペースがないため主に学習室を閉鎖して行事を開催しており、飲食スペースや専用の授乳室、エレベーターはありません。また、開架室では一般書コーナーと児童書コーナーが隣接しているほか、児童書コーナーを取り囲むように閲覧席があり、子どもや保護者の気兼ねない利用が難しい状況にあります。

図 2-1 本館内の様子



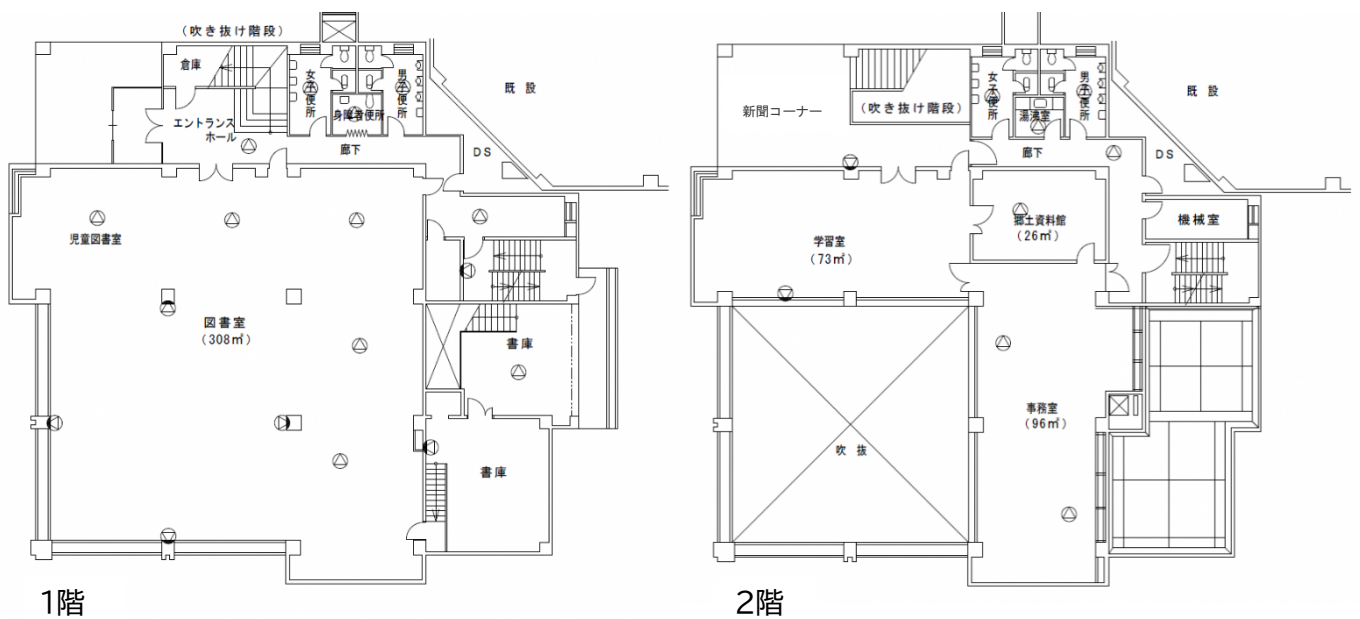
図 2-2 施設立地



表 2-3 施設概況

項目	本館	北の台図書室 (建替中)	寺尾いずみ図書室	南部ふれあい図書室
所在地	深谷中一丁目 3番1号	蓼川二丁目 1番12号	寺尾台三丁目 6番25号	上土棚南一丁目 5番10号
開設年月 (建物築年数)	昭和56年7月 (築 42 年)	平成2年4月 (築 46 年)	平成6年5月 (築 29 年)	平成10年4月 (築 25 年)
延床面積	1172.7㎡	29.0㎡	65.0㎡	70.2㎡
収蔵可能冊数	約17万冊	約7,500冊	約1万2,000冊	約1万冊
資料数 (令和4年度末)	224,718点	7,694点	13,255点	11,358点
構造	鉄筋コンクリート造 地上2階、地下1階	鉄筋コンクリート造 地上2階	鉄筋コンクリート造 地上2階	鉄筋コンクリート造 地上2階
諸室構成	【2階】 郷土資料室／新聞 コーナー／学習室 事務室 【1階】 開架室(一般図書・ 児童図書・視聴覚 資料)／カウンター 【地下1階・中地下】 書庫	【1階】 図書室	【1階】 図書室	【1階】 図書室
駐車台数 (共用)	186台 (身障者用6台含む)	7台	27台 (軽・身障者用含む)	30台 (身障者用含む)

図 2-3 市立図書館本館(1階・2階)レイアウト



2.2.3 サービス提供状況

市立図書館は、市内在住・在勤・在学者に加え、県央地区の7市1町1村（厚木市、伊勢原市、海老名市、相模原市、座間市、秦野市、大和市、愛川町、清川村）及び、藤沢市の在住者へもサービスを提供しており、個人利用者に対しては図書を冊数無制限で貸し出しています。IC タグシステムを活用したセルフ貸出サービスは未導入ですが、返却は図書館本館や市役所、地区センター、コミュニティセンター、一部の大型商業施設に設置した10か所の返却ポストでも受け付けています。

「綾瀬市子ども読書活動推進計画」に基づき、対象年齢別の定期的なおはなし会やブックスタート等のさまざまな子ども向けサービスを展開しており、毎週火曜日の「あかちゃんのとしょかん」（小さな子どもが声を出したり泣いたりしても安心してゆっくりと過ごすための時間制サービス）や、季節ごとや外国語のおはなし会等も行っています。学校連携事業にも力を入れており、保育所・幼稚園・学校への配本のほか、テーマに沿った図書を提供する学校支援貸出、図書館での児童生徒の作品展示、図書館見学や職場体験の受入等にも取り組んでいます。

読書普及事業としては、おはなし会や子ども向けの講座以外には、読み聞かせ等に関連した講座や、「鎌倉」「不思議な植物の世界」「名監督のことば」「体よろこぶ発酵食」等の幅広いテーマからの特集展示等を行っています。また、月3回は通常入ることができない書庫を30分間一般開放し、利用者の読書機会の拡充に努めています。

そのほか、特徴的なサービスとしては、開館40周年を記念して開始した市民参加型の郷土資料デジタルアーカイブ事業があり、綾瀬市に関する映像や写真等の保存・活用に向けた取り組みを進めているほか、平成30（2018）年度から電子図書館サービスに加え、令和5年度から視覚障がい者専用電子図書館サービスも提供しています。

表 2-4 サービス概要

項目	概要		
登録要件	・市内在住・在勤・在学者 ・広域利用の対象地域（厚木市、伊勢原市、海老名市、相模原市、座間市、秦野市、大和市、愛川町、清川村、藤沢市）の在住者		
貸出冊数・期間	区分		貸出期間
	図書資料	個人	制限なし
		団体	1回につき200冊以内
	視聴覚資料（個人のみ）		1回につき14日以内
予約	電子図書館（個人のみ）		1回につき14日以内
	図書は10冊まで、雑誌は5冊まで、CD・DVD・ビデオは2点まで		
リクエスト	カウンターで受付。CD・DVD・ビデオ・電子書籍を除く		
その他	・広域利用の対象地域の図書館も利用可 ・主として「食品や環境・園芸」等の専門的な図書資料を提供するため、日本大学生物資源科学部図書館との間で相互利用サービスを提供		

表 2-5 主な事業(令和4年度)

分類		対象等	概要
読書普及	① おはなし会	子ども・保護者	未就園児から小学生を対象とした職員やボランティアによる定例の読み聞かせ
			季節ごとの英語のおはなし会など
		一般	朗読と語り
	② 講座	乳幼児・保護者	おはなし会と読み聞かせ講座
		小学生	「いちねんせいおうえんキャンペーン」、図書館の達人講座「としょかんたんけん」、手づくり講座等
		高校生以上	図書館の達人講座「読売新聞データベース『ヨミダス歴史館』の使い方」
		一般	おはなし会講座／読み聞かせ講座(公民館共催事業) 郷土を知る講座
	③ ブックスタート	乳児・保護者	4～5か月児への読み聞かせと絵本のプレゼント
	④ あかちゃんのとしょかん	乳幼児・保護者	読書相談やミニおはなし会も含む乳幼児・保護者向けの時間制サービス
	⑤ 特集展示	—	今月の特集、図書館企画展、移動企画展等
	⑥ 刊行物発行	一般・児童・中高生・シニア・分室利用者	行事・サービスを紹介する広報の発行
		一般・乳幼児・幼児 小学生・中学生	ブックリストの配布
	⑦ 利用者参加型行事	—	書庫開放日／としょかんスタンプラリー／CD ランキング／本の帯コンクール／開館 40 周年「郷土資料デジタルアーカイブ事業」
	⑧ 配本	市内公共施設	地区センター・児童館・保育所・幼稚園へ配本
⑨ リサイクルブック		—	出張リサイクルブックフェア開催
			本館のリサイクルコーナー設置
⑩ 来館・利用困難者向けサービス	高齢者		高齢者施設訪問貸出
	視覚障がい者		リーディングトラッカー貸出
	—		図書館外への返却ポスト設置
⑪ 学校支援	小学校		申込みに応じた資料の配本、館内や利用方法の案内
	小・中学校		授業用の図書の選書・貸出、図書館内への作品展示、司書による図書室訪問、リサイクル図書提供
	中学校・高校		職場体験学習の受け入れ
	—		その他学校連携・支援のための活動

2.2.4 資料所蔵状況

令和4年度末時点の市全体の資料数は約25万7,000点で、各施設の蔵書冊数が収蔵可能冊数約20万冊を上回るために除籍を進めていることもあり、近年では減少しています。

本館の資料はそのうち約22万5,000点で、図書資料は約21万冊、内訳は一般書が約14万2,000冊、児童書が約6万8,000冊で、過去5年間の年度ごとの構成比に大きな変動はありません。閲覧スペースの面積等の制約もあるため、開架に配架できている資料は7万7,000点程度です（開架率約34.4%）。そして、平成30（2018）年にサービスを開始した電子図書館の所蔵タイトル数は、初年度から令和4年度までで約3,400点増加しています。

特徴的な取り組みとしては、市の特色も踏まえた上で、日本語を母語としていない人や外国にルーツがある人向けの資料を集めた「多言語資料の棚」、読むことに困難を持つ人向けの太活字本や点字絵本、LLブック（知的障害や学習障害などがある人も読みやすいよう、イラストや写真、記号、短い言葉などで構成された本）等の資料を集めた「りんごの棚」を通じて提供する資料を積極的に収集しています。

表 2-6 資料所蔵点数の推移(過去5年間)

項目	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	点数(点)	構成比	点数(点)	構成比	点数(点)	構成比	点数(点)	構成比	点数(点)	構成比
資料数計	262,508	100%	261,683	100%	255,293	100%	257,142	100%	257,025	100%
本館	229,326	87%	228,914	87%	222,978	87%	225,315	88%	224,718	87%
分類別										
一般書	142,821	62%	143,445	63%	142,087	64%	142,685	63%	142,078	63%
児童書	71,516	31%	71,132	31%	66,656	30%	68,313	30%	67,741	30%
雑誌	9,292	4%	9,738	4%	10,118	5%	10,071	4%	10,463	5%
紙芝居	1,973	1%	1,739	1%	1,773	1%	1,829	1%	1,874	1%
AV	3,724	2%	2,860	1%	2,344	1%	2,417	1%	2,562	1%
場所別										
開架	78,584	34%	76,373	33%	75,456	34%	75,996	34%	77,317	34%
閉架	150,742	66%	152,541	67%	147,522	66%	149,319	66%	147,401	66%
分室計	33,182	13%	32,769	13%	32,315	13%	31,827	12%	32,307	13%
電子図書館	13,023	—	14,410	—	16,206	—	16,919	—	17,461	—

表 2-7 受入・除籍点数の推移(過去5年間)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
受入(点)	12,910	12,164	11,985	11,554	11,402
購入	12,693	11,988	11,691	11,358	11,231
寄贈	217	176	294	196	171
除籍(点)	12,765	12,989	18,375	9,705	11,519
受入－除籍	145	▲ 825	▲ 6,390	1,849	▲ 117

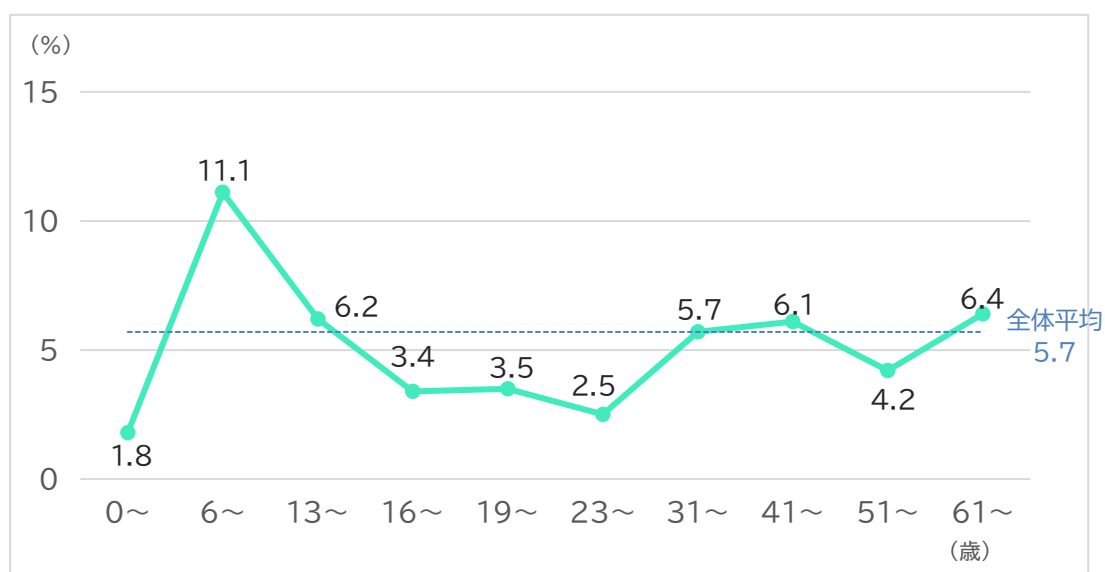
2.2.5 貸出状況

令和4年度の市民登録率は約18.0%で、減少傾向で推移しています。市民貸出率は全体平均で約5.7%ですが、6～12歳をピークに中高生以降は下がる傾向があり、16～30歳、51～60歳では全体平均を下回っています。

過去5年間の延貸出者数及び貸出点数をみると、令和元年度にかけても減少していますが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響で閲覧席の利用制限等を行ったことが影響し、さらに減少しています。延貸出者数・貸出点数ともに本館が80%近くを占め、分類別では一般書に続いて児童書が40%前後で、その構成比が徐々に高まっています。

予約はコロナ禍でより需要が増し、令和3年度がピークであるものの、令和4年度までの5年間で5,000件程度増加しています。一方で、電子図書館の延貸出者数はコロナ禍で増加したものの、令和4年度には以前の水準に戻っています。レファレンス件数も減少しており、書庫出納が大部分を占め、それらを除くと令和4年度の本館では1日2件程度となっています。

図 2-4 年齢区分別の市民貸出率(令和4年度)



※人口は令和5年4月1日の住民基本台帳人口を使用

表 2-8 貸出状況等の推移

項目		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
延貸出者数(人) ※団体含む	本館	90,651	84,098	64,204	80,326	77,234	
	構成比	77.3%	78.1%	77.8%	77.4%	77.3%	
	図書室計	26,618	23,545	18,305	23,423	22,709	
	構成比	22.7%	21.9%	22.2%	22.6%	22.7%	
	合計	117,269	107,643	82,509	103,749	99,943	
貸出者数(人)	合計	7,536	6,873	4,873	5,468	5,487	
貸出冊数(点) ※相互貸借を含 まない	本館計		347,400	315,785	240,466	293,217	276,200
	構成比		79.4%	79.6%	79.0%	78.2%	77.9%
	分類別	一般書	171,903	160,415	123,044	142,945	134,560
		構成比	49.5%	50.8%	51.2%	48.8%	48.7%
		児童書	140,690	125,190	92,322	121,166	115,361
		構成比	40.5%	39.6%	38.4%	41.3%	41.8%
		雑誌	25,211	22,535	18,779	21,256	19,581
		構成比	7.3%	7.1%	7.8%	7.2%	7.1%
		紙芝居	3,497	2,728	1,732	2,157	1,923
		構成比	1.0%	0.9%	0.7%	0.7%	0.7%
		AV	6,099	4,917	4,589	5,693	4,775
		構成比	1.8%	1.6%	1.9%	1.9%	1.7%
	図書室計		90,038	80,688	63,730	81,511	78,151
	構成比		20.6%	20.4%	21.0%	21.8%	22.1%
	合計		437,438	396,473	304,196	374,728	354,351
	予約受付件数 (件)	本館	42,560	44,800	49,480	51,635	47,226
図書室計		5,640	4,813	4,149	5,344	4,606	
合計		48,200	49,613	53,629	56,979	51,832	
他市等との相互 貸借冊数(冊)	貸出	3,658	3,496	3,373	3,456	3,390	
	借用	1,466	1,204	1,327	1,842	1,596	
電子図書館の 利用状況	延利用者数(人)	1,358	638	1,592	1,566	1,364	
	貸出点数(点)	5,664	2,783	9,393	8,758	6,307	
レファレンス受付 件数(件)	本館		5,449	4,714	2,787	3,699	3,424
	簡易		1,403	1,166	630	655	618
	構成比		25.7%	24.7%	22.6%	17.7%	18.0%
	受付票		22	17	7	5	8
	構成比		0.4%	0.4%	0.3%	0.1%	0.2%
	出庫出納		4,022	3,530	2,150	3,039	2,798
	構成比		73.8%	74.9%	77.1%	82.2%	81.7%
	国立国会図書館利用		2	1	0	0	0

※ 延貸出者数は1人で複数回貸出を受けた場合も貸出回数を数え、さらに団体貸出の貸出者数も加えています

※ なお、閲覧や学習、事業参加などのみで、貸出を受けずに図書館を利用している人は貸出者数には含まれておりません

2.2.6 管理運営体制

本館は、平日は午前 9 時から午後 7 時まで、土日祝日は午前 9 時から午後 5 時まで開館しており、休館日は年末年始や特別整理期間を除き第 1・第 3 火曜日のみとなっています。

本館と 3 分室の管理運営には平成 20（2008）年度から指定管理者制度を導入しており、本館の職員は館長を含み 31 名（常勤職員：8 名）で、うち 19 名（常勤職員：7 名）が司書資格を有しています（令和 5 年 3 月 31 日時点）。文化会館や中央公民館、市民活動センターとは別棟であるため、複合施設としてのメリットが活かしにくい状況となっています。そのほか、おはなし会の開催や館内装飾等においては、ボランティアと積極的に連携しています。

表 2-9 開館日・開館時間

分類		内容
休館日	本館	第 1・第 3 火曜日／年末年始(12月29日～1月3日※)／特別整理期間
	分室	火曜日・第 3 水曜日／年末年始(12月28日～1月4日)／特別整理期間
開館時間	本館	午前 9 時～午後 7 時(土・日・祝日は～午後 5 時)
	分室	午前 9 時～午後 5 時

※1月 4 日は正午から開館

2.3 望ましい基準及び同規模自治体図書館との比較

市立図書館の現状について、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成 24 年文部科学省告示 172 号）について（報告）」に記載の目標基準例や、人口が綾瀬市と同規模の全国の自治体の水準と比較した結果は、表 2-10 の通りです。面積は、目標基準例や同規模市の平均を大きく下回り、加えて人口当たりの数値も予約件数を除き平均を大きく下回っています。

表 2-10 望ましい基準及び他自治体水準との比較

区分		人口(人)	面積(m ²)	人口千人当たり(冊・人・件)				
				蔵書冊数	開架冊数	登録者数	貸出点数	予約件数
綾瀬市		83,210	1,336	3,090	1,295	223	4,545	685
6～8万人	目標基準例	64,347	4,389	6,461	—	828	11,444	996
	目標基準例との差	18,863	▲ 3,053	▲ 3,371	—	▲ 604	▲ 6,899	▲ 312
	人口同規模市(112市)平均	69,784	3,069	4,204	2,528	559	4,978	528
	平均との差	13,426	▲ 1,734	▲ 1,114	▲ 1,233	▲ 335	▲ 433	157
8～10万人	目標基準例	85,089	4,188	4,801	—	594	12,151	876
	目標基準例との差	▲ 1,879	▲ 2,852	▲ 1,711	—	▲ 371	▲ 7,606	▲ 191
	人口同規模市(60市)平均	89,436	3,846	4,132	2,518	470	5,479	644
	平均との差	▲ 6,226	▲ 2,510	▲ 1,042	▲ 1,223	▲ 246	▲ 934	41

※「図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成24年文部科学省告示第172号）について（報告）」目標基準例及び「日本の図書館 2022」より作成

県内では綾瀬市と同規模人口の自治体はありませんが、人口規模が比較的近い自治体と比べても、本市図書館は、人口当たりの面積と蔵書冊数、開架冊数が大きく下回っています（表 2-11）。

表 2-11 県内自治体図書館との比較

項目		人口 (人)	竣工年 (年)	面積 (m ²)	閲覧席数 (席)	収容可能冊数		
						(冊)	うち開架	書庫ほか
綾瀬市		83,210	昭和56	1,336	94	199,500	49,000	150,500
県内他自治体	海老名市	中央	—	昭和59(改修平成27)	3,386	162	360,000	260,000
	有馬	—	平成7年(改修令和3)	1,001	129	80,000	27,000	53,000
	合計	137,987	—	4,387	291	440,000	287,000	153,000
	座間市	131,976	昭和57	3,524	163	430,000	90,000	340,000
	伊勢原市	101,119	平成元	3,856	215	330,000	170,000	160,000
	逗子市	56,823	平成17	2,348	149	175,000	100,000	75,000
	寒川町	48,528	平成18	3,431	261	230,000	130,000	100,000
	南足柄市	40,172	昭和63	2,146	65	173,000	73,000	100,000
	平均	91,956	—	3,282	191	296,333	141,667	154,667
	平均との差	△ 8,746	—	▲ 1,946	▲ 97	▲ 96,833	▲ 92,667	▲ 4,167

項目		蔵書冊数			施設超過率 総数/収容可能冊数	開架率 開架/総数	人口千人当たり(m ² ・冊)		
		(冊)	うち開架	書庫ほか			面積	蔵書冊数	開架冊数
綾瀬市		257,142	107,764	149,378	128.9%	41.9%	16	3,090	1,295
県内他自治体	海老名市	中央	337,227	210,872	126,355	93.7%	62.5%	25	2,444
	有馬	105,582	71,135	34,447	132.0%	67.4%	7	765	516
	合計	442,809	282,007	160,802	100.6%	63.7%	32	3,209	2,044
	座間市	414,537	231,621	182,916	96.4%	55.9%	27	3,141	1,755
	伊勢原市	307,752	152,873	154,879	93.3%	49.7%	38	3,043	1,512
	逗子市	208,102	123,958	84,144	118.9%	59.6%	41	3,662	2,181
	寒川町	234,072	187,874	46,198	101.8%	80.3%	71	4,823	3,871
	南足柄市	227,434	127,407	100,027	131.5%	56.0%	53	5,662	3,172
	平均	305,784	184,290	121,494	107.1%	60.8%	44	3,923	2,423
	平均との差	▲ 48,642	▲ 76,526	27,884	21.8%	▲ 18.9%	▲ 28	▲ 833	▲ 1,127

※「神奈川の図書館2022」より作成。三浦市は建替を進めているため未掲載

人口規模約 8 万人から約 9 万人までの首都圏（東京都・埼玉県・千葉県）の自治体との比較においても、本市図書館は面積と蔵書冊数、開架率が大きく下回っています(表 2-12)。

表 2-12 首都圏(東京都・埼玉県・千葉県)の自治体との比較

項目	人口 (人)	中央館現用館竣工年 (年)	面積 (㎡)	蔵書冊数		開架率 (%)
				(冊)	うち開架	
綾瀬市	83,210	昭和56	1,336	257,142	107,764	41.9%
埼玉県東松山市	90,456	平成元	6,191	422,777	221,064	52.3%
千葉県茂原市	88,280	平成4(移転平成26)	2,175	216,724	208,007	96.0%
東京都東大和市	85,317	昭和58	3,573	464,537	—	—
埼玉県和光市	84,161	昭和58	2,275	226,384	178,944	79.0%
千葉県君津市	83,005	平成14	4,896	512,533	388,881	75.9%
埼玉県行田市	80,236	平成15	2,081	308,894	210,537	68.2%
東京都あきる野市	80,221	平成19	5,932	630,384	374,672	59.4%
埼玉県飯能市	79,123	平成25	3,346	315,430	133,743	42.4%
平均	83,850	—	3,809	387,208	245,121	67.6%
平均との差	▲ 640	—	▲ 2,473	▲ 130,066	▲ 137,357	▲ 25.7%

※「日本の図書館 2022」より作成。茂原市の竣工年は市HP「茂原市70年のあゆみ」より

東京都狛江市は建替を進めているため未掲載

面積・蔵書冊数・開架図書には分館やサービスポイントも含む

2.4 ICT 機器活用を含む図書館の先進事例の整理

今後の市立図書館の具体的な機能やサービス、施設等の検討の参考になると考えられる事例について、指針改定時の方向性等も踏まえた上で、ICT の活用、多様な閲覧環境の提供、読書や学びのきっかけづくりの観点から取り上げます。

ICT の活用に関しては、資料やスペースのセルフ貸出のほかにも、館外での 24 時間貸出やオンラインサービス等、利用者利便性の向上につながる取り組みが見られます。多様な閲覧環境の提供については、重ね使い（1つの空間に複数の機能を持たせること）が可能なスペースやさまざまなタイプの閲覧席、リラックスして自由に過ごすことができる児童スペース、資料との接点を増やすための公開書庫等、より幅広い用途や利用者層に対応するための環境を備えた事例が増えています。さらに、読書や学びのきっかけづくりに向け、ブックディレクション（場に合わせて本を選び、本と人を結びつけること）や体験・共創の場や機会の充実といった特徴的な取り組みも展開されています。

表 2-13 先進事例一覧

1. ICTの活用				
(1) 安城市図書館「アンフォーレ」(愛知県)				
基礎情報	①開館年月	平成29年6月	④対象人口	188,010人(R6.4.1)
	②開館時間	9:00～20:00(土日祝日 ～18:00)	⑤延床面積	6,808㎡
	③休館日	火曜日(祝日は開館) 毎月第4金曜日(祝日の場合はその月の月末) 年末年始、特別図書整理期間	⑥蔵書冊数	805,155冊(R5年度)
			⑦貸出冊数	1,899,107冊(R5年度)
特徴	資料や貸室のセルフ貸出・予約サービスの提供 ●館内に IC タグシステムを用いた自動貸出機と自動返却機を設置し、利用者自身が資料の貸出・返却ができる環境を提供 ●館外の予約本受取機からも 24 時間いつでも予約本を提供 ●グループ学習室やディスカッションルーム、個人学習室等の諸室・座席は館内の予約専用 PC と予約専用サイトにて予約受付			
	ディスプレイやタッチパネルによる市民参加型の情報発信 ●複合施設内の 220 インチの大型ディスプレイと 50 インチタッチパネルでは、サークルや習い事、イベント等の参加者が募集できる市民投稿掲示板や、図書館職員及び市民が選んだ「次世代に残したい一冊」を紹介するコンテンツ等を表示			 

(2) 塩尻市立図書館「えんぱーく」(長野県)				
基礎情報	①開館年月	平成22年10月	④対象人口	65,910人(R6.4.1)
	②開館時間	平日 10:00～20:00、土曜日 9:30～20:00 日祝 9:30～18:00 (児童コーナーのみ 9:00～)	⑤延床面積	3,286㎡
	③休館日	水曜日、毎月最終月曜日、年末年始、蔵書整理期間	⑥蔵書冊数	421,074冊(R5年度)
			⑦貸出冊数	404,438冊(R5年度)
特徴	無料のビジネス情報相談会・ミニセミナーをオンラインでも提供 ● 中小企業等の経営相談に対応している長野県よろず支援拠点と共催で、企業や経営、補助金等に関する相談を受ける相談会やミニセミナーを開催 ● 相談会は、対面のほかオンラインでも対応。よろず支援拠点のコーディネーターが相談に応じ、図書館職員は必要な本を紹介。ミニセミナーも、現地参加とオンライン参加が可能なハイブリット型で開催 ● ミニセミナーは、「今からできる！Instagram超活用術」「令和4年度の各種補助金ここが変わる！」「今さら聞けない原価管理の基本」等のさまざまなテーマを設定  今からできる！ Instagram超活用術 Instagramの 集客方法・活用術など 事例を踏まえて説明！ ※創業予定の方や創業後の方、会社員、どなたでも参加できます。 塩尻市立図書館×長野県よろず支援拠点 ビジネス情報相談会ミニセミナー ミニセミナーの例			
(3) 久留米市立図書館(福岡県)				
基礎情報	①対象人口	300,516人(R6.4.1)	③延床面積	—
	②蔵書冊数	908,321冊(R5年度)	④貸出冊数	1,418,352冊(R5年度)
特徴	図書館にいる感覚で本を探ることができるバーチャルな Web 書棚を提供 ● インターネット経由で、市内の図書館・図書施設の蔵書を実際に施設内にいる感覚で検索できる Web 書棚を提供 ● 資料検索ページで、蔵書を一般書、一般文庫、児童書、絵本の種類ごとに分類し、利用者が気になるジャンルを選ぶとそのジャンルの本の表紙画像が実際の書架のように並ぶ Web 書棚画面を表示 ● Web 書棚画面では、表紙画像と併せて、本のあらすじや所蔵館、在庫状況等の情報を提供するほか、資料予約にも対応  背表紙を表示したweb書棚（※クリックするとジャケットの表示に切替が可能）			

2. 多様な閲覧環境の提供

(1) 豊橋市まちなか図書館(愛知県)

基礎情報	①開館年月	令和3年11月	④対象人口	367,142人(R6.4.1)
	②開館時間	9:00～21:00	⑤延床面積	3,978㎡
	③休館日	第4金曜日(祝日の場合はその前日)、年末年始特別整理期間	⑥蔵書冊数	71,107冊(R5年度)
			⑦貸出冊数	471,769冊(R5年度)

イベントスペースを兼ねた閲覧スペース

● パフォーマンススペース(映画・演劇・音楽等)や、ヘルス&ウェルネススペース(心身の健康)、キッズスペースは、講演会や身体を動かすプログラム、おはなし会等のイベントも可能な閲覧スペースとして位置づけ。キッズスペースは本だけでなく木のおもちゃ等も備える





ヘルス&ウェルネススペースのイベント

おはなし会も開催するキッズスペース

静かな利用のためのラウンジ

● 施設全体を会話や交流可能とする一方で、3階部分の窓に面した一角をラウンジとして区切り、会話などをせず静かに過ごすスペースとして位置づけ



ラウンジ

● 座席はすべて1人席で、8席を外に向けて配置。予約制とし、図書館 HP を通じた事前予約や、館内の座席予約機を通じた当日予約を受付

個人からグループまで多様な利用が可能な閲覧席

● 個人で利用できるカウンター席やテーブル席、ブース席、2人まで座れる広めのボックス席、4名まで使えるグループ席等、多様な座席を設置。一部座席はラウンジと同様に予約制で提供







ハイカウンター席

ローカウンター席

テーブル席







ボックス席

ブース席

グループ席

(2) 中央区立京橋図書館「本の森ちゅうおう」(東京都)

基礎情報	①開館年月	令和4年12月	④対象人口	181,845人(R6.4.1)
	②開館時間	9:00~21:00(日祝 ~17:00)	⑤延床面積	8,882㎡
	③休館日	第3木曜日、年末年始	⑥蔵書冊数	361,735冊(R5年度)
			⑦貸出冊数	351,263冊(R5年度)

特徴

立体的な回遊型の動線

- 上下2フロアをつなぐ階段を分散させた立体的な回遊動線。6階屋上庭園を含む多層の建物内を、自然と散策し階段を利用したくなるような動線。階段途中のスペースを利用した展示も豊富



フロアのどこからでも見える上り階段



立体的で回遊性を高めた階段

屋内外のつながりのある開放的な空間

- 建物北側の「つどいの森」からの間接光の入る、全面ガラス張りの明るい図書館。どこにいても屋外に見える開放的な空間
- 屋内にいながら、屋外の森と空のつながりを感じられるしつらえ



テラス席



つどいの森に面した閲覧スペース

森の階層構造になぞらえたバラエティー豊かな空間

- 地面からの高さによって様相が異なる森の階層構造にならい、各階を特徴づけ。1階から上階に向かって林床、草本層、低木～高木層、林冠と位置づけ、フロアごとに異なる天井高や明るさ、照明の色、木材等を採用した
- それぞれのフロアで目的に応じた利用・過ごし方を可能としながら、統一的なデザインや各階の階段・テラスが森のような一体感のある雰囲気



2階草本層のこどもコーナース



3階低木層の閲覧スペース

(3) 海南市海南図書館「海南 nobinos」(和歌山県)

基礎情報	①開館年月	令和2年6月	④対象人口	46,957人(R6.3.31)
	②開館時間	9:00～21:30	⑤延床面積	7,850 m ²
	③休館日	木曜日	⑥蔵書冊数	138,597 冊(R5年度)
			⑦貸出冊数	378,355 冊(R5年度)

特徴

さまざまな楽しみ方ができる「こどものライブラリー」

- 児童書を配架する「こどものライブラリー」には、読書に集中できる押入のようなブース席や調べ物もできるボックス席も配置



ブース席



ボックス席

- 子どもたちが靴を脱ぎ、寝転ぶなどリラックスして読書を楽しむことができるスペース「読書の森」や、読書に加えて、友人と会話やゲーム等ができるスペース「秘密基地」も設置



秘密基地

親子での利用に対応した「絵本のライブラリー」

- 乳幼児の利用を想定した「絵本のライブラリー」には、色とりどりの書架に約5万冊の絵本を配架。隣接してマガジンライブラリー等を配置
- 中央部分には、小上がりの飲食が可能なランチスペースを設置



絵本のライブラリー



ランチスペース

鳥の鳴き声やせせらぎの聞こえる閲覧ラウンジ

- 大人向けのメインライブラリーにある閲覧ラウンジでは、森や川の音を BGM に流し、上質なラウンジチェアを設置。近くには、日本や海外の小説、エッセイ等を配架



閲覧ラウンジ

(4) 椎葉村図書館「ぶん文 Bun」(宮崎県)

基礎情報	①開館年月	令和2年7月	④対象人口	2,297人(R5.10.1)
	②開館時間	9:00～21:00(土日月 ～17:00)	⑤延床面積	583㎡
	③休館日	火曜日、年末年始	⑥蔵書冊数	24,790冊(R5年度)
			⑦貸出冊数	6,307冊(R5年度)
特徴	利用者が好きなスタイルで自由に読書ができる閲覧席			
	● 館内の閲覧コーナーやフリースペースには、吊り下げハンモックやビーズクッションを設置し、自由な体勢で読書ができる環境を提供 ● 親子や友人等と会話をしながら読書が可能な、裏側に読書スペースを設けた書架を設置		 吊り下げハンモック	
 ビーズクッション設置の閲覧コーナー		 読書スペースを設けた書架(左)とその内部(右)		



吊り下げハンモック



ビーズクッション設置の
閲覧コーナー



読書スペースを設けた書架(左)とその内部(右)



(5) 神奈川県立図書館

基礎情報	①開館年月	昭和29年(令和4年本館(新棟)開館)	④対象人口	9,214,617人(R6.3.1)
	②開館時間	9:00～19:00(土日祝 ～17:00)	⑤延床面積	15,868㎡
	③休館日	月曜日、毎月第2木曜日、年末年始、資料総点検期間	⑥蔵書冊数	966,561冊(R5年度)
			⑦貸出冊数	76,527冊(R5年度)
特徴		利用者がより多くの資料に触れられる公開書庫 ● 4階建ての新館のうち1階から3階で、利用者がより多くの本を直接手に取り、自由に閲覧することができる公開書庫を設置。長期に亘って継続して利用される資料を配架 - 1階: 社会科学に関する基礎資料や法令集、法律関係雑誌など - 2階: かながわ資料や自治体史類 - 3階: 各種全集等 ● 公開書架部分はガラス張りとし、電動集密書架を採用 ● 一度に入室できる人数は制限し、利用は各フロアのカウンターで受付		

参考: 公開書庫を含む2階部分レイアウト



参考: 公開書庫を含む2階部分レイアウト

3. 読書や学びのきっかけづくり

(1) 那須塩原市図書館「みるる」(栃木県)

基礎情報	①開館年月	令和2年9月	④対象人口	113,707人(R6.4.1)
	②開館時間	10:00～21:00(土日祝日 ～18:00)	⑤延床面積	4,644㎡
	③休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)	⑥蔵書冊数	158,531冊(R5年度)
		年末年始、特別整理期間	⑦貸出冊数	297,315冊(R5年度)
特徴	本に興味を持つ、触れるきっかけとしての多様な仕掛け・演出			
	●ブックディレクター(場に合わせて本を選び、本と人とを結びつけることなどに携わる人)幅允孝氏が5つのテーマに沿って選書した本を配架した「小さな本棚のエキシビション」のコーナーを展開するほか、本の骨子を凝縮した一文を視覚化した「言葉の彫刻」も設置 ●人を通じて本を知る体験として、市内で活躍する 28 人に本を1冊ずつ選んでもらい、その本を選んだ理由やどのように読んでもらいたいかな等のコメントと共に展示(「この街、この一冊」) ●図書館をサーカス、本を曲芸師に見立て、音楽ライブやトークショー、地元で活躍している人等とのコラボレーション企画等を行い、図書館の魅力を発信するイベント「Library Book Circus」を開催			
				
	小さな本棚のエキシビション		言葉の彫刻	
				
	「この街、この一冊」の展示			

(2) 県立長野図書館(長野県)				
基礎情報	①開館年月	昭和54年8月	④対象人口	1,997,045人(R6.3.1)
	②開館時間	9:00～19:00 (土日祝日及び1階児童室は～17:00)	⑤延床面積	8,614㎡
	③休館日	月曜日(祝日(振替休日)と重なる場合も休館) 毎月最終金曜日(蔵書整理日・祝日の場合はその前日)、蔵書整理期間、年末年始	⑥蔵書冊数	759,988冊(R5年度)
特徴			⑦貸出冊数	99,261冊(R5年度)
	子どもの五感を使った学びや発見を促す用品の貸出 ●「体験、発見、やってみ!」をコンセプトに、児童図書室で外遊び用品等を1回2時間まで貸出 <貸出品> - 練習用自転車ストライダー - 動くものの速さを測るスピードガン - 双眼鏡と図鑑のセット - 室内用のボードゲームやドミノ等			
	 ストライダー  双眼鏡と図鑑のセット  ボードゲーム  隣接する公園での利用の様子			
	人と人がつながり、新たな社会的価値を創造する場の提供 ●3階にある信州・学び創造ラボには、ワークショップ等のグループでアイデアをかたちにしていく Co-learning ゾーン、学びの成果を3D プリンタ等でアウトプットするモノコトベース、110年に亘る信州の知の営みを感じることができる信州情報探索ゾーンを設置			

出典：基礎情報①～③及び写真は各館・複合施設・自治体HP・SNS、④は自治体HP、⑤～⑦は「日本の図書館2023」

※ 中央区立京橋図書館の⑤延床面積は株式会社類設計室 HP

※ 塩尻市立図書館の写真は、長野県よろず支援拠点 HP

2.5 綾瀬市の特色と関連計画の把握

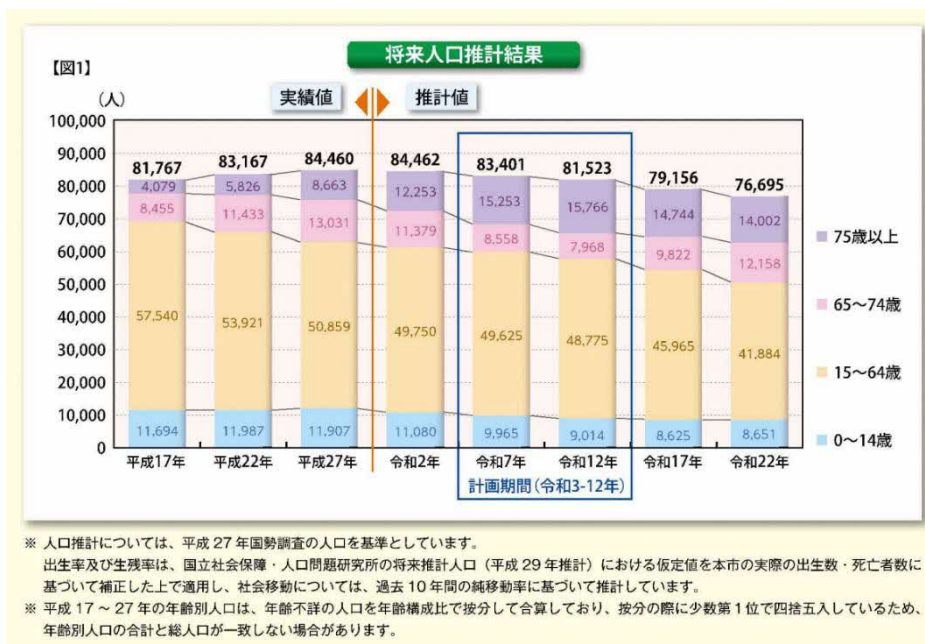
2.5.1 市の特色

(1) 人口

市の人口は長年増加傾向にありましたが、平成 28（2016）年 3 月の 8 万 4,502 人をピークに減少局面に転じ、令和 5 年 4 月時点で 8 万 3,100 人となっています。全国的な傾向と同様に少子高齢化が進んでおり、65 歳以上人口が増加しています。今後も人口減少は続く見込みで、「総合計画 2030」による人口推計では、令和 22（2040）年の人口は 7 万 6,695 人となる見込みです。

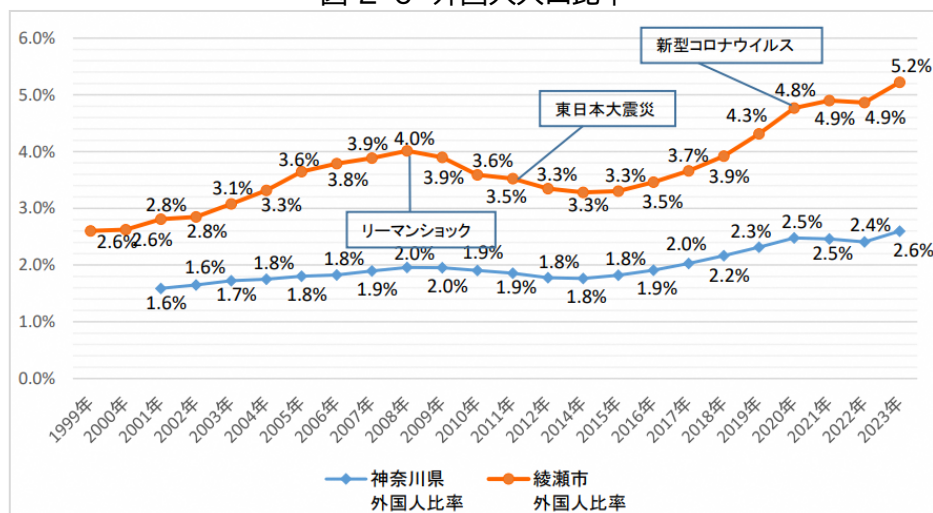
また、人口に占める外国人比率が高く、平成 26（2014）年以降は増加し続け、コロナ禍もほぼ横ばいを維持し、令和 5 年には 5 % を超えて県内第 3 位となっています。約 50 か国の出身者が暮らしており、国別で見ると近年はベトナムやスリランカ出身者に大幅な増加傾向が見られます。

図 2-5 人口動向



出典）綾瀬市『綾瀬市総合計画2030』、P12

図 2-6 外国人人口比率



出典）綾瀬市『統計資料から見る綾瀬市における外国人市民の現状』、P1

(2) 地勢

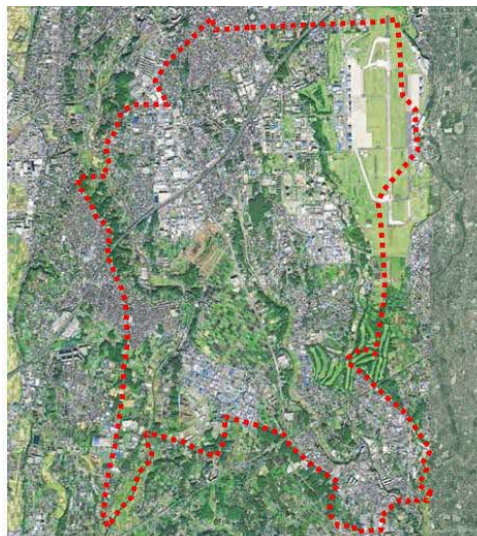
市域は東西 4.2 キロメートル、南北 7.6 キロメートルと南北に長く、面積は 22.14 平方キロメートルと、非常にコンパクトなまちとなっています。

市内には、民間 2 社のバス路線のほか、図書館のある市民文化センターを経由する市のコミュニティバスが 5 路線で運行しています。

また、市中心部に優良農地があるほか、市内には北から南へ緩やかに流れる蓼川、比留川、目久尻川の 3 河川があり、カワセミやホタル、アユが見られるなど、都心からさほど離れていないにもかかわらず自然豊かなまちとなっています。

一方で、市北東部には隣接する大和市も跨ぐかたちで厚木基地が立地し、行政面積の約 18%を占めています。

図 2-7 市の地勢



(3) まちづくりの方向性

綾瀬市では豊かな自然環境や生涯学習の風土を活かしたまちづくりを進めており、「総合計画 2030」の 10 年後のまちに向けた理念として、「“つたえる”を大切にすまち “つながる”を生み出すまち」を掲げています。そして、人口減少や多様化する市民ニーズへの対応といったまちが抱える課題を解決し、持続可能な地域づくりを進めるため、地域のつながりづくり、子育てや教育環境の充実、高齢者が暮らしやすい環境づくり、多文化共生、産業振興等に取り組むこととしています。

図 2-8 「総合計画2030」の10年後の理念



その中で、製造業の事業所数が神奈川県内で第 4 位と「ものづくりのまち」であることや、市中心部に優良農地のある自然環境豊かなまち、映画等の撮影が数多く行われる「ロケのまち」であることを活かした魅力づくり等にも、積極的に取り組んでいます。

表 2-14 工業の現状

項目	神奈川県	綾瀬市	県内 順位	県内 比率	参考(周辺市の状況)				
					藤沢市	厚木市	大和市	海老名市	座間市
事業所数	7,267	342	4位	4.7%	282	306	185	126	129
従業者数(人)	356,780	10,762	9位	3.0%	24,048	19,710	8,768	7,220	8,566
製造品出荷額 等(億円)	177,461	3,280	11位	1.8%	14,765	6,234	3,009	3,261	2,894

(令和 2 年神奈川県工業統計調査結果報告、従業員 4 人以上の事業所)
出典) 綾瀬市『工業の現状』、P 1

2.5.2 上位・関連計画での図書館の位置づけ

「総合計画 2030」や「綾瀬市公共施設再編計画」では、中心市街地の活性化や公共施設の再編に向けた取り組みを進める中で、市立図書館本館を中心市街地エリア内の情報発信拠点と位置づけ、人と情報、人と人をつなぐ施設とすることを目指しています。

また、「綾瀬市生涯学習推進プラン」では、市立図書館全体で、少子高齢化や外国人の増加、情報化の進展といった社会の変化に伴い多様化するニーズに対応したサービス・施設等の充実を図るとともに、図書館への来館が難しい層への対応や、子どもが読書を身近に感じられる環境の形成等にも積極的に取り組んでいくこととしています。さらに、「第3次綾瀬市子ども読書活動推進計画」でも、市立図書館を通じて子どもが読書に触れられる場や機会の充実を図るものとし、サービスポイントの拡充等も検討するとしています。

表 2-15 上位・関連計画の方向性

計画(策定年月)	概要
総合計画2030 (令和3年1月) 令和5年度実施計画 (令和5年2月)	・ 今後10年間の取り組みの基本方針として、「育てる」「稼ぐ」「支える」の3つを設定 ・ 「支える」のプロジェクト5「次世代につなげる公共施設改革プロジェクト」の令和5年度の実施計画において、中心市街地の公共施設の再編を進める中で、「<u>知のインフラ</u>」ともいわれる図書館を、<u>人と情報をつなぎ、人が育つ生涯学習の基幹施設として、潤いのある施設としていく方針</u> ・ 「稼ぐ」のプロジェクト5「中心市街地魅力UPリニューアルプロジェクト」の令和5年度の実施計画において、<u>市役所周辺中心市街地の魅力向上の取り組みとして、公共施設の再編を進めることで、利便性、回遊性の向上を図る方針</u>
綾瀬市公共施設再編計画 (令和3年2月)	・ 図書館は、施設の狭小さが顕著であり、読書や学習スペースの確保などの課題を解消する必要がある ・ 中心市街地エリアのリニューアルに併せて同エリア内での機能移転を検討し、<u>市の新たな情報発信拠点となることを目指す</u>
綾瀬市生涯学習推進プラン (令和3年12月)	・ 計画の5つの基本方針として、「生涯学習活動の推進」「生涯学習環境の充実」「文化芸術活動の推進」「歴史文化の未来への継承」「家庭・地域・学校の連携・協働による教育力の充実」を掲げる ・ 生涯学習活動の推進に関しては、図書館に来館することが難しい市民の読書環境の充実や、子どもの自発的な読書習慣の形成が課題とし、<u>身近な場所で読書に親しむことのできる環境の充実や子どもの読書活動に関連する事業を展開する方針</u> ・ 生涯学習環境の充実に関しては、<u>老朽化への対応と併せて施設の機能やニーズに即した改修・修繕・再配置を進め、多様な学びに応じるための施設運営の充実を図る方針</u>
第3次綾瀬市子ども読書活動推進計画 (令和3年12月)	・ 図書館では、子どもの読書活動に関わる講座の開催や、児童・生徒向けの図書の整備、電子図書館利用の普及・促進、公共施設への配本、図書館情報やブックリストの提供、外国につながるの子ども向けの資料やサービスの提供等の事業の充実を図るほか、図書館サービスポイントの拡充も検討する方針

第3章 市民ニーズの調査と分析



3.1 アンケート調査

3.1.1 令和4年度の各種アンケート調査

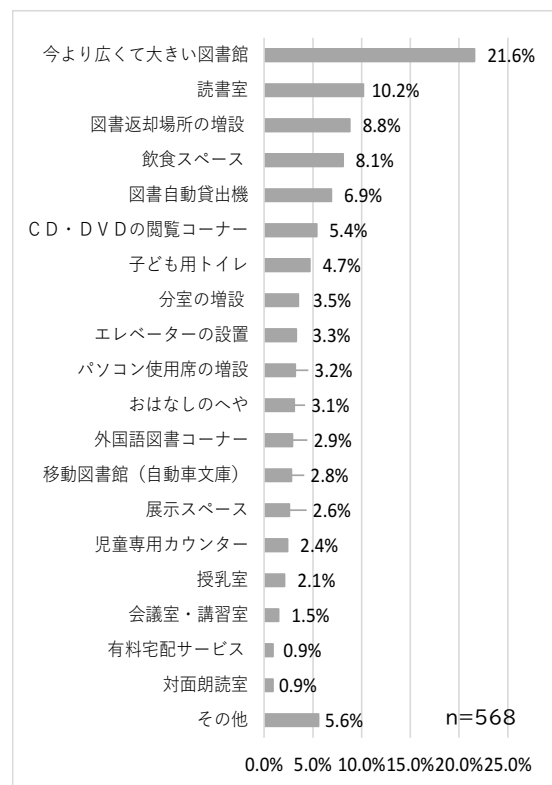
(1) 綾瀬市立図書館利用者アンケート

図書館利用者アンケート（回答者数：568人）では、貸出・返却目的の利用が80%以上を占め、回答者の約70%が本館をよく利用すると回答しています。

一方で、10%前後は郷土資料室、新聞等のオンラインデータベース、無料WiFi（無線LAN）等のサービスを「知らなかった」と回答しています。そのほか、現状に対して、座席の数、新刊本や視聴覚資料、駐車場やトイレ等への不満が多い傾向が見られました。

今後に向けたニーズとしては、回答の多い順に「今より広くて大きい図書館（21.6%）」「読書室（10.2%）」「図書返却場所の増設（8.8%）」「飲食スペース（8.1%）」となり、滞在性や利便性の向上に関する要望が上位となりました。

図 3-1 今後に向けたニーズ



(2) あやせゼロの日運動アンケート

小中学生や幼稚園・保育所に子どもを通わせている保護者を対象にした調査（回答者数：3,482人）では、読書が好きな回答者が全体で75.5%を占めるものの、図書館の利用頻度は「年に数回程度」「利用しない」が83.6%と、あまり利用されていない傾向が見られました。

保護者が図書館を利用しない理由としては、回答の多かった順に「行く時間がない（幼稚園39.7%、保育所57.1%）」「本は購入している・家にある（幼稚園37.4%、保育所30.7%）」、「返却が面倒（幼稚園26.8%、保育所30.2%）」「子ども連れで行きづらい（幼稚園31.8%、保育所24.9%）」となりました。

市立図書館に必要なものは、小中学生では回答数が多い順に「飲食コーナー（中学生51.2%、小学生34.1%）」「静かに集中できる学習室（中学生47.4%、小学生32.0%）」「友達や親と一緒に話し合いながら学習ができるスペース（中学生46.7%、小学生27.2%）」となりました。保護者では、「乳幼児が遊べる場所（幼稚園46.6%、保育所63.7%）」「児童図書コーナーの拡大（幼稚園49.8%、保育所45.1%）」が半数程度に選択されました。

図 3-2 市立図書館にあるとよいもの(小中学生)

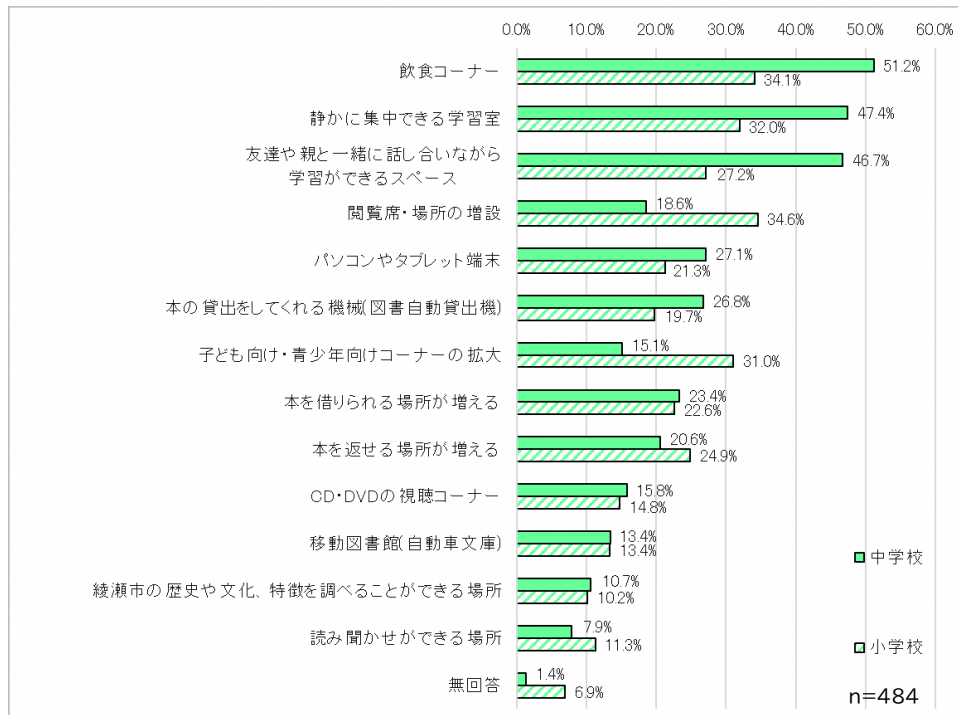
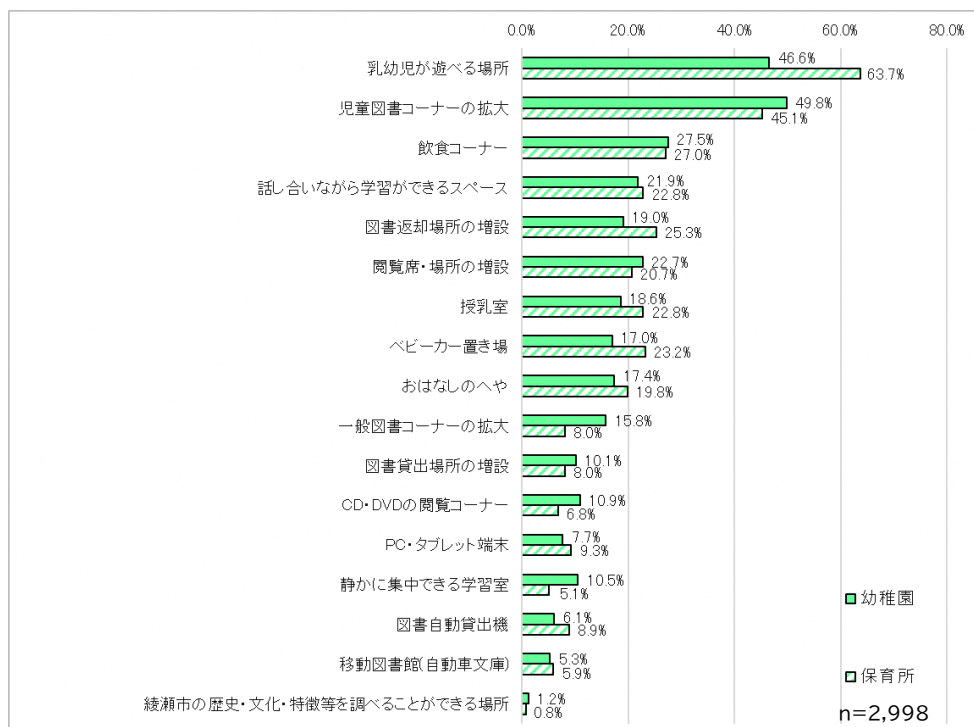


図 3-3 子どもと利用するうえで必要なもの(保護者)



(3) 市民満足度調査

市民満足度調査（回答者数：1,212 人）では、市が重点的に取り組む 35 の施策のうち、生涯学習に対する満足度は、「満足（20.7%）」と「やや満足（33.4%）」を合わせて 54.1%で、全施策のうち下位から 4 番目の低さとなりました。図書館に関する不満の理由（自由記述）としては、設備への不満があげられています。

3.1.2綾瀬市立図書館に関する市民アンケート調査（令和５年度）

(1) 調査概要

現市立図書館の利用状況や、市立図書館に今後望むこと等について把握するため、18 歳以上の市民 2,000 人に対してアンケート調査を実施し、476 票の回答が得られました。

表 3-1 市民アンケート調査概要

項目	概 要
① 対象	18歳以上の市民2,000人(住民基本台帳から無作為抽出)
② 期間	令和5年8月 10 日(木)～8月 31 日(木)
③ 方法	郵送配布／Web・郵送回収
④ 回収数／回収率	476票(Web:163票、紙面:313票)／23.8%

(2) 調査結果

① 市立図書館(本館)の利用状況

過去 1 年以内の本館の利用の有無では、「利用したことがない」が 63.0%に上り、利用しない主な理由は、回答数の多い順に「アクセスが悪い (33.7%)」「読書の習慣がない (30.3%)」「情報はインターネット等で収集する (28.7%)」「時間がない (26.7%)」「本は購入している・家にある (26.0%)」となりました。

利用する際の主な交通手段は「自動車 (67.6%)」が最も多く、次いで「徒歩 (12.7%)」となりました。

図 3-4 過去1年以内の図書館(本館)利用の有無

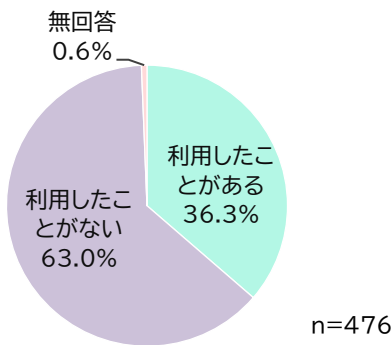


図 3-5 図書館(本館)を利用する際の主な交通手段

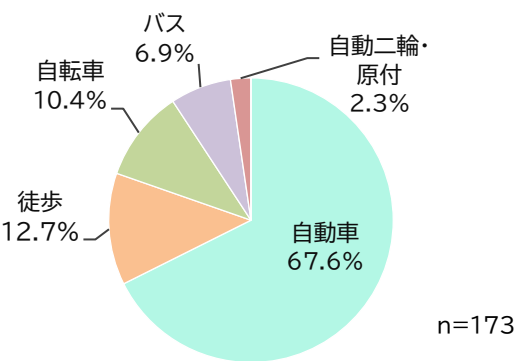
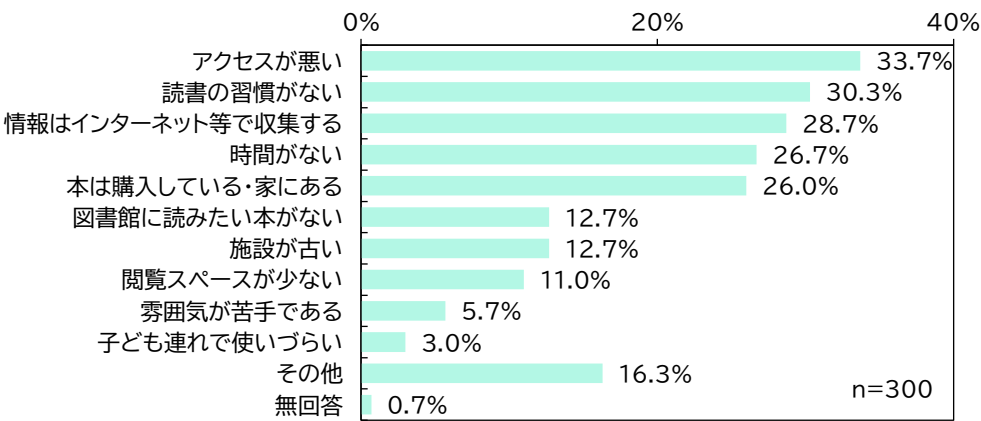


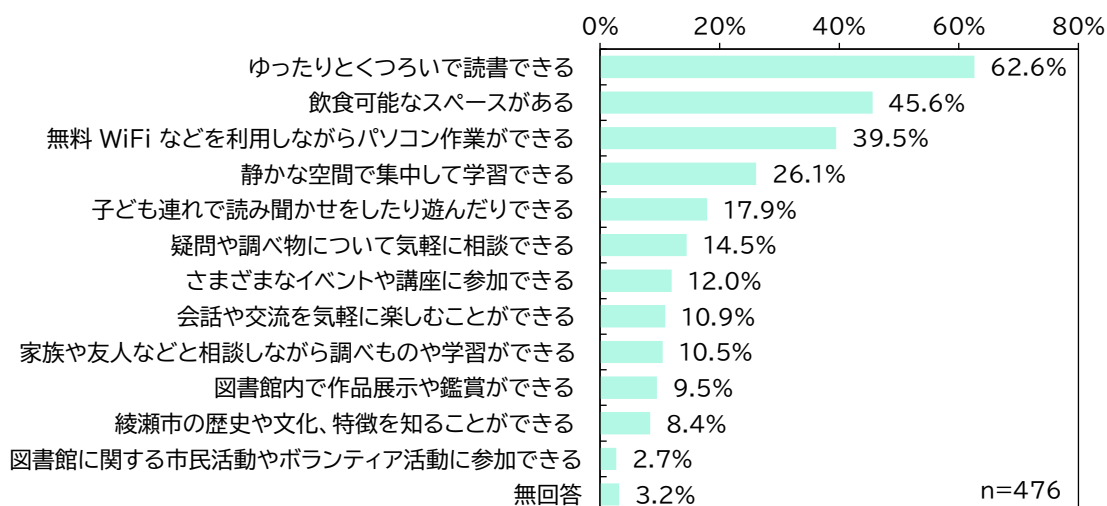
図 3-6 図書館(本館)を利用しない主な理由



② 今後の綾瀬市立図書館(本館)に望むこと

今後の望ましい使い方については、「ゆったりとくつろいで読書できる（62.6%）」が最も多く、次いで「飲食可能なスペースがある（45.6%）」、「無料 WiFi などを利用しながらパソコン作業ができる（39.5%）」「静かな空間で集中して学習ができる（26.1%）」が続き、滞在して読書や学習等を行うことへのニーズが見られました。

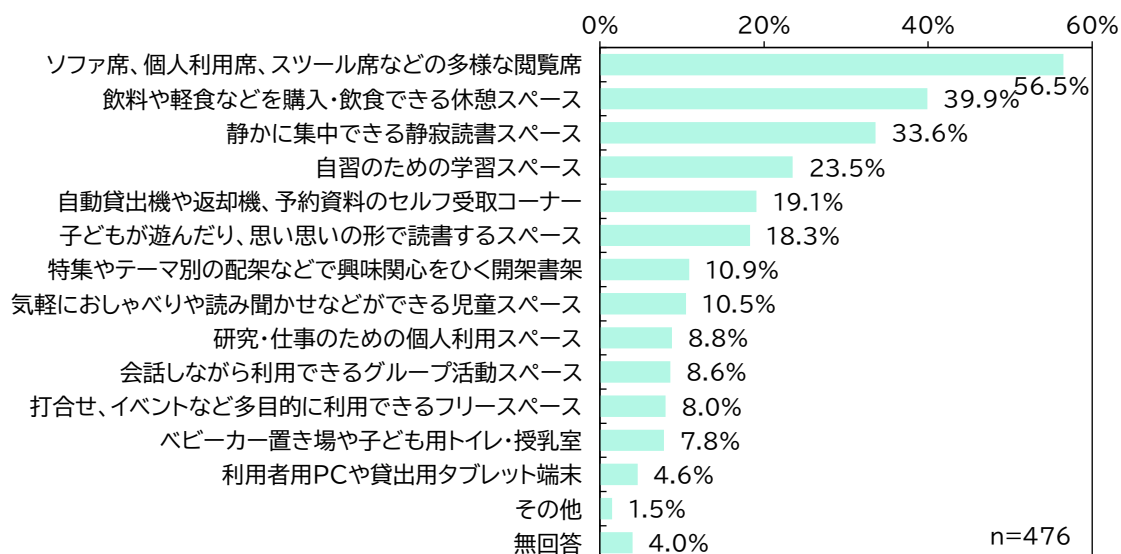
図 3-7 望ましい使い方



③ 充実してほしい施設・設備

充実してほしい施設・設備は、「ソファ席、個人利用席、スツール席などの多様な閲覧席」が 56.5% となり、「飲料や軽食などを購入・飲食できる休憩スペース（39.9%）」、「静かに集中できる静寂読書スペース（33.6%）」が続き、閲覧・飲食スペースの充実へのニーズが高い傾向が見られました。

図 3-8 充実してほしい施設・設備



3.2 ヒアリング調査

「あやせの図書館を考える会」での議論を把握するために会長・副会長、図書館関係者のニーズ等を把握するために図書館職員や図書館ボランティア、学校連携ニーズ等を把握するための学校司書へのヒアリングを実施しました。

3.2.1 あやせの図書館を考える会

令和3～4年度に開催した「あやせの図書館を考える会」の会長・副会長からは、今後の図書館をより幅広い層の利用につなげることや、貸出以外のサービスの周知・利用促進を図ることの必要性等があげられたほか、自然と人が集まり、滞在し、交流するような図書館になるとよい等の意見が出されました。

表 3-2 あやせの図書館を考える会ヒアリング結果

1. 目指すべき図書館像や必要な機能等		
図書館像		・誰もが利用しやすい ・幅広い世代が来る ・平日の日中に自然と人が集まる
サービス		・貸出だけではなくレファレンスの PR ・情報を得られたり、交流を図れたりするサービス
施設・設備		・ゾーニング ・座席の充実 ・明るく温かみのある照明
2. 現在の図書館サービスの強みや問題点		
強み	資料	・読みたい資料をすぐ借りられる
	サービス	・おはなし会、アウトリーチのサービスに積極的 ・リクエストした本をすぐに手に入れてくれる ・電子図書館も綾瀬市ならではの
	職員	・職員の対応がよい
問題点	資料	・電子図書館資料のニーズとのミスマッチの可能性
	サービス	・各種サービスの PR／ふらっと立ち寄る図書館ではない
3. 基本構想策定にあたり、盛り込みが必要なサービス面・施設面での取り組み		
サービス		・郷土資料収集と合わせて綾瀬の魅力を発信
施設・設備		・生活動線上に返却ポスト設置 ・子連れの親がリラックスできる ・動画を視聴できる ・利用の仕方に応じた棲み分け
市民参加		・市役所や市民団体とコラボした交流の場
その他		・図書館とは他のネーミング

図 3-9 あやせの図書館を考える会の様子



3.2.2 図書館職員

図書館職員からは、現在の施設の老朽化や各種スペースの狭さ、子どもにとっての使いにくさ、バリアフリー対応や駐車場不足等の問題点があげられました。サービス面では、子どもや高齢者向けサービス、学校連携、地域連携サービス、各種講座、書庫開放等に注力しているものの、施設面の制約によりサービスを十分に展開できていない状況もみられます。

そのため、今後の市立図書館については、利用が難しい層や未利用層向けの内容を含みサービスを拡充していくことや、それに向けて乳幼児・保護者向けコーナー、授乳室、イベント用スペース等の各種スペースの充実を図っていくこと、すべてにおいて十分な広さのスペースを確保すること等が必要とされました。

表 3-3 図書館職員ヒアリング結果

1. 本館・分室の現状及び課題等					
施設の問題点	・建物の老朽化 ・採光・換気の過不足 ・閲覧・イベントスペースがない ・ベビーカー置き場、授乳室がない ・事務作業用スペースが狭い ・エレベーターがない ・駐車場が少ない ・別棟の公民館での事業実施が図書館利用に繋がりにくい	注力サービス	利用者サービス	・子ども読書関連、高齢者、地域連携サービス ・各種講座の企画運営	
			資料提供	・書庫開放日	
			他施設との連携	・学校連携	
			その他	・デジタルアーカイブ資料収集	
2. 今後の綾瀬市の図書館に求める機能等					
本館・分室の役割・サービス		実現に必要な蔵書・施設		他施設との連携可能性	
役割	・来館したくなる図書館づくり ・本館は郷土資料・参考図書の充実・収集・保存の強化 ・分室の規模・サービスの拡大	・郷土・地域資料の充実、開架率の向上 ・施設の十分なスペース ・各種スペース ・YA 世代向けのカフェ ・子どもが利用しやすい安全安心なトイレ ・エレベーター ・分室の規模拡大		連携先	・病院や商業施設、バス会社等との連携
サービス	・市民、高齢者、障がい者、ビジネス向けのイベントやサービス			その他	・夜間利用者用のバスの運行

3.2.3 図書館ボランティア団体・個人ボランティア

読み聞かせボランティア団体（6 団体）では、会員の高齢化や参加者の減少が問題になっており、今後に向けておはなし会用の部屋の設置や、活動の場を広げること等への意見がありました。併せて、布絵本ボランティア（1 団体）では、作品展示スペースへの要望がありました。個人ボランティア（10 名）でも、活動スペースの狭さや参加者・利用者の少なさ等が課題となっており、活動スペースや駐車場の充実、バリアフリー対応等が望まれています。

表 3-4 図書館ボランティア団体ヒアリング結果

活動内容	普段活動する上での問題点・課題等		今後の活動等についての意見等	
読み聞かせ	会員	・会員の高齢化 ・会員の休みの等の対応	連携	・職員との協力 ・会員が休み等の場合の職員の参加 ・行きたいと思わせる図書館づくり
	参加者	・参加者が増えない	アウトリーチ	・他の施設への出張活動
	活動内容	・プログラム作りの工夫 ・活動の周知 ・他館のボランティアの様子が分からない	スペース	・紙芝居コーナーの資料を取り出しやすく ・おはなし会室、会議室、学習室が必要
	資料	・必要機材の電話での貸出	バリアフリー	・エレベーターが必要
	スペース	・研修場所	駐車場	・図書館近くに駐車場が必要
	その他	・保護者の関心と理解を得ること	その他	・やりがいを感じ楽しく活動している
布絵本展示及びワークショップ	・コロナ禍以降、商業施設で作品展示ができない		・作品の常設展示スペースの確保	

表 3-5 個人ボランティアヒアリング結果

活動内容	普段活動する上での問題点・課題等	今後の活動等についての意見等
ブックススタート	・お母さんとじっくり話したい ・読み聞かせ用の少し広い空間がほしい ・多くの市民等に活動を見てほしい ・活動自体は保護者に浸透し理解を得ている ・問題点も課題もない／非常によい	・乳幼児期からの啓蒙に注力する ・おはなし会室や会議室、学習室の設置 ・エレベーターの設置 ・駐車場の充実 ・とてもやりがいを感じる ・図書館職員と連携をとりながら活動を継続したい
読み聞かせ	・対象者が少なく、予想外に年齢が低い ・本の持ち方・めくり方に悩んでいる ・担当以外の職員にも活動を見てほしい	・「大人に語るおはなし会」も続けてほしい ・おはなし会用の部屋を作ってほしい ・DVD を視聴できる図書館もある ・子どもたちから元気もらっている ・図書館の冷房が効き過ぎている
対面朗読	・朗読資料を初見で読むことは厳しかった ・利用希望がなく活動が続かなかった ・視覚障がい者の方から、来館が困難なため、あまり利用がないと聞いた	・役に立てることがあれば手伝いたい

3.2.4 学校司書

学校司書（小学校 10 名、中学校 5 名の計 15 名）からは、市立図書館の資料提供や選書の内容等が業務に役立っているとの回答がありました。一方で、学校支援貸出の利用には来館が必要であること、小学校配本は各校年 1 回であることから、貸出・返却時の配送、配本回数の増加等、資料利用時に関する要望等がみられました。そのほか、市立図書館司書による学校図書館業務へのアドバイス、子どもに人気の蔵書の充実等を望む意見もみられました。

表 3-6 学校司書ヒアリング結果

1. 学校図書館の業務及び市立図書館との連携について		
団体貸出・学校支援貸出		・資料提供(授業・展示用等)が助かる／選書が参考になる／対応が迅速でありがたい ・授業とは別の図書室展示等でも利用してみたい ・資料の配送等貸出・返却を便利にしてほしい／市立図書館が遠く、利用しづらい
その他サービス		・管理等の相談もできて心強い／きめ細やかな対応に感謝している ・POP コンテスト等のイベントは、生徒たちの励みになっていた
システム		・市立図書館とシステム連携がされておらず、蔵書検索がしづらい ・連絡手段が TEL か FAX しかない
その他		・可能な限りの予算をつけてもらえると、図書室の魅力向上につながる ・市立図書館にはほとんど行かない子が多く、もったいない
2. 児童・生徒及び教員の利用傾向		
児童・生徒	利用状況	・よく利用している／低学年、本好きな担任がいる児童、読書好きの児童の利用が多い ／図書室前の 6 年生の利用が多い ・高学年は利用が減少する
	利用が多い本	・学習まんが／TV アニメの本／ゲームキャラクターの本／文庫／こわい本／おり紙／料理／図鑑／スポーツ／ヨシタケシンスケの本／映画の原作本／YA 分野の本
	市立図書館の利用	・市立図書館の本を持っている子は学校で見かける ・市立図書館は遠く、それほど利用していないと思う
	その他	・当校は図書館の場所が教室から遠く利用しづらい
教員	利用状況	・国語科、カウンセラー、支援級、読書好きの教員の利用が多い ・あまり利用しない
	利用方法	・関連図書のクラス貸出・配架／福祉関係、修学旅行／支援級での利用 ・授業利用する時に突然の申し出が多いように感じる
	市立図書館の利用	・利用している話は聞かない ・図書館担当教員が利用について明るため利用は多いのではないかと
	その他	・教員と連携を図っていききたい／総合等での利用も必要ではないかと ・分類の授業で 2 年生の先生がとても熱心で驚いた ・市立図書館の本を借りることで、先生方から感謝されている
3. 今後の市立図書館との連携や市全体の図書館サービスの在り方について		
市立図書館との連携		・貸出・返却をしやすくしてほしい／資料の配送があるとよい ・定期的な配本や配本回数の増加 ・司書のアドバイスを受けたい／リサイクル本等をもっと学校に回してほしい ・市と各学校間のシステム連携による相互貸借・他館の配架状況等の把握
図書館サービスの在り方		・人気本の蔵書を増やして欲しい ・綾瀬市の図書館は駐車スペースが遠い ・今の状況でとても助かっている

3.3 ワークショップ

令和4年度には「あやせの図書館を考える会」を通じて市民ニーズを集めたことや、その参加者の約7割が50歳以上であったこと、また、「あやせゼロの日運動アンケート」において、小中学生や幼稚園・保育所の保護者のニーズを集めたことを踏まえ、高校生と18歳から50歳までの世代を対象としてワークショップを開催しました。

3.3.1 市民ワークショップ

18～50歳までの主に子育て・働き盛り世代を対象として開催したワークショップでは、将来の綾瀬市立図書館をイメージした上で、それを実現するために必要な施設や資料、サービス等について表3-8に示すようなアイデアが出ました。

施設面では、ランドマークとしての図書館の実現や、特に子ども及び親子が利用しやすい児童コーナー、飲食・休憩のためのスペース、多様な閲覧席等へのニーズが見られました。また、資料・サービス面では、多文化共生を推進するための外国語資料の提供や外国語のおはなし会、未利用層の利用につながるおすすめ本の紹介やイベントについてのアイデアもあげられました。そのほか、他施設や市民と連携した幅広い取り組み等も求められています。

表 3-7 市民ワークショップ概要

項目	概 要
① 名称・テーマ	市民とともにつくる図書館ワークショップ「ミライの図書館をカタチにすると？」
② 開催日時	令和5年10月22日(日) 10時～12時
③ 対象	18～50歳までの主に子育て・働き盛り世代
④ 参加者数	12名

図 3-10 市民ワークショップの様子



表 3-8 市民ワークショップ意見概要

分類		意見概要
全般	位置づけ	暮らしの一部／便利／雨の日・暑い日に使える／遊び心／グローバルで先進的
	綾瀬市らしさ・対象	綾瀬のウリ／最も効果的な「1つ」／子ども・子育て世代
施設	規模・デザイン等	広く使われやすい／ランドマーク的な外観／穏やかな空間／時期による雰囲気
	ゾーニング・居心地	年齢別／子どもの空間と大人の空間／1日中いられる／気軽に行ける
	バリアフリー	高齢者や車椅子の人でも使いやすい
	閲覧スペース	集中できる囲まれた読書室／個室
	児童スペース	キッズフロア／絵本の壁／クッション床／遊べる／赤ちゃんがいても安心
	飲食・休憩スペース	休憩・リフレッシュスペース／お座敷／レンジ／ウォーターサーバー
	家具等	デスク＋椅子の充実／大きな机／居心地のよいソファ／カウンター机 独立した学習机／キッズ向け／ふわふわクッション／ブランケット／国旗を飾る
	外部・駐車場	屋上／アウトドア／緑と花／インスタ映え／ドライブスルー／駐車場が広い
資料	最新資料	トレンドを取り入れた書物
	児童資料	子ども向けの本の充実／ちょっといい図鑑
	地域資料	綾瀬にあるすごい本／映画原作／地域の習い事等の情報
	外国語資料	外国語の本／子ども向けの英語の本／紙芝居／他の国の電子書籍
	その他	電子化／オーディオブック／まんがやサブカルの本／古本
サービス	レファレンス	期待に応えられる／子どもが話しやすい／AI の活用
	児童サービス	悩んだときに情報を発信してもらえる／AI の活用／マナーを教える
	アウトリーチ	通訳／画像翻訳機／海外のおもちゃ
	展示	職員による特集の多様化・オススメ紹介／POP を充実
	行事・イベント等	読書会／おはなし会(外国語・青空・年配者)／体験型(ゲーム・星空観測)／アーティスト・芸人・スポーツ選手・キャラクター／趣味／文化交流／リサイクル／図書館見学
運営	職員	プロのスタッフ／カッコイイ制服
	開館時間・利用規則	夜遅くまでの特別な日／緩いルール
	広報・利用促進	積極的なPR／ポイント
	連携	クラブチーム／パン屋・子ども食堂・NPO／エンタメ／色んな特技の市民 外国籍の方／団体／ボランティア／国内外の図書館／分室の充実／寄付

3.3.2 高校生ワークショップ

高校生対象のワークショップでは、「指針」で示した4つの図書館像を実現するために表3-10に示すようなアイデアが出ました。施設面では、子どもが遊ぶスペースや飲食スペース、グループでの利用や相談が可能な学習スペース等があげられました。他にも、宿題や進路についての相談、学校関連イベント、高校生自身によるおすすめ本の紹介や読み聞かせ、図書館の仕事の体験等、高校生ならではの視点により多くのアイデアが出されました。

図 3-11 高校生ワークショップの様子



表 3-9 高校生ワークショップ概要

項目	概 要
① テーマ	ミライの図書館であつたらいいな！できたらいいな！
② 開催日時	令和5年 11 月 15 日(水) 16 時 15 分～17 時 15 分
③ 参加者数	6名(綾瀬高等学校:3名 綾瀬西高等学校:3名)

表 3-10 高校生ワークショップ意見概要

分類		意見概要
施設	規模	文化会館のホールも含めた広い図書館
	児童コーナー	子どもが遊べるスペース／読み聞かせスペース(大人向けもある)
	学習スペース	勉強や相談ができるスペース／個人学習席以外にも多人数の席
	飲食スペース	カフェ／食堂／移動販売／ドリンクバー
	その他	学校のスペース／本を自作・展示できるスペース／パソコン／タブレット
資料	児童資料	紙芝居、巻物／喋る絵本、飛び出す絵本、色んな絵本
	地域資料	市で作った(歴史の)本／文集をつくって出す／有志の同人誌
	外国語資料	外国の本／英訳まんが
	その他	脚本／アニメ化・映画化された本／洋楽 CD・レコード／検定を勉強するための本／詩・絵／新聞／点字／まんが／市民のいらなくなった本
サービス	レファレンス	宿題相談／進路相談
	展示	〇〇から〇〇へおすすめの本(高校生から小学生など)／色々な人に POP を書いてもらう／おすすめ本を目立たせる／CD をもっと目立たせる
	予約	スマホ、電話、ハガキで予約
	行事・イベント	学校同士のイベント／落語／塗り絵／高校生の読み聞かせ／創作講座 外国人と話そうの会
運営	連携	図書館司書の仕事についての講座・実習
	グッズ	オリジナルグッズ(葉、ミニ紙芝居、キーホルダー、本のカバー)作成
その他	—	移動図書館／中高生向けの図書室／返却ポスト

第4章 解消が必要な課題と今後の方向性



4.1 市立図書館の課題

4.1.1 資料・サービス・運営面 —— ソフト面 ——

現在の市立図書館の市民実利用率は約5.7%で、コロナ禍の影響があるものの貸出冊数等も減少傾向にあります。市立図書館は市民に利用されることが重要で、利活用を促進する資料・サービス・運営等、ソフト面の充実が必要です。

資料の面からは、社会の変化や利用ニーズに応じた資料をより一層充実していく必要があります。そして、それらを必要とする利用者へと丁寧に届けるため、紙と電子書籍の双方の特徴を活かした資料提供や、利用者と資料との接点の拡充等が望まれます。

また、サービス・運営の面からは、現在は貸出・返却目的の利用が多く、本館の書庫出納を除くレファレンスの利用は1日2件程度で、郷土資料室やオンラインデータベース等の認知度も低いことから、各種サービス・事業を充実するとともに、それらの周知や利用のきっかけをつくることも求められます。併せて、乳幼児や働き盛り世代、外国人、高齢者、障がい者等の図書館利用自体から疎遠になりがちな層に対して、読書普及及び利用促進に資するサービスを時代に応じた内容及び方法で展開していくことも必要です。そして、これらのより幅広く多様なサービスの実現に向けて、ボランティアや地域住民・団体、他施設、他自治体等との積極的な連携・協働が不可欠です。

さらに、地域における「知のインフラ」として、人と本や情報をつなぐだけでなく、綾瀬市及び中心市街地の魅力・活力・賑わい創出等に貢献していくためには、地域の文化や歴史の発信、地域課題の解決等に資する資料やサービスの充実を図ることも求められます。

4.1.2施設・設備面 ―― ハード面 ――

市民アンケート等でもくつろいで読書をすることや、多様な閲覧席の利用等へのニーズが高いことを踏まえ、開架・収蔵スペースの不足を解消するとともに、快適な閲覧環境を確保していく必要があります。また、市民ワークショップでは子どもや親子連れの利用を重視する意見も多くみられたこと等を踏まえ、これまで使いにくさを感じていたと考えられる親子連れや若者世代、グループ等の気軽な利用や滞在を可能とするスペース・設備の確保、ユニバーサルデザインの考え方に基づく空間づくりも必要となります。

さらに、生涯学習、地域活動等を広げる地域の「知のインフラ」としての役割を果たし、未利用層を含むさまざまな市民の活動を支援していくため、読書や調べもの、学習だけでなく、交流や情報交換、仕事、遊び等の多様な利用ニーズに応え、誰もが思い思いに活動をすることができる環境を整えることも求められます。

そして、充実した資料やサービス、スペースを利用者にとってよりよいかたちで効率的に提供していくため、デジタル技術の積極的な活用を推進する環境や設備を整えていくことも望まれます。

4.2 今後の市立図書館の基本理念・基本方針

4.2.1 基本理念

「4.1 市立図書館の課題」までの内容を踏まえ、今後の市立図書館のサービスの方向性や備えるべき施設等を検討するための基本的考え方として、以下の基本理念「本と人とまちを心地よくつなぎ 夢をつむぐひろば」を設定します。

ソフトとハードの両面で現在の市立図書館が抱える課題を解消し、指針で目指す図書館像の実現を図るにあたり、繰り返し訪れて本をつい手に取りたくなるような“わくわく”感の創出、未来へ続く「知のインフラ」としての共創・共生の場や機会の充実、リアルな空間を活かした文化や賑わいづくり等を特に重視していく必要があります。

今後の市立図書館は、一人ひとりが「行ってみたい」「また行きたい」と思える図書館として、さまざまな工夫を通じた本との出会い、本を介した人との出会いやコミュニケーションを散りばめ、地域の魅力を伝える学びの拠点となることを目指します。

現図書館の課題

ソフト面(資料・サービス・運営)

- 社会の変化や利用ニーズに応じた資料の充実
- 利用者と資料との接点の創出
- 幅広い多様なサービスの実現に向けた関係主体との連携・協働
- 地域の文化や歴史の発信
- 各種サービス・事業の充実と周知
- 地域課題の解決等に資する資料やサービスの充実

ハード面(施設・設備)

- 開架・収蔵スペースの不足
- ユニバーサルデザインの空間づくり
- デジタル技術の活用
- 気軽な利用や滞在が可能なスペース・設備の確保
- 多様な利用ニーズに対応できる環境

指針で目指す図書館像

1. 知の情報拠点としての図書館
2. 学び、交流できる図書館
3. 地域の魅力を伝える図書館
4. すべての人に開かれた身近な図書館

市立図書館の基本理念

本と人とまちを心地よくつなぎ
夢をつむぐひろば

さまざまな工夫を通じた本との出会い、
本を介した人との出会いやコミュニケーションを散りばめ、
地域の魅力を伝える学びの拠点

4.2.2 基本方針

「4.2.1 基本理念」に基づき市立図書館の具体的な方向性を示すものとして、以下の3つの基本方針を設定します。

基本理念

本と人とまちを心地よくつなぎ 夢をつむぐひろば



基本方針1: 本と人をつなぎ、一人ひとりの学びや暮らしを支援

- 多様な年齢・職業・文化的背景の市民一人ひとりの学びや暮らし、仕事を支え、人生を豊かにするため、綾瀬市における知のインフラとしてさまざまな本や情報を取り揃え、それらをより触れやすいかたち、より適切に結びつくかたちで提供することで、本と人をつなぎます



基本方針2: 人と人をつなぎ、交流や新たな知の創出を促進

- 多様なバックグラウンドを持つ利用者間で出会いや交流、発見、知識、文化が生まれる場として、関連施設とも連携しつつ本を介して来館者同士が互いの知識や経験を共有し、共に学び、活動するための場や機会の充実に図り、人と人をつなぎます



基本方針3: 人とまちをつなぎ、地域の魅力に触れながら

想い想いに過ごせる拠点づくりに貢献

- 中心市街地の魅力アップの一翼を担う施設として、子どもや学生、子育て世代、働き盛り世代等の未来を担う世代を含むさまざまな利用者にとって、生涯にわたる学びと交流の場として居心地のよい新たな空間となるほか、地域の魅力を伝え、まちやその未来への関心を育む場となることで、人とまちをつなぎます

第5章 図書館のサービスの方向性



5.1 本と人をつなぎ、一人ひとりの学びや暮らしを支援

5.1.1 中央館としての豊かな蔵書の提供

さまざまな本との出会いを生む本市の知の拠点として、未利用者層も含めた読書や情報等への多様なニーズに応えるため、他自治体水準も踏まえて、本市の中央館に相応しい蔵書を備え、直接手に取りやすい環境で提供します。



-  **重点1 本との多彩な接点の創出**：充実した開架資料やそれらのゆとりある配架、予約資料を含むセルフ貸出・返却サービス、現在も力を入れている特集展示や書庫開放の拡充・継続等を通じて、豊富な本に出会い、触れられる多くの機会を設けます。
-  **重点2 暮らしを彩る本の発信**：暮らしに密着した子育て、健康、法律等の分野や、仕事に役立つ ICT、各種資格関連等の分野、まちの特色を踏まえた DIY、園芸、映画・音楽等の分野の資料について、テーマ別でのコーナーづくりや展示等を通じて重点的に発信します。
-  **重点3 誰もが読書ができるさまざまな「かたち」の本の提供**：本市の外国人市民が母国語で読める資料、LL ブック、大活字本のほか、点字資料や電子書籍を充実させ、読書バリアフリーにも配慮したさまざまな「かたち」の読書に対応した本を提供します。
-  **重点4 地域の歴史や文化に関する資料・情報の提供**：本市や周辺地域の歴史や文化、民俗、ゆかりの人物、産業、行政施策等に関連する郷土資料について、デジタル資料等も含み、調べもの等に利用しやすい環境で提供し、本市の未来を担う世代や外国人市民を含んだ幅広い層がそれらに親しむことができる機会を設けます。

5.1.2 情報・知識との出会いや学びのお手伝い

本だけでなく各種サービスが充実し、すべての人に開かれた身近な図書館として、資料や情報、知識をより適切に利用者へ届けるための対応を充実させ、本を読むだけでは得られない新鮮な情報、深い情報を含めて幅広く届けます。



- **重点1 身近で便利なレファレンスサービス**：身近な疑問や日々の学びについての相談に、話しやすい雰囲気でのレファレンス専用カウンターで対応します。また、市役所内の関係課や関連機関等との連携を進めつつ、さらに専門的な情報や機関等へつなぐためのレフェラルサービスを充実します。
- **重点2 一人ひとりに寄り添う利用支援**：高齢者、障がい者及び外国人市民等を含む来館及び利用が困難な層へのサービスとして、見やすくわかりやすいサインをはじめ、使いやすいトイレ・授乳室等のユニバーサルデザインに基づく館内環境のほか、読書や利用をサポートする取組を充実するとともに、それらを PR します。
- **重点3 地域における学びや活動の支援**：分室を通じた資料提供やイベントの開催、保育所や幼稚園等への配本、電子図書館の運営等を通じて、図書館資料を活用した市民の自主的な学びや活動を支えます。

5.1.3 子どもの学びや育ちの後押し

児童コーナーや遊び場の充実を望む子どもと子育て世代が快適に過ごすことができ、生きる力も育むことができる図書館として、本と自由に触れ合える環境を充実するほか、関連機関とも連携して読書や本をさらに身近に感じられる機会を提供します。



- **重点1 成長に応じた読書の場の提供**：幼少期から本や読書の楽しさを感じられる場として気軽に訪れることができ、読み聞かせや声を出してのひとり読み、寝転がっての読書等の自然体での利用が可能で、子どもの好奇心を引き出し本に親しみやすい環境の子ども向けコーナーで、より多くの児童書を提供します。
- **重点2 読書の世界への入り口の拡充**：子どもの来館や読書、学びのきっかけとなるよう、本だけでなく、本の世界が感じられるおもちゃやボードゲーム等を提供するほか、本の世界に入り込みやすい専用のコーナーでおはなし会等の行事を開催します。併せて、赤ちゃん向けの絵本や絵本の選び方等に関する本も充実します。
- **重点3 関連機関と連携した読書活動の支援**：館外でも子どもの自発的な読書や学びを支えるため、配本用の児童書や電子書籍を充実するほか、子育て支援センターや幼稚園、保育所、児童館、学校等との連携を強化し、図書館見学や職場体験の受け入れ、出張図書館、学校図書館の運営支援等を継続します。

5.2 人と人をつなぎ、交流や新たな知の創出を促進

5.2.1 出会いや気づきのきっかけづくり

本を介して多様なバックグラウンドを持つ利用者同士の自然な接点が生じ、新たな出会いや気づきが生まれる図書館として、自分とは異なる考え方やまだ知らない世界を知ること、自分の考えを伝えることができる場や機会を提供します。



重点1 時間と学びの共有機会の提供：読書活動の普及につながるだけでなく、実際に話を聞くなどの経験から問いを見つけたり、新たな世界を拡げたり、同じ興味関心を持つ仲間と出会うことにもつながる講座や講演会等について、参加しやすく、館内の本と絡めた学びが可能な環境で開催します。

重点2 知識や発見の共有の促進：本があることを活かした新しいかたちのコミュニケーションが生まれるよう、館内のディスプレイやフリースペース等を活用し、読み聞かせボランティアや市内小中学生等のおすすめ本の発信、市内の団体や学校等の読書・学習活動に関連した作品及び学習成果の展示・発表のための場や機会を設けます。

5.2.2 接点をつなぎに変わる仕組みづくり

多様な接点を通じて生まれたコミュニティの継続的な活動の場となる図書館として、館内の適切なゾーニング等を通じて、常時利用者同士で知識・情報を共有することができる環境を提供します。また、多様化するニーズに対応するため、さらなるボランティアとの協働に必要な活動・交流のための場や機会も拡充します。



重点1 多様な学びと自主的な活動のための場の提供：動と静を両立するゾーニングに配慮した館内で、多様な活動の受け皿となるスペースとして、ガラス張りで活動内容がお互いに見え、読書につながる図書館ならではの講座やイベントなどをはじめ、静寂読書スペースやパソコンが利用可能な学習スペースなど、さまざまな学びのニーズに応じた柔軟な運用が可能な多目的学習室、オープンな空間で会話や作業等にさまざまなにシェアすることができるフリースペース等を提供します。

重点2 ボランティアとの協働・連携の強化：館内の活動しやすい環境で備品等も保管可能な専用のボランティア活動室を提供するほか、ボランティアの養成講座や交流会等を充実させます。また、学生等のより幅広い層がボランティアとしてアイデア等を発揮できる機会を設けることも検討します。

5.3 人とまちをつなぎ、地域の魅力に触れながら

思い思いに過ごせる拠点づくりに貢献

5.3.1 地域に関する資料・情報や魅力の発信

まちやその未来への関心を育むための郷土資料・地域情報の収集拠点となる図書館として、地域を知り、再発見し、考えることにつながる資料と、それらを学ぶ機会とを併せて提供します。また、まちへの入り口の1つとして、本市及び中心市街地の活性化に寄与するための地域の新しい情報も発信します。

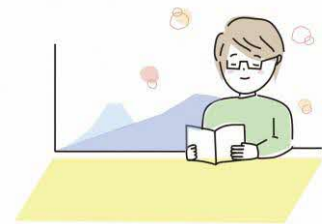


重点1 地域の歴史や文化に関する資料・情報の提供(再掲)：本市や周辺地域の歴史や文化、民俗、ゆかりの人物、産業、行政施策等に関連する郷土資料について、デジタル資料等を含み、調べもの等に利用しやすい環境で提供し、本市の未来を担う世代を含んだ幅広い層がそれらに親しむことができる機会を設けます。

重点2 地域・行政の最新情報と魅力の発信：地域・行政の情報を集めることや、魅力を知ることにもつながるよう、館内の情報コーナーを通じて、生涯学習分野のサークル活動や習いごと、イベント関連情報のほか、関連公共施設やそのサービスの案内、学校や団体等の取組を発信します。併せて、専門的な知見や技術、経験等を持つ市民や市内事業者等と連携した講座やイベントの開催等についても検討します。

5.3.2 自分らしく過ごせるまちなかのリビングの形成

中心市街地に人を惹きつけ、憩いと賑わいを生むまちのオアシスのような図書館として、それぞれがお気に入りの場所、心地よい場所として学び過ごすことができるまちのランドマークを目指します。



重点 中心市街地の新しい魅力づくり：個人でも、親子や友人同士でも利用可能なグループ席等を含むさまざまなタイプの座席を使いやすい方法で提供します。また、飲食も可能で自由にのびのびと過ごすことができるフリースペースや、富士山や大山等の本市ならではの景観等を通じて滞在自体を楽しむことができる閲覧スペースやブース席のほか、飲食購入が可能で、長時間の滞在ができる環境等を提供します。そのほか、交流を楽しむことのできるさまざまなツールも提供し、多世代が賑やかに学び過ごせる場を創出します。

第6章 施設規模と再編手法の検討



6.1 蔵書と施設規模の検討

6.1.1 蔵書規模の検討

「2.3 望ましい基準及び同規模自治体図書館との比較」にある通り、全国と同規模市の蔵書冊数の平均値は約 4.2 冊／人で、本市の将来人口推計約 7 万 7,000 人で同水準を想定する場合、市全体での蔵書冊数は約 32 万 5,000 冊となります。本館を除く 3 分室の収容冊数は約 3 万冊であることから、これを除き図書資料として約 30 万冊を再整備後における図書館の収容冊数の計画値として設定します。

なお、「2.2.4 資料所蔵状況」で示した通り、現本館の令和 4 年度末の図書資料冊数は約 21 万冊で、現状を踏まえて本館における年間の受入冊数を 7,500 冊程度と想定した場合、この計画値は開館後 10 年間以上は資料を除籍せずに保存可能な規模となります。

また、開架率についても同規模自治体の中央館平均値約 60％を踏まえるものとし、開架図書資料冊数は約 18 万冊を想定します。

一般書・児童書冊数は、現本館では図書資料における児童書割合が約 33％と比較的高いことや、再整備後の図書館の収容冊数が現本館よりも大きく増えることを踏まえて、現状のままの割合で一般書約 20 万冊（約 67％）：児童書約 10 万冊（約 33％）を想定します。

表 6-1 再整備後の図書館の収容冊数等

項目	再整備後の図書館の収容冊数の計画値	参考値	
		現本館図書資料冊数 実績値(R4年度末)	同規模市中央館 実績値(R3年度末)
① 図書資料冊数	約30万冊 (市全体で約4.2冊／人)	約21万冊 (市全体で約2.9冊／人)	— (市全体で約4.2冊／人)
② 開架・閉架別冊数	約 18 万冊:約 12 万冊 (約 60％:約 40％)	約 7 万 3,000 冊:約 13 万 9,000 冊 (約 35％:約 65％)	— (約 60％:約 40％)
③ 一般・児童別冊数	約 20 万冊:約 10 万冊 (約 67％:約 33％)	約14万2,000冊:約6万8,000冊 (約 67％:約 33％)	— (約 70～72％:約 28～30％)

※同規模市値は「日本の図書館2022」より作成

表 6-2 <参考>現本館の状況(R4年度末値)

所蔵場所	構成	図書資料冊数(冊)		割合
開架	開架／学習室 郷土資料室	一般書	48,104	23%
		児童書	24,994	12%
		小計	73,098	35%
閉架	カウンター／書庫 中地下／事務室 その他	一般書	93,974	44%
		児童書	44,621	21%
		小計	138,595	65%
本館計		一般書	142,078	67%
		児童書	69,615	33%
		合計	211,693	100%

※ 児童書は紙芝居を含む

6.1.2 必要諸室・規模の検討

(1) 必要諸室の考え方

「第5章 図書館のサービスの方向性」までの内容を踏まえ、再整備後の図書館として想定する諸室を次のように考えます。

再整備後の図書館は、「2.5.2 上位・関連計画での図書館の位置づけ」にある通り、人と情報をつなぎ、人が育つ生涯学習の基幹施設であるとともに、商業施設との連携や交流の場の創出等により、中心市街地の魅力・賑わいづくりに貢献する施設の1つです。また、市の新たな情報発信拠点となることから、これまで市立図書館を利用していない層を含む誰もが買い物の合間や帰宅途中等にも気軽に立ち寄り、集うことができる図書館として、飲食しながらグループ活動等ができるフリースペース、各種イベントや多様な学びの場となる多目的学習室を新たに設けるほか、長時間の滞在ができるように飲食販売スペースに加えて、中央館として図書館サービスをさらに充実させるための配本スペースやボランティア活動室等を備えることを想定します。

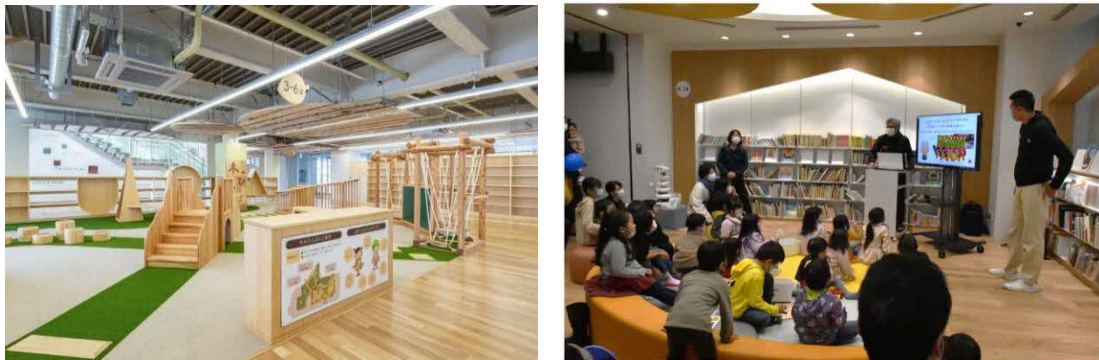
また、これまで以上に多彩な本との接点を得られ、豊かな時間を過ごすことのできる居場所として、開架エリアは面積当たりの収蔵冊数を抑えることや一部に公開書庫を導入すること等によりゆとりある配架とした上で、さまざまに使い分けが可能な十分な数の座席を設けます。そして、暮らしに彩を添えることや課題解決に役立つ資料及び情報をテーマ別に発信するコーナーを設けます。

併せて、子どもや親子連れが自由に、自分らしく本や他の利用者と触れ合い楽しむことができる場として、児童開架全体は賑わいのある空間として位置づけ、本だけでなく遊びや体験を通じた学びにつながる絵本・おもちゃライブラリー（絵本だけでなく一部館外貸出を行うおもちゃも備えたスペース）等を設けます。また、現本館にはない子ども用トイレや授乳室も設けます。

図 6-1 テーマ別コーナー参考イメージ(左:鹿児島市天文館図書館／右:札幌市図書情報館)



図 6-2 児童開架参考イメージ(左:金沢市玉川こども図書館／右:豊橋市まちなか図書館)



出典) 各館HP

(2) 規模の考え方

開架エリアの主な部分を占める一般開架スペースや児童書コーナーのほか、保存エリアの閉架書庫は、「6.1.1 蔵書規模の検討」を踏まえた配架予定の図書冊数と単位面積あたり収蔵冊数を用いて面積を設定します。

また、フリースペースや多目的学習室、ボランティア活動室等を含む他室の面積は、利用者数及び職員数の想定や現本館における設置状況、他事例面積を踏まえて設定し、共用部は全体面積に対する割合から設定します。

(3) 必要諸室・規模一覧

「(2)規模の考え方」までを踏まえて、再整備後の図書館で想定する諸室やその規模を 55 ページの表 6-3 の通り設定します。

再整備後の図書館の規模として、現時点では約 4,000 m²を想定します。なお、集会機能の規模は、図書館の再整備予定地周辺の公共施設立地やその稼働状況等を踏まえて設定する必要があります。

表 6-3 再整備後の図書館の諸室構成・規模案

区分	部門	ゾーン	室名	備考	面積(㎡)					
					室	ゾーン	部門	区分		
利用者	導入	エントランス	風除室等		90	90	295	2,725		
		交流	フリースペース・飲食販売スペース	飲食・イベント・グループ学習・綾瀬魅力発信スペース兼用	200	205				
			返却ポスト室		5					
	開架	一般開架	カウンター		20	1,420	2,220			
			予約本スペース	500冊程度想定	10					
			一般開架スペース	一般書100,000冊程度(開架率60%)、80冊/㎡ うち3,000冊は面展多用を考え40冊/㎡ ※テーマ別配架コーナー (ティーンズ・視聴覚資料含む) 参考資料コーナー 外国語資料コーナー データベースコーナー等含む	1,290					
			新聞・雑誌コーナー		50					
			レファレンスカウンター		10					
			公開書庫	20,000冊程度(郷土資料その他)、500冊/㎡	40					
			児童開架	児童カウンター					15	800
		児童書コーナー		児童書45,000冊程度(開架率55%)、90冊/㎡	500					
		絵本・おもちゃコーナー		絵本15,000冊程度 ※おもちゃ等を配置、おはなし会等のイベントスペース含む ※一部靴を脱いでの利用を想定	260					
		子ども用トイレ・授乳室			25					
		集会 学習		学習室	2.5㎡×40席＝100㎡ ※現状73㎡	100	210		210	
				多目的学習室	①2.5㎡×12席＝30㎡ ②2.5㎡×12席＝30㎡ ③2.5㎡×10席＝25㎡ ※可動壁による一体利用も想定 ※中高生等のグループ学習、パソコン作業、静寂読書、蔵書を活用した講座など	85				
			ボランティア活動室	2.5㎡×10席＝25㎡ ※他にフリースペースや会議室の使用も想定	25					
	管理		事務作業室	職員30人程度、5㎡×30人＝150㎡	150	300				570
	事務 管理	移動図書館・配本用作業スペース		30						
		会議室	2.5㎡×12席＝30㎡ ※対面朗読にも使用	30						
		休憩室・更衣室等	1.2㎡×30人≒35㎡	35						
倉庫		4,000㎡×1.4%≒55㎡	55							
保存		閉架書庫	図書120,000冊程度、500冊/㎡ ※雑誌・視聴覚資料保存スペース含む	270	270					
共用		階段・廊下・EV・機械室・トイレ等	全体の17.5%				700			
合 計					≒ 4,000					

6.2 再整備手法のイメージ

6.2.1 再整備手法の比較検討

「6.1.2 必要諸室・規模の検討」にある通り、再整備後の図書館の規模として延床面積約4,000㎡の確保を前提とし、中心市街地エリア内で既存建物活用と新築を含めた再整備手法について、表6-4の通り比較検討しました。

表 6-4 再整備手法の比較

項目	案1:改修		案2:改修+増築		案3:新築	
概要	・現在の図書館及び市民文化センターの他施設を転用し、図書館として再整備する		・案1の通り改修するとともに、現在の図書館横の駐車場に増築する		・中心市街地エリアにおいて新たな図書館を建設する	
施設規模の確保（四千㎡）	・中央公民館・高齢者福祉会館の両方を図書館に転用しないと確保できない	×	・増築の上、中央公民館もしくは高齢者福祉会館のどちらかの改修が必要	△	・単独で確保できる	○
まちづくり	・一部幹線道路に面しているのみで、視認性と回遊性が低い	△	・一部のみ、もしくは幹線道路に面しておらず、視認性と回遊性が低い	×	・中心市街地活性化に寄与する、にぎわいと回遊性を生み出す配置が検討できる	◎
施設機能の充実と効果的な運営	・複数の建物に分割されるため、職員配置などの管理運営面の他、動線及び空間活用が課題 ・構造的な補強工事をしなければ、通常の開架が難しい可能性がある	×	・複数の建物に分割されるため、職員配置などの管理運営面の他、動線及び空間活用が課題 ・改修部分は、構造的な補強工事をしなければ、通常の開架が難しい可能性がある ・図書館横駐車場の廃止により駐車台数減、建物へのアクセス性が低下	×	・これからの図書館として必要とする機能を最も充実した形で整備できる ・第一駐車場との位置関係の改善が図れる	◎
コスト	・イニシャルコストは他2案に比べて抑えられる可能性が高い ・改修後20年程度で建て替えが必要となる可能性が高い ・更新費用も含めるとランニングコストはもっとも高くなる	△	・イニシャルコストは案1に比べると高くなる可能性があるが、案3に比べれば抑えられる可能性が高い ・ランニングコストは案3と比べて割高になる可能性が高く、改修部分の耐用年数も20年程度と短い ・増築の建物と改修部の耐用年数の差が生まれる	△	・イニシャルコストは他2案より高額になる可能性が高い ・ランニングコストは他2案に比べて最も抑えられる可能性が高い	△
工事中の対応	・改修工事中の蔵書保管場所の手配が必要 ・工事手順によっては休館期間は短くできるが、課題が多い	△	・改修工事中の蔵書保管場所の手配が必要 ・他2案に比べて休館期間は長い	×	・蔵書は新築後に移設 ・休館は最低限で済む	◎
その他	・転用する2施設の移転先の確保が必要	×	・転用する1施設の移転先の確保が必要	△	・計画の自由度が高い ・建設用地の検討が必要 ・既存図書館の有効活用の検討が必要	△

※いずれの案も実施に際しては、既存建物の法令適合状況の確認が必要になります

新たな図書館の整備には、望ましい施設規模の確保、基本方針を満たすためのふさわしい立地、まちづくりへの貢献、機能の充実性、工事期間中の施設機能維持などが欠かせない視点となります。また、整備のコストや今後どのくらいの期間利用できるかなどの費用対効果の面も重要になります。

以上の観点から、表6-4の通り案1～案3の比較検討をした結果、最も合理的な整備手法といえる「案3：新築」を今後の整備イメージとします。

なお、再整備にあたっては整備費用の削減と平準化に向けて、民間活力などの活用も検討して、適正な手法や費用負担での再整備を進める必要があります。

6.2.2 再整備の作業工程イメージ

これまでの作業工程及び、今後の主な作業工程としては、次のような手順となります。

表6-5 今後の作業工程

作業名称	主な内容	作業期間
◆これまでの作業工程		
在り方指針の改定	市民公募による「あやせの図書館を考える会」の議論を参考に、目指す図書館像と、運営面・施設面の双方における取り組みの基本方針を示す。	令和3年度 ～4年度
基本構想の策定 (本計画)	各世代の市民ニーズや将来の人口推計等を踏まえた、本市の図書館の今度の方向性と必要な機能や施設規模など施設再編の方針を示す。	令和5年度 ～6年度
◆今後の作業工程		
基本計画 ↓	整備予定地、サービス計画、施設整備計画、管理運営計画、概算事業費等の整理。	令和7年度 以降
基本設計 ↓	基本計画に基づき、様々な可能性を比較検討し、建築プランと仕様概要の整理。	
実施設計 ↓	基本設計に基づき、建物の仕様や工事内容など詳細部分の整理及び申請業務・発注準備。	
建設工事	建物及び外構等の工事。	

卷末資料



資料 1.1 策定経過

年月日	内容
令和5年7月14日	・令和5年度第1回綾瀬市生涯学習推進審議会 (情報交換:綾瀬市図書館基本構想の策定について)
令和5年7～8月	・各種ヒアリング調査 (図書館職員、学校司書、図書館ボランティア、あやせの図書館を考える会会長・副会長)
令和5年8月	・市民アンケート調査
令和5年8月28日	・令和5年度第2回綾瀬市生涯学習推進審議会 (諮問/議題:綾瀬市図書館基本構想について)
令和5年10月22日	・市民とともに作る図書館ワークショップ 「ミライの図書館をカタチにすると?」(対象:子育て・働き盛り世代)
令和5年11月15日	・市民とともに作る図書館ワークショップ 「ミライの図書館であつたらいいな!できたらいいな!」(対象:高校生)
令和5年12月17日	・令和5年度綾瀬市生涯学習推進審議会 第1回図書館部会 (議題:(1)綾瀬市の図書館に関する市民ニーズ調査結果について/(2)図書館の先進事例動向等の整理結果について/(3)綾瀬市図書館の基本理念・基本方針(案)について)
令和6年2月29日	・令和5年度第3回綾瀬市生涯学習推進審議会 (情報交換:図書館基本構想の策定状況と今後の予定について) ・令和5年度綾瀬市生涯学習推進審議会 第2回図書館部会 (議題:(1)前回の振り返りと修正について/(2)図書館のサービスの方向性について/(3)蔵書規模の検討について/(4)必要諸室・規模の検討について/(5)その他)
令和6年4月26日	・令和6年度綾瀬市生涯学習推進審議会 第1回図書館部会 (議題:(1)前回の振り返りと修正について/(2)再整備手法のイメージについて/(3)綾瀬市図書館基本構想概要版について/(4)その他)
令和6年5月24日	・令和6年度綾瀬市生涯学習推進審議会 第2回図書館部会 (議題:(1)前回の振り返りと修正について/(2)答申案について/(3)今後のスケジュールについて/(4)その他)
令和6年6月20日	・令和6年度第1回綾瀬市生涯学習推進審議会 (議題:(1)綾瀬市図書館基本構想(案)の策定及び答申(案)について) ・綾瀬市図書館基本構想について綾瀬市生涯学習推進審議会より答申
令和6年8～11月	・パブリックコメント実施に向けた庁内機関及び市議会等の関係機関との協議等
令和6年12月2日～ 令和7年1月7日	・パブリックコメントの実施

資料1.2 諮問文

綾生第1号

令和5年8月28日

綾瀬市生涯学習推進審議会

会長 見 上 一 幸 殿

綾瀬市長 古塩 政由

綾瀬市図書館基本構想について(諮問)

綾瀬市図書館基本構想について、綾瀬市附属機関の設置に関する条例（昭和53年条例第13号）に基づき、貴審議会の意見を求めたく諮問いたします。

資料1.3答申文

令和6年6月20日

綾瀬市長 古塩 政由 殿

綾瀬市生涯学習推進審議会
会長 見上 一幸

綾瀬市図書館基本構想について(答申)

令和5年8月28日付け綾生第1号で諮問のありました綾瀬市図書館基本構想について、当審議会及び当審議会図書館部会において数次にわたり慎重に審議した結果、内容は概ね妥当なものと考えられますので次の意見を付して答申します。

今後この答申をもとに、広く市民に利用され親しまれる綾瀬市立図書館が整備されることを期待します。

意 見

図書館は、豊かな地域文化を創造する拠点施設として、また、市民の学習を支援する重要な基幹施設である。

しかしながら、本市の図書館は、昭和56年の本館開館から40年以上が経過し、蔵書収容能力の超過や、閲覧・学習・読み聞かせなどの各種活動のためのスペースの不足、施設・設備の老朽化、駐車場の不足、バリアフリー対応など、求められるサービスを提供する上で多くの課題を抱えている。

基本構想策定にあたって、そのサービスや施設等の現状と課題を整理し、より市民の具体的なニーズを丁寧に把握するためにアンケート、ワークショップ、図書館関係者ヒアリングを実施し、今後の基本理念・基本方針や図書館サービスの方向性、施設規模と再整備手法の検討を示したことで、計画の実現性・実効性を高めたことを評価する。

1 解消が必要な課題と今後の方向性

市民アンケート等の結果から、図書資料及び図書館サービスの充実や、快適な読書環境の提供が求められていることが明らかになった。これらの実現を通じて、本市の図書館が、市民により身近で利用しやすい場所となり、基本理念として掲げた「本と人とまちを心地よくつなぎ夢をつむぐひろば」になることを期待する。

2 図書館のサービスの方向性

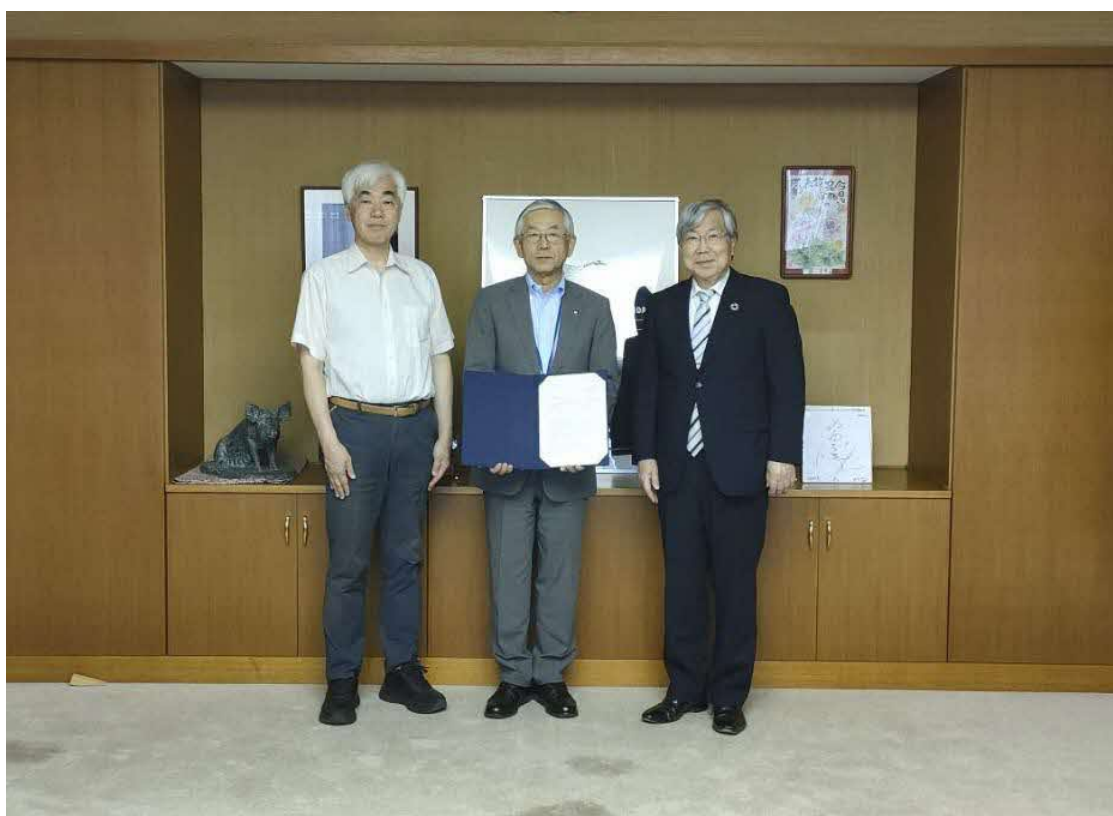
基本理念をより具体的に示した3つの基本方針「本と人をつなぎ、一人ひとりの学びや暮らしを支援」「人と人をつなぎ、交流や新たな知の創出を促進」「人とまちをつなぎ、地域の魅力に触れながら思い思いに過ごせる拠点づくりに貢献」の実現に向けたサービスを推進していくことを期待する。

3 施設規模と再編手法の検討

人口同規模市の水準と将来推計人口を踏まえ、再整備後の収容冊数の計画値を約30万冊とし、延床面積を現時点では約4,000㎡で整備されることを図りたい。

また、同規模自治体による開架率の中央館平均値約60%を踏まえ、現状より開架率を上げ市民が図書資料を探す楽しみを感じながら利用できる図書館を想定していることを評価する。

新たな図書館の整備には、望ましい施設規模の確保、図書館の基本理念・方針を満たすためのふさわしい立地、まちづくりへの貢献、機能の充実、工事期間中の現図書館のサービスの維持、整備のコストや今後どのくらいの期間利用できるかなどの費用対効果の面も重要になることから、新築を今後の整備イメージとして計画を推進されたい。



資料2.1 綾瀬市付属機関の設置に関する条例（抄）

昭和53年3月28日

条例第13号

（目的）

第1条 地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定による附属機関の設置に関しては、別に定めがあるものを除くほか、この条例の定めるところによる。

（平12条例7・一部改正）

（設置）

第2条 執行機関の附属機関として、別表に掲げるものを置く。

（委任）

第3条 前条に規定する機関の組織、所掌事項及び委員その他の構成員並びにその運営に関して、必要な事項は、法令に特別の定めがあるものを除くほか、規則で定める。

別表（第2条関係）

附属機関の属する執行機関	附属機関	設置目的	委員の数	委員の任期
市長	綾瀬市生涯学習推進審議会	生涯学習の推進に関する事項について、市長の諮問に応じて調査審議し、その結果を答申し、又は意見を建議すること。	10人以内	2年

資料2.2 綾瀬市生涯学習推進審議会規則

令和4年6月30日

規則第21号

(趣旨)

第1条 この規則は、綾瀬市附属機関の設置に関する条例（昭和53年綾瀬町条例第13号）に基づき設置された綾瀬市生涯学習推進審議会（以下「審議会」という。）の組織、運営等について必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第2条 審議会は、次に掲げる事項につき市長の諮問に応じて調査審議し、その結果を答申し、又は意見を建議するものとする。

(1) 綾瀬市立公民館、綾瀬市立図書館及び綾瀬市文化会館における各種事業の計画及び実施に関する事項

(2) その他生涯学習の推進に関する事項で市長が必要と認めるもの

(委員)

第3条 委員は、学識経験を有する者、生涯学習の関係者、学校教育の関係者、公募による市民その他市長が必要と認める者のうちから市長が委嘱する。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第4条 審議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 審議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(関係者の出席等)

第6条 審議会において必要があると認めるときは、関係者の出席を求めてその意見若しくは説明を聴き、又は関係者から必要な資料の提出を求めることができる。

(令5規則26・追加)

(部会)

第7条 審議会は、その所掌事項に係る専門的事項を調査審議させるため、部会を置くことができる。

2 部会に属すべき委員は、会長が指名する。

3 部会に部会長を置き、部会に属する委員のうちから会長が指名する。

4 部会長は、部会の事務を掌理する。

5 部会長に事故があるとき又は部会長が欠けたときは、部会に属する委員のうちから部会長があらかじめ指名する者がその職務を代理する。

6 第5条第1項及び前条の規定は、部会の会議について準用する。この場合において、第5条第1項及び前条中「審議会」とあるのは「部会」と、第5条第1項中「会長」とあるのは「部会長」と読み替えるものとする。

7 部会で調査審議した事項は、審議会に報告するものとする。

(令5規則26・追加)

(庶務)

第8条 審議会の庶務は、生涯学習事務主管課において処理する。

(令5規則26・旧第6条繰下)

(委任)

第9条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営その他審議会に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

(令5規則26・旧第7条繰下)

附 則

(施行期日)

1 この規則は、令和4年7月1日から施行する。

(綾瀬市文化会館運営審議会規則の廃止)

2 綾瀬市文化会館運営審議会規則（令和3年綾瀬市規則第15号）は、廃止する。

(綾瀬市行政組織規則の一部改正)

3 綾瀬市行政組織規則（昭和56年綾瀬市規則第28号）の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

(綾瀬市立図書館条例施行規則の一部改正)

4 綾瀬市立図書館条例施行規則（令和3年綾瀬市規則第11号）の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

(綾瀬市立公民館条例施行規則の一部改正)

5 綾瀬市立公民館条例施行規則（令和3年綾瀬市規則第12号）の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

附 則（令和5年7月28日規則第26号）

この規則は、公布の日から施行する。

資料2.3 綾瀬市生涯学習推進審議会名簿

	氏名	選出区分・所属等
会長	見上 一幸	学識経験者／宮城教育大学元学長
副会長	中村 真由美	学校教育関係者／市内学校長
委員	内田 源一郎 ※1	学識経験者／生涯学習行政関係者
委員	橘川 純子	公募市民
委員	古賀 陽子	生涯学習関係者／絵本作家・絵本コーディネーター
委員	佐藤 和美	生涯学習関係者／綾瀬市文化団体連盟会長
委員	白井 哲哉	学識経験者／筑波大学図書館情報メディア系教授
委員	谷島 花 ※2	学識経験者／生涯学習行政関係者
委員	深澤 利彰	公募市民／あやせの図書館を考える会会長
委員	山内 敏子	生涯学習関係者／書道関係者
委員	米島 美穂子	生涯学習関係者／声楽家

※ 1 任期：～令和 6 年 6 月

※ 2 任期：令和 6 年 7 月～

資料2.4 図書館部会名簿

	氏名	選出区分・所属等
部会長	白井 哲哉	学識経験者／筑波大学図書館情報メディア系教授
委員	古賀 陽子	生涯学習関係者／絵本作家・絵本コーディネーター
委員	深澤 利彰	公募市民／あやせの図書館を考える会会長
委員	見上 一幸	学識経験者／宮城教育大学元学長

資料3 市民ニーズ調査結果

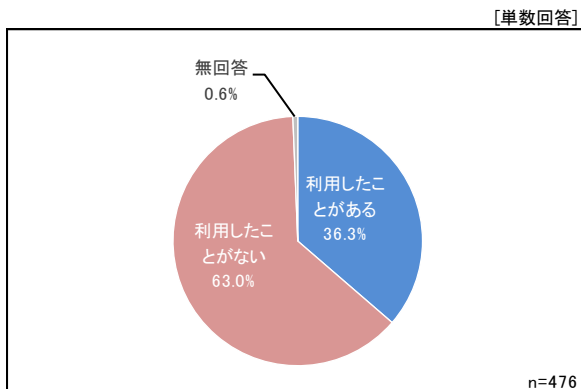
資料3.1 市民アンケート調査結果

綾瀬市立図書館に関する市民アンケート調査（単純集計結果）

1. 綾瀬市立図書館（本館）の利用について

問1-1 過去1年以内の図書館（本館）利用の有無

4割が過去1年以内に本館を利用している

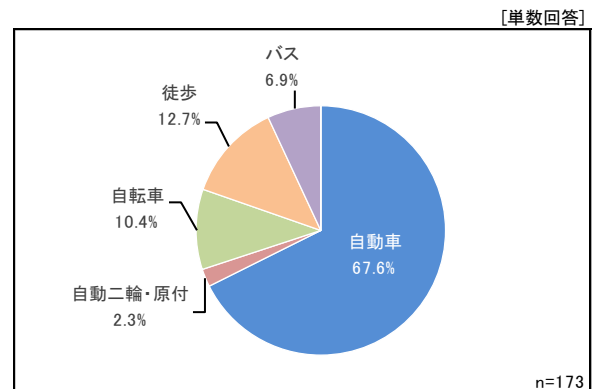


項目	人数	構成比
利用したことがある	173	36.3%
利用したことがない	300	63.0%
無回答	3	0.6%
合計	476	100.0%

問1-2 図書館（本館）を利用する際の主な交通手段

※問1-1で「利用したことがある」と回答した、計173人を対象

7割が自動車で来館している

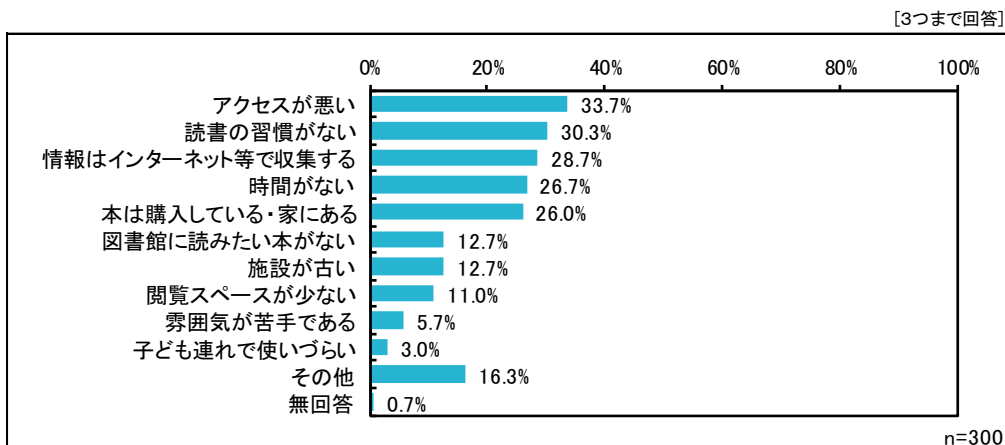


項目	人数	構成比
自動車	117	67.6%
自動二輪・原付	4	2.3%
自転車	18	10.4%
徒歩	22	12.7%
バス	12	6.9%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	173	100.0%

問1-3 図書館（本館）を利用しない主な理由

※問1-1で「利用したことがない」と回答した、計299人を対象

アクセスが悪い、読書の習慣がない、情報はインターネットで収集するがそれぞれ3割前後となっている



項目	人数	構成比
アクセスが悪い	101	33.7%
読書の習慣がない	91	30.3%
情報はインターネット等で収集する	86	28.7%
時間がない	80	26.7%
本は購入している・家にある	78	26.0%
図書館に読みたい本がない	38	12.7%
施設が古い	38	12.7%
閲覧スペースが少ない	33	11.0%
雰囲気が苦手である	17	5.7%
子ども連れで使いづらい	9	3.0%
その他	49	16.3%
無回答	2	0.7%
合計	300	100.0%

「その他」の内容

項目	人数
他市(海老名市、大和市、藤沢市)の図書館を利用している	11
図書館の場所が分からなかった	10
図書館を知らなかった	6
コロナ禍の影響	4
駐車スペースが少ない	4
図書館まで遠いから	4
自身の体調が良くない	3
分室を利用している	3
閉館時間が早くて利用できない	2
図書館の周辺に何も無いから	1
どんな本があるか分からないから	1

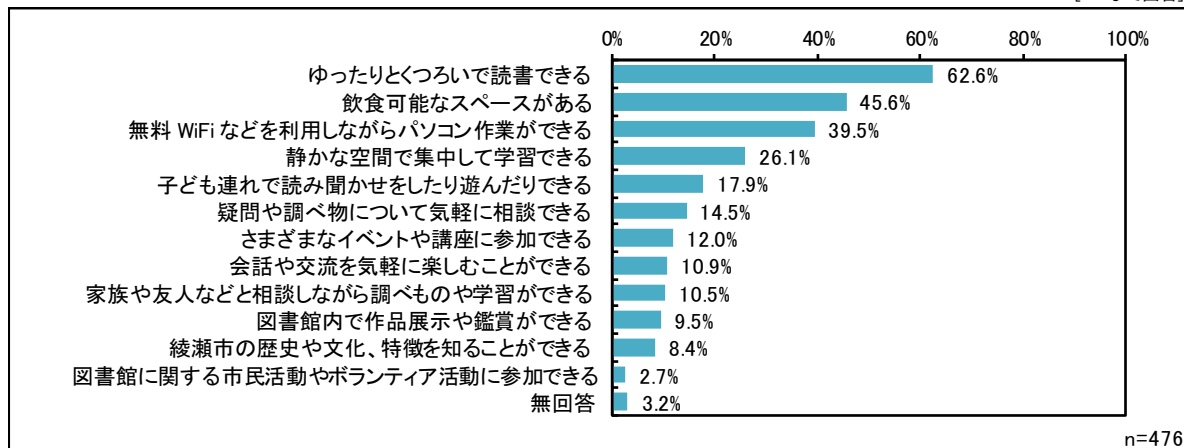
綾瀬市立図書館に関する市民アンケート調査（単純集計結果）

2. 今後の綾瀬市立図書館（本館）に望むこと

問2-1 望ましい図書館像

6割がゆったりとくつろいで読書できることを望んでおり、4割が飲食できること、パソコン作業ができることを望んでいる

[3つまで回答]

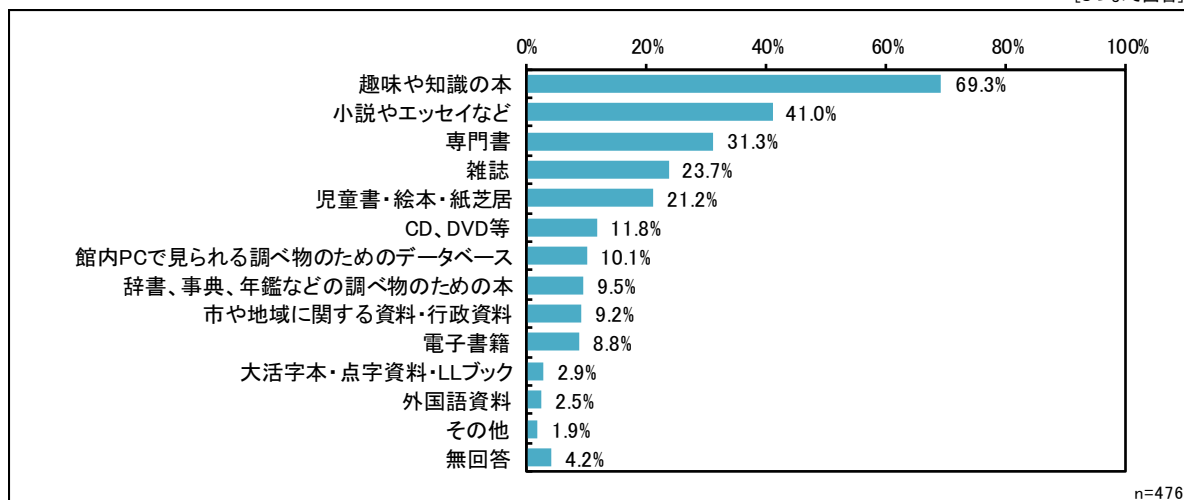


項目	人数	構成比
ゆったりとくつろいで読書できる	298	62.6%
飲食可能なスペースがある	217	45.6%
無料 WiFi などを利用しながらパソコン作業ができる	188	39.5%
静かな空間で集中して学習できる	124	26.1%
子ども連れで読み聞かせをしたり遊んだりできる	85	17.9%
疑問や調べ物について気軽に相談できる	69	14.5%
さまざまなイベントや講座に参加できる	57	12.0%
会話や交流を気軽に楽しむことができる	52	10.9%
家族や友人などと相談しながら調べものや学習ができる	50	10.5%
図書館内で作品展示や鑑賞ができる	45	9.5%
綾瀬市の歴史や文化、特徴を知ることができる	40	8.4%
図書館に関する市民活動やボランティア活動に参加できる	13	2.7%
無回答	15	3.2%
合計	476	100.0%

問2-2 充実してほしい資料

7割が趣味や知識の本の充実を望んでおり、次いで4割が小説やエッセイなど、3割が専門書の充実を望んでいる

[3つまで回答]



項目	人数	構成比
趣味や知識の本	330	69.3%
小説やエッセイなど	195	41.0%
専門書	149	31.3%
雑誌	113	23.7%
児童書・絵本・紙芝居	101	21.2%
CD、DVD等	56	11.8%
館内PCで見られる調べ物のためのデータベース	48	10.1%
辞書、事典、年鑑などの調べ物のための本	45	9.5%
市や地域に関する資料・行政資料	44	9.2%
電子書籍	42	8.8%
大活字本・点字資料・LLブック	14	2.9%
外国語資料	12	2.5%
その他	9	1.9%
無回答	20	4.2%
合計	476	100.0%

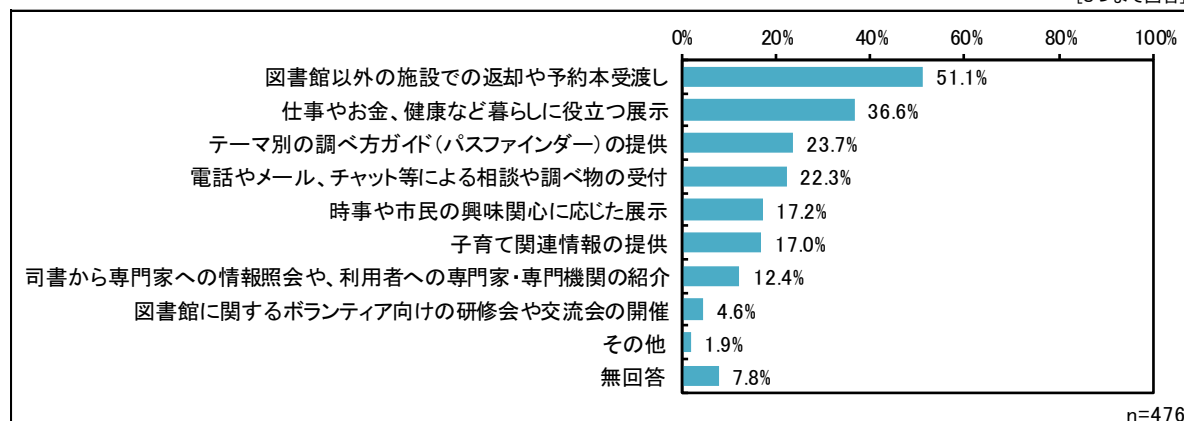
「その他」の内容

項目	人数
漫画本	5
試験対策の本	2
中高生向けの本	1
写真集	1
過去の新聞	1
ネット上で話題の本	1

問2-3 充実してほしいサービス

5割が図書館以外の施設での返却や予約本受渡しを望んでおり、次いで暮らしに役立つ展示、テーマ別の調べ方ガイドの提供、電話やメール、チャット等による相談受付等を望んでいる

[3つまで回答]



項目	人数	構成比
図書館以外の施設での返却や予約本受渡し	243	51.1%
仕事やお金、健康など暮らしに役立つ展示	174	36.6%
テーマ別の調べ方ガイド(パスファインダー)の提供	113	23.7%
電話やメール、チャット等による相談や調べ物の受付	106	22.3%
時事や市民の興味関心に応じた展示	82	17.2%
子育て関連情報の提供	81	17.0%
司書から専門家への情報照会や、利用者への専門家・専門機関の紹介	59	12.4%
図書館に関するボランティア向けの研修会や交流会の開催	22	4.6%
その他	9	1.9%
無回答	37	7.8%
合計	476	100.0%

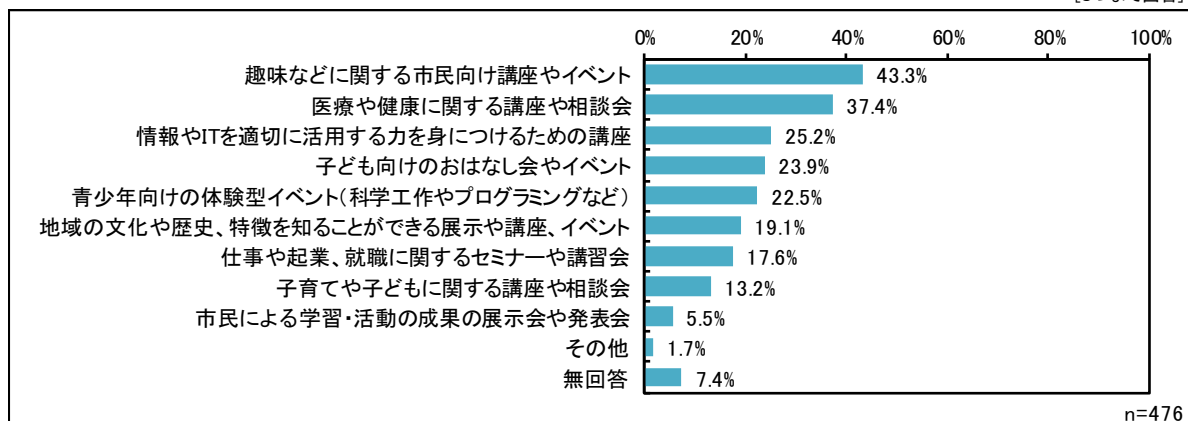
「その他」の内容

項目	人数
子供の一時預かりサービス	2
PCやネット上での書籍検索	2
近隣の市も含めた地域情報	1
法律や税に関する相談コーナー	1
SNSを利用した情報提供	1
新着情報	1
静かな環境の提供	1

問2-4 充実してほしいイベントや講座

4割が趣味などに関する市民向け講座やイベントを望んでおり、次いで医療や健康に関する講座や相談会を望んでいる

[3つまで回答]



項目	人数	構成比
趣味などに関する市民向け講座やイベント	206	43.3%
医療や健康に関する講座や相談会	178	37.4%
情報やITを適切に活用する力を身につけるための講座	120	25.2%
子ども向けのおはなし会やイベント	114	23.9%
青少年向けの体験型イベント(科学工作やプログラミングなど)	107	22.5%
地域の文化や歴史、特徴を知ることができる展示や講座、イベント	91	19.1%
仕事や起業、就職に関するセミナーや講習会	84	17.6%
子育てや子どもに関する講座や相談会	63	13.2%
市民による学習・活動の成果の展示会や発表会	26	5.5%
その他	8	1.7%
無回答	35	7.4%
合計	476	100.0%

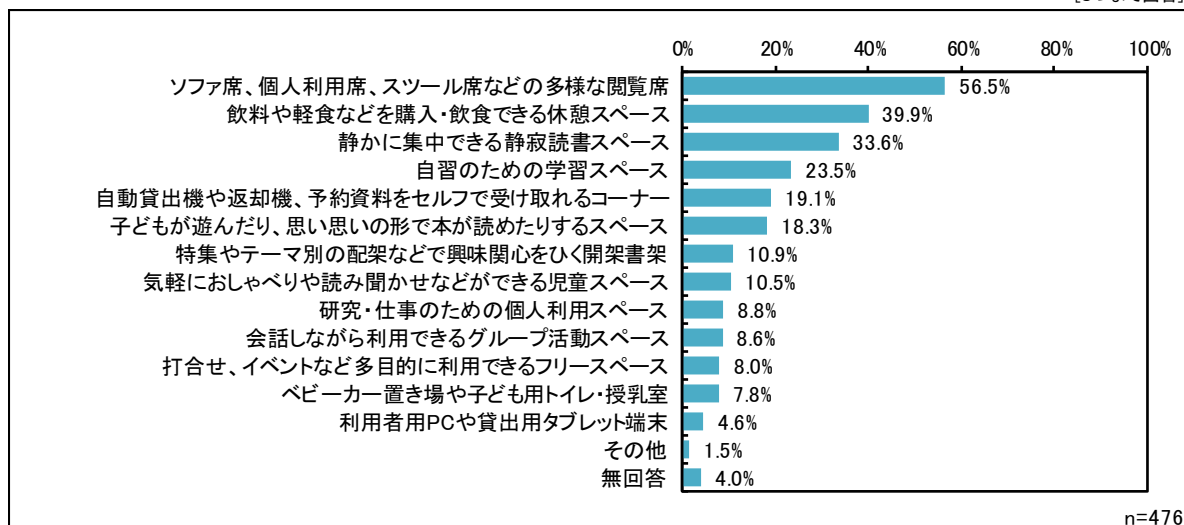
「その他」の内容

項目	人数
市内公立校との連携	1
古本配布のイベント	1
「静かにしなくても良い」イベントを数ヶ月に1回程度で良いので実施	1
読書愛好家の交流イベント	1
キーワードから関連本を見つけるなど、本を使ったゲームイベント	1
図書館の役割や読書の魅力を伝えるもの	1
税金や相続、介護などの個別相談	1
障害者も参加できる講座やイベント	1

問2-5 充実してほしい施設・設備

5割が多様な閲覧席を望んでおり、次いで飲食できるスペース、静かに集中できるスペースを望んでいる

[3つまで回答]



項目	人数	構成比
ソファ席、個人利用席、スツール席などの多様な閲覧席	269	56.5%
飲料や軽食などを購入・飲食できる休憩スペース	190	39.9%
静かに集中できる静寂読書スペース	160	33.6%
自習のための学習スペース	112	23.5%
自動貸出機や返却機、予約資料をセルフで受け取れるコーナー	91	19.1%
子どもが遊んだり、思い思いの形で本が読めたりするスペース	87	18.3%
特集やテーマ別の配架などで興味関心をひく開架書架	52	10.9%
気軽におしゃべりや読み聞かせなどができる児童スペース	50	10.5%
研究・仕事のための個人利用スペース	42	8.8%
会話しながら利用できるグループ活動スペース	41	8.6%
打合せ、イベントなど多目的に利用できるフリースペース	38	8.0%
ベビーカー置き場や子どもトイレ・授乳室	37	7.8%
利用者用PCや貸出用タブレット端末	22	4.6%
その他	7	1.5%
無回答	19	4.0%
合計	476	100.0%

「その他」の内容

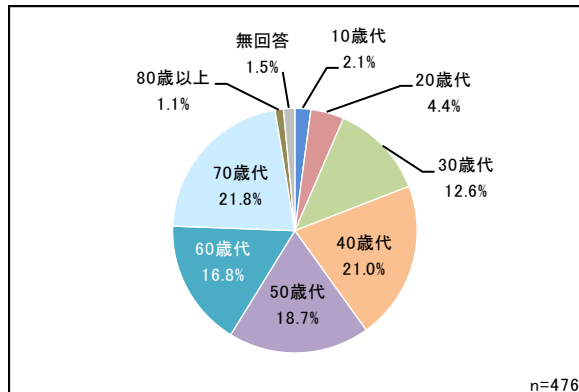
項目	人数
駐車場の整備	3
居心地の良い環境整備	2
交通手段の充実	1
ネットワーク環境の整備	1

綾瀬市立図書館に関する市民アンケート調査（単純集計結果）

3. 回答者の属性

問3-1 年齢層

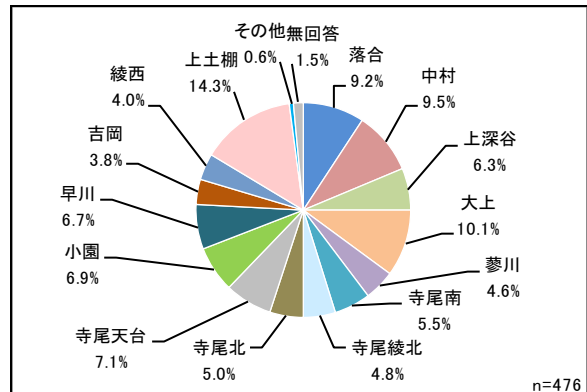
[単数回答]



項目	人数	構成比
10歳代	10	2.1%
20歳代	21	4.4%
30歳代	60	12.6%
40歳代	100	21.0%
50歳代	89	18.7%
60歳代	80	16.8%
70歳代	104	21.8%
80歳以上	5	1.1%
無回答	7	1.5%
合計	476	100.0%

問3-2 居住地域

[単数回答]



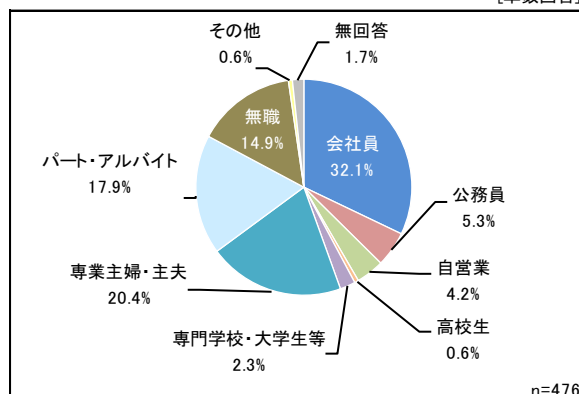
項目	人数	構成比
落合	44	9.2%
中村	45	9.5%
上深谷	30	6.3%
大上	48	10.1%
蓼川	22	4.6%
寺尾南	26	5.5%
寺尾綾北	23	4.8%
寺尾北	24	5.0%
寺尾天台	34	7.1%
小園	33	6.9%
早川	32	6.7%
吉岡	18	3.8%
綾西	19	4.0%
上土棚	68	14.3%
その他	3	0.6%
無回答	7	1.5%
合計	476	100.0%

「その他」の地域

項目	人数
厚木基地内	1

問3-3 職業

[単数回答]



項目	人数	構成比
会社員	153	32.1%
公務員	25	5.3%
自営業	20	4.2%
高校生	3	0.6%
専門学校・大学生等	11	2.3%
専業主婦・主夫	97	20.4%
パート・アルバイト	85	17.9%
無職	71	14.9%
その他	3	0.6%
無回答	8	1.7%
合計	476	100.0%

※「その他」の具体的な回答は無し

綾瀬市立図書館に関する市民アンケート調査（自由回答）

4. 今後の綾瀬市立図書館への意見・提案

年代	本館利用有無	居住地	職業	図書館への意見・提案
10歳代	利用あり	上深谷	高校生	もう少し本の貸出し期間を伸ばしてほしいです。人気の本(ベストセラー)は2冊とか置いてほしい
10歳代	利用あり	上深谷	専門学校・大学生等	蔵書数を増やしてほしい
10歳代	利用あり	上深谷	専門学校・大学生等	蔵書数を増やしてほしいです
10歳代	利用なし	中村	会社員	海老名や大和みたいな明るくて広い図書館になったらワクワクします！！
10歳代	利用なし	寺尾南	専門学校・大学生等	応援してます。頑張ってください
20歳代	利用あり	大上	専業主婦・主夫	古いイメージが強く、魅力を感じない 行きたいと思える様な場所にして欲しい
20歳代	利用あり	早川	専門学校・大学生等	理系関係の本が少なすぎるというかほぼないので行く気になれないです
20歳代	利用なし	落合	専門学校・大学生等	アクセスの良い場所に図書館を設ける。湘南台図書館のような静かな図書館。広い図書館を希望します
20歳代	利用なし	中村	会社員	充電可能で、飲食可能な学習用スペースがあると良いです。施設内でカフェや飲食店があれば、1日その場で過ごせるのでより利用しやすいかと思います
20歳代	利用なし	大上	会社員	コーヒーなど飲めるスペースがあれば、車でも行きたいと思います
20歳代	利用なし	寺尾綾北	会社員	大和、海老名にくらべると古くてオシャレ感がない。スペースが狭く、本が古くて汚いと思います。子供を連れて行きたいと思わない
20歳代	利用なし	早川	会社員	図書館の位置が分かりにくいです
20歳代	利用なし	綾西	会社員	市バスなどで図書館方面行きのバス停を作してほしい。本が好きで自分も読みたいし子供にもたくさん読んでほしいのですが、車が無く市役所方面行きのバスも時間が限られており、なかなか行けず。まして子連れとなるとハードルが高いです
20歳代	利用なし	上土棚	公務員	魅力的なイベントの開催とその情報発信に期待しています
30歳代	利用あり	落合	専業主婦・主夫	地域の小学校や中学校を經由して、市立図書館の本(予約本)が貸出と返却ができると良いと思う。移動図書館は、色々は難しいと思うので
30歳代	利用あり	落合	パート・アルバイト	広くて大きくて沢山の方が利用できる場所。本の数も増してほしいです。子供を気兼ねなく連れていってほしいような環境(しゃべってもいい場所があってもいい)
30歳代	利用あり	上深谷	パート・アルバイト	読書するためのイスを増やしてほしいです。子供とゆったり過ごす時間にしたいです。いつも図書館を利用する際に、司書？の方にお世話になっています。優しい雰囲気です。ありがとうございます。子供達も図書館が大好きです。これからもよろしくお願いします
30歳代	利用あり	寺尾綾北	会社員	せっかく市役所がお洒落なので、もう少し現代風な建物で、プラネタリウムなど、子供から大人まで楽しめる施設を併設してほしい！海老名の図書館は綺麗でした！
30歳代	利用あり	早川	パート・アルバイト	子連れ(抱っこ紐の赤ちゃん+手を繋ぐ幼児)だと図書館前の駐車場でない大変なので、もう少し駐車台数を増やして頂けたら大変助かります
30歳代	利用あり	綾西	専業主婦・主夫	リサイクルブックの配布や図書館のイベントを楽しみにしています
30歳代	利用なし	中村	会社員	PTA役員の集まりや町内子供会・役員会に、部屋を貸していただくと助かる
30歳代	利用なし	大上	自営業	いかんせんアクセスが悪く、電車民としては使うことが無いです。海老名と大和の図書館が、スタバもあり公共の集客のある場所として機能してるのに対し、立地的に難しい部分は大きい。他の図書館を追うのではなく、綾瀬にしか無い専門性を突き詰める方が良いのかと思います。「全国的にもここにしか無い、指折りの施設」のような個性があると少しは変わるのでは
30歳代	利用なし	大上	パート・アルバイト	図書館は往々にして不必要な長時間の利用や騒音、スメハラなど厄介なトラブルが多いと思いますが、可能なだけで大丈夫です。ご対応よろしくお願いします
30歳代	利用なし	寺尾北	会社員	ずっと行きたいとは思っていたけど、アクセスが悪く行けずにいます
30歳代	利用なし	寺尾天台	パート・アルバイト	今回のアンケートで存在を初めて知りました。海老名市のTSUTAYAが入っている図書館、大和市のシリウス図書館に挟まれ、アクセスもあり良いとはいえ難しい状況かと思いますが、図書館があることは文化を守ることにつながると思います。市民プールの無い綾瀬市に道の駅が出来る前に、市民に還元されるような文化的な図書館が出来てを祈ります。今度機会があれば是非伺いたく思います
30歳代	利用なし	吉岡	無職	騒いでしまう子供もいるので、気にせず楽しく利用できるスペース。音、視線などを気にせず、静かに1人でも利用できるスペースがあるといいと思います。 学校の授業が終わったら、友達と勉強をしに図書館に来て、集中も出て、楽しく過ごすことも出来たらいいなと思います。タウンヒルズのフードコートで飲食をしながら友達と勉強をしている中学生や高校生をよく見かけるので、持ち込みOKか、そこでお菓子くらいを買えるようにして、飲食しながら勉強、調べものなどが出来る場所になるとすごくいいと思います。タウンヒルズが無くなってしまうと、子供達の遊ぶ場所、買い物をする場所が綾瀬市に殆ど無くなってしまうので、可哀想に思います。無料Wi-Fi、飲み物の自動販売機、お菓子の自動販売機など、なにかあったら食べたり飲んだりしながら利用できたら、利用してくれる人が増えるんじゃないかなと思います。
30歳代	利用なし	上土棚	会社員	大和市のシリウスの子供用スペースのようなエリアがあると良いと感じます。子供の大声を気にしなくても楽しめる
40歳代	利用あり	落合	会社員	今までの図書館のイメージにとらわれない、新しいタイプの図書館を作ってください
40歳代	利用あり	落合	会社員	自然な採光と木の温もりのあるホッとするような図書館。カフェ施設が横にあれば…。本に興味がない人でも立ち寄ってほしい。1階～5階まであり、読書ベース、自習勉強室、など分かれていればなお良いです

年代	本館利用 有無	居住地	職業	図書館への意見・提案
40歳代	利用あり	中村	会社員	大人はスマホで検索なり出来る時代なので、子供の為にだけ変わって欲しい
40歳代	利用あり	中村	公務員	大和のシリウスのように、図書館とスタバなどのショップが複合的に入る施設にしてほしい
40歳代	利用あり	中村	専業主婦・主夫	静かすぎて居心地があまり良くないので小さい音量のBGMなど流れているといいなと思います
40歳代	利用あり	中村	専業主婦・主夫	もっと沢山本が置いてあるといいです。図書館自体を新しくして欲しい
40歳代	利用あり	大上	会社員	綾瀬市立図書館に該当がない場合、予約シートを記入して他館からの貸し出しになります が、ここの申請も紙だけでなくwebで申請できると助かります。webであれば、該当図書 のAmazonURLなどで、書籍の齟齬なく申請できるものと思います。ご検討よろしくお願 いします
40歳代	利用あり	寺尾北	会社員	今の中央図書館はアクセスが悪いので、行くときは自家用車でのみです。子供(中高生)は 通学途中の海老名中央図書館を利用することが多いです。正直残念です。親が自家用車で 連れて行かないといけな図書館、というのはハードルが高いです。綾瀬市の小中学生の学 力の低さとも関係が全くないとは言え切れなと思います。綾瀬に中高生だけでも立ち寄れ る場所に図書館ができたなら読書や自主学習に役に立つと思います。おしゃべりしてもよい休 憩所、きれいで広いトイレ、児童書や絵本は別のコーナーかフロア、などあるといいです。普 段本が苦手な方もまずはイベントや雑誌、CD、DVDなどから…利用したくなる図書館ができた ら嬉しいです
40歳代	利用あり	寺尾北	会社員	大和や海老名のようにみんなが行きたくなくなるような自慢したくなるような図書館がほしい
40歳代	利用あり	寺尾北	会社員	読書を習慣付けるには、未就学～小学校低学年の「おはなし会」参加が効果的だと感じてい ます。より多くの子供たちへ参加してもらうため、「児童館の行事」としておはなし会を組み込 むことはできないのでしょうか。児童館では子供向けの行事を定期的に行っているの で、気軽に参加できると思います。子供の健やかな発育に寄与するため、児童館と図書館の所管 部署が一緒に取り組むことを期待しています
40歳代	利用あり	寺尾天台	会社員	子供が好きな本がずっと貸し出し中で、借りられるまでの期間が長かったり、行けるタイ ミングがずれたりして困ることがあった。図書館の近くに屋外・屋内ともに数ヶ所ずつ、子供がリフ レッシュできる場所があると、好きな本を探しつつ、親と子供と一緒に過ごせる身近な場所 になると思う。他者に迷惑はかけたくないで大人がゆったりコーヒーでも飲みながら、借り た本を読んだり勉強できるスペースがあると良い
40歳代	利用あり	寺尾天台	専業主婦・主夫	気軽に利用出来る様な雰囲気のある場所、軽食が出来る喫茶があると良いと思う。長い時間利 用出来るとか、お喋りも大丈夫とか
40歳代	利用あり	寺尾天台	専業主婦・主夫	もっと建物を大きくして、本や雑誌、DVDなど増やしてほしいです。市民がもっと利用したく なるようにカフェなど併設し、市を活性化させる施設にしてほしいです。綾瀬市のシンボルにし て下さい
40歳代	利用あり	寺尾天台	専業主婦・主夫	海老名の図書館や所沢の角川武蔵野ミュージアムのように観光でもカフェでも、学習でも長 時間いて気持ちの良い場所にしてほしい。今は古いながら工夫がみられて頑張っていると思 いますが、今後高齢化が進みゆっくりくつろげる図書館は大切な場所になると思います。改 善が欲しいです
40歳代	利用あり	寺尾天台	パート・アルバイト	コミックス(漫画本)のコーナーが欲しいです
40歳代	利用あり	小園	パート・アルバイト	本屋さん大賞など話題作の小説などを増やしてほしい
40歳代	利用あり	早川	パート・アルバイト	車で行く事がほとんどなのですが、駐車場が狭く数も少ない為に不便だと思ってます
40歳代	利用あり	吉岡	会社員	・資格の本を増やしてほしい ・自習スペースを増やしてほしい ・閉館時間をのばしてほし い。いつもありがとうございます
40歳代	利用あり	上土棚	会社員	芸術系の本を増やしてほしいです
40歳代	利用あり	上土棚	会社員	利用者が少ないと思います。大和のシリウスのように改善してほしいです。コミックを貸出 不可にすれば子供たちは読みに来ますし、スタバなどがあれば若い子もきます。交通が不便 すぎて来ないことも改善するべきです。利用者が少ないのならば閉館して予算を他に回しても 良いと思います
40歳代	利用あり	上土棚	会社員	文献検索ができるようにしてほしいです
40歳代	利用あり	上土棚	パート・アルバイト	藤沢市民図書館や海老名市民図書館の様に充実してほしいです
40歳代	利用あり	上土棚	パート・アルバイト	図書館を身近に感じるように。図書館見学ツアーがとても楽しかったので、回数を増やして 欲しい。YouTubeなどにより読書離れが進んでいるので、本を身近に感じられる様に、また読 書の楽しさを広げられる様なイベントをして欲しい
40歳代	利用なし	落合	会社員	誰でも気軽に利用できる綺麗で設備が充実している図書館なら利用しようと思います
40歳代	利用なし	中村	会社員	図書館というより建物全体が古ぼたく見えていて少々残念な気がします。せめてもう少し外 観だけでも手入れされたら良いかなと思います
40歳代	利用なし	中村	会社員	電子書籍の充実
40歳代	利用なし	上深谷	会社員	柔軟なアイデアで色々な告知やイベントをするべき。SNSも利用出来れば活動内容も広がっ ていくと思います
40歳代	利用なし	上深谷	パート・アルバイト	市の有なスポーツ的な場所・空間になればいいなと思います。大和市のシリウスの様に子供も あそびせる事が出来たり、カフェがあったり、芸術や文化を身近に感じられたらなと思います
40歳代	利用なし	上深谷	パート・アルバイト	・狭いので読みたい本があると思えない。話題の本を置いてるか。 ・大人が何時間もいたく なるようなゆったりできるスペースがあるか ・昼間仕事をしている人が休日に行く価値があ るか、利用したくなるスペースかどうか
40歳代	利用なし	大上	会社員	大和市、海老名市と同様にカフェの設置。専門書を借りたいので、図書の充実。中央林間図 書館のようにショッピング施設内に設置

年代	本館利用有無	居住地	職業	図書館への意見・提案
40歳代	利用なし	大上	会社員	図書館は本を読むだけだと思っていたのであまり利用したことがなかったが、子供たちが遊べる施設が付いていると本も読める、遊べるで助かる
40歳代	利用なし	大上	専業主婦・主夫	返却や受け渡しが自治会館で出来るようになると、気軽に図書館を利用しようと思う。地区センターでは少し遠いです
40歳代	利用なし	寺尾綾北	専業主婦・主夫	本が古い、施設が古い。全て古いので建て直して大和市や海老名市の様にして下さい。見習って下さい。スターバックスや(海老名)学習スペース利用したく海老名図書館ばかりです。駐車場有料は市民と市民以外で料金が違うのは当たり前なので、とにかく予約するぐらいの人氣がある海老名を見習えばよいと思う。
40歳代	利用なし	寺尾天台	専業主婦・主夫	本を借りにくい手間、返す手間を考えるとなかなか行かない。子供が5人おり、1番下の2歳児まで連れて行くとにかく走り回ったり大きな声で話してしまったりと大変で、利用しづらい。直近の駐車スペースが少ない為、埋まっていると諦めて帰宅してしまう。その方に駐車可能な場所があるか知りたい
40歳代	利用なし	小園	会社員	海老名図書館のような感じになれば良いと思います
40歳代	利用なし	小園	会社員	子供が小さい頃は絵本を借りによく行っていました、子供が大きくなるにつれ行く事がなくなっていました。その大きくなった子供が勉強をするため他の市の図書館へ行く事があります。なので中・高生が勉強が出来て、友達と少し話ができるスペースがあると良いのかなと思います
40歳代	利用なし	小園	会社員	海老名図書館がスタバがあつたり置いてある本や立地が魅力的すぎるので、そこは競わずに海老名図書館にない魅力を出してほしい。海老名図書館に比べて静かであったり、席を確保しやすいとか。席がネットで予約が出来たりと受験生や学習したい人にはいいかもしれない。
40歳代	利用なし	早川	会社員	綺麗で落ち着く図書館にして欲しい。1人でも、親子でも、また利用したいと思える施設にして欲しい
40歳代	利用なし	上土棚	会社員	分室ですが、駐車場が狭くサークル利用の車で満車等がよくあり、多くの本を持って行ったり借りたりができない。分室の昼休憩もやめていただきたい。せっかく行ってもやっていない。子供を抱っこしているのに、本をバックから出すところを見てるだけで、片手で取り出していたら乱暴に本を出すなど指摘され腹が立った。「お出ししましょうか？」など言えないのかと思う。眠そうにしている人もいる
40歳代	利用なし	上土棚	会社員	環境で快適な空間を目指すだけでなく世代に問わず利用できるようお願いします。最新の充実したジャンルを取り入れたいです
40歳代	利用なし	上土棚	会社員	子供が小学1年生ですが、4年生になると夏休みに学童保育を利用出来なくなる為、図書館で過ごすことができるような、安全な場所を提供して頂けるとありがたいです。図書館内に夏休みだけ8時～18時までプラザのようなスペースをもうけて頂けるなど、子供が過ごすことが出来るスペースを確保して頂けるともっと利用が増えると思います
40歳代	利用なし	上土棚	パート・アルバイト	大和市の図書館のような施設になれば良いと思います
40歳代	利用なし	上土棚	パート・アルバイト	インターネットで本館にあるものの予約や取り寄せはできるようになってはいますが、分室は狭く種類も少ないので借りたい本の題名が決まっていけない時など利用しづらかったです。子供が読む本など、実際に見て字の大きさなど見て選びたい事も多かったので
50歳代	利用あり	中村	会社員	最近利用させていただく機会は減っていますが、「図書館がある」安心感は絶大です。いつもありがとうございます
50歳代	利用あり	上深谷	パート・アルバイト	サービスには満足しておりますが、建物が古すぎて、何をするにもスペースがないのが困ります
50歳代	利用あり	大上	会社員	集中した学習、リラックスした読書、小声で会話できる展示会等エリアを分ける等して、各々が利用しやすい施設にしてほしい。駐車場のキャパシティも向上した方がよい
50歳代	利用あり	大上	パート・アルバイト	PCで本を検索が難しい。目的の本を探しにくい。もっとたくさん趣味の本や雑誌があるとうれしい。地下の蔵書にあって検索が難しいので実際に手に取って目で見て選びたい
50歳代	利用あり	大上	無職	本館に行かなくても、地域に本を借りられ読める図書館出張所があればと思います。館内が殺風景なので、観葉植物でも置いてあればリラックスできて本も読みやすくなりそう。漫画本の読書スペースがほしいです
50歳代	利用あり	寺尾南	パート・アルバイト	科学の興味を持つような本を閲覧したい。イスの背もたれが欲しい
50歳代	利用あり	早川	専業主婦・主夫	DVDが探しづらい。空のカセットを置いて題名を見やすくしてほしい
50歳代	利用あり	早川	パート・アルバイト	最近、図書館と共に販売も行っている所もある。(例えば海老名図書館)私はそれには反対です。販売に力を入れすぎて図書館の機能が失われると感じます。綾瀬図書館は図書館としてサービスの提供をしてほしい
50歳代	利用あり	綾西	会社員	勉強する時間帯を長くしてほしい
50歳代	利用あり	綾西	パート・アルバイト	子供のスペースと、大人のスペースを分けて、椅子を置いて欲しい。読書スペースを広げて欲しい。また、駐車場がいつも満車でなかなか開かない。長時間なら文化会館の方へ止めて欲しい。時間制限を設けては？
50歳代	利用なし	落合	パート・アルバイト	いつも本の手入れなどいろいろとご苦勞様です。大変なお仕事でしょうが頑張って下さい。時間ができたら本をお借りしたいと思います
50歳代	利用なし	上深谷	自営業	図書館としての必要性を、今のネット情報社会に必要なかどうかの判断が行政には求められています。海老名市のように、TSUTAYAに運営を任せ賑わい場所とするか？思い切ってなくすか？一市民として今まで通りの図書館であれば全くだいじやない。税金の無駄です
50歳代	利用なし	大上	会社員	近隣の市の図書館のように話題性、評判の良い施設になることを望みます

年代	本館利用有無	居住地	職業	図書館への意見・提案
50歳代	利用なし	大上	会社員	ITやインターネット社会への対応はもちろんですが、それと同時に地域図書館の本来機能としての市や地域に関する資料・行政資料の保存は重要と思われるので継続してほしいです。また子供がひとりでも行ける、安心できる場所であり続けてほしいと願っています
50歳代	利用なし	大上	会社員	海老名図書館のような明るくて入りやすい空間、色々な世代が利用しやすい施設を希望します
50歳代	利用なし	大上	公務員	図書館案内で特産品とか紹介してほしい。江の島ハーバーみたいな商品も作れるのではないですか
50歳代	利用なし	大上	パート・アルバイト	本は好きなので利用したいが、自宅から遠く、アクセスが悪く行くことができない。運転をしなくなったので、高齢者も多いし、もっとこれからも多くなるのでコミュニティバスを増やしてほしい。せつかくの施設がもったいないと思います
50歳代	利用なし	蓼川	会社員	カフェなど、飲食店や雑貨屋、パン屋、少しお酒が飲めて、交通アクセスが良くなれば良いと思う
50歳代	利用なし	蓼川	無職	スマホで本を予約する時、表紙の画像があると分かりやすく良いと思います
50歳代	利用なし	寺尾南	会社員	今はデジタル化が進んでなかなか本を開く機会が減っていますが、魅力ある図書館なら自然に足が向くと思います
50歳代	利用なし	寺尾南	公務員	返却者専用等の短時間利用駐車スペース、新刊の充実
50歳代	利用なし	寺尾南	パート・アルバイト	返却の時期を考えて本を借りるのが苦痛になり、図書館を利用しなくなってしまいました。本は購入しています。ただ、孫を連れて行きやすい環境ならまた利用したいと思いました
50歳代	利用なし	寺尾南	無職	外に出るのが大変なのでオンラインで読みたいと家族が希望しています
50歳代	利用なし	寺尾北	会社員	子供が読書が好きなので図書館は頻繁に利用していましたが、駐車場が狭く蔵書数も少ないので、大和の図書館に行くことが多かったです。(海老名図書館は陳列されている本に偏りがあり、本に対する愛が感じられないので、好みではないそうです)。市内のコンビニで気軽に受け取りと返却ができるサービスがあれば、末永く頻繁に利用したいです
50歳代	利用なし	寺尾天台	会社員	読みたい小説や雑誌があるのですが、「きっと図書館に行ってもないだろうな」と思い足が遠のいてしまっています。もっと身近に感じられる立ち寄りたくなるような施設になるといいなと思います
50歳代	利用なし	寺尾天台	公務員	アクセスと利便性を考え、タウンヒルズや核となるランドマーク内の施設に併設が良いと思います。箱物の充実を考えるのであれば、自治会館など身近なところから本を貸りるサービスの設置や、端末の整備をお願いしたいと考えます。(高齢者が気軽に貸りられるため)
50歳代	利用なし	早川	会社員	現市役所への移転を希望
50歳代	利用なし	早川	会社員	大人と子供関係なく見られる映画など上映会などあれば参加してみたいです
50歳代	利用なし	上土棚	会社員	カフェを併設するなど、くつろぎを得られる空間が欲しいです
50歳代	利用なし	上土棚	会社員	リモートワークの場所やゆっくり読書できる場所、お子さんだけがのんびり騒いでもいい場所、それぞれの場所があるといい
50歳代	利用なし	上土棚	専業主婦・主夫	以前に比べサービスもよくなったと思います。しかし近隣の施設に比べ老朽化、時代遅れ感はありません。世代のニーズにあったエリアができれば良いと思います
60歳代	利用あり	落合	会社員	・駐車場をたっぷり設置が必須！！・車でないと移動出来ない綾瀬なので！！
60歳代	利用あり	蓼川	会社員	駅から徒歩で行ける範囲に作って欲しい。バスでしか行けないところだと行く気になれない
60歳代	利用あり	寺尾南	会社員	時々ですが利用させていただいております。いろいろ大変でしょうが、これからも紙媒体存続のために頑張ってください
60歳代	利用あり	寺尾南	専業主婦・主夫	お気に入りの作家の本を続けて借りる場合が多いです。しかし、その後新刊が入っていないので最近あまり行かなくなりました。予算もあるでしょうが新刊の導入をお願いします
60歳代	利用あり	寺尾南	パート・アルバイト	・子供たちが本にふれ合う機会を増やすためには子供を連れて行きやすい施設にしていきたい。例えばおむつ替えスペースや小さい子供も利用しやすいトイレの設置を望みます。・スペース的にむずかしいとは思いますが、開架のスペースが他の市町村の図書館と比較すると狭くて本の数も少ないように思います
60歳代	利用あり	寺尾綾北	会社員	近隣市を参考にしてください。同じことはできないので綾瀬にとって良いところだけを取り入れてください
60歳代	利用あり	寺尾北	自営業	自己情報(図書の利用履歴)の出力システム
60歳代	利用あり	寺尾北	専業主婦・主夫	近隣に立派な図書館が出来て蔵書も多い使いやすなので、そちらに行ってしまう。綾瀬に良い図書館ができたなら毎日でも通いたい
60歳代	利用あり	寺尾天台	会社員	・ソファ席が少ない。読書スペースを広げてほしい ・トイレ設備が古い ・飲食スペースではなく、自販機(飲料)設置と屋外に喫煙コーナーを設けてほしい
60歳代	利用あり	小園	会社員	社会人なら自己啓発の場になることを期待しています。また海老名とは異なる形での企業とのコラボがあるといいと思います。例えばタブレットの試用販売など
60歳代	利用あり	小園	専業主婦・主夫	駐車場の拡大
60歳代	利用あり	小園	パート・アルバイト	1. 館内照明の確保:年齢が上がるたびに読み辛くなる。2. 館内空間の快適性:清浄機能付エアコンの追加購入
60歳代	利用あり	小園	パート・アルバイト	綺麗な環境
60歳代	利用あり	小園	無職	小説を貸出しに利用しているが返却するのが大変です。また、1つの施設で読書や食事(軽食)ができればいいと思います
60歳代	利用あり	早川	専業主婦・主夫	今までは、図書館の入口にウォータークーラーが設置されていて大変良かったのですが撤去されてしまい残念です。また元通りにぜひ取り付けて下さい

年代	本館利用有無	居住地	職業	図書館への意見・提案
60歳代	利用あり	早川	無職	受付カウンターではいつも手早く親切に対応して下さいありがとうございます。雑誌類や旅行誌など、気軽に読んだり調べたりできる書籍もたくさんあり利用させて頂いています。我が子の受験の頃は「蛍雪時代」を毎月お借りして助かりました。いろいろ役立つ本があるのに皆さんに手にとってもらえないと勿体ないですね。たくさん利用できるいいですね。綾瀬は駐車場も無料で使えました。交通の便の悪い地域ですから、今後も駐車スペースを提供して下さいと、ゆっくり利用しやすいです
60歳代	利用あり	早川	無職	書籍が少ない。もっと増やしてほしい。海老名市や大和市のような、ゆったりとした雰囲気の図書館にしてほしい
60歳代	利用あり	上土棚	無職	大和市のシリウスのように・骨密度、血管年齢、脳トレの機器の設置・健康に関するセミナーの開催・マンガコーナーなど、子供や大人が行っても楽しい場にしてほしいと思います
60歳代	利用なし	落合	会社員	以前利用していた時、貸りた冊子が(利用者のマナーが、悪いのでしょうか)、とても「綺麗」とは言えなかったで…それ以来、購入することにして図書館を利用しなくなりました
60歳代	利用なし	落合	専業主婦・主夫	全体的にゆったりスペースを希望します。子供～高齢者まで広い世代で使えるスペース、バリアフリー、植栽等も楽しめるような癒しのスペースが欲しい。コミュニティバスの本数等も増やして欲しい。図書館に飲食スペースもあると良いと思います
60歳代	利用なし	中村	自営業	“図書館”＝“本を借りる場所”というイメージしかないので、多目的なスペースや予約毎のイベントなどがあると良いと思います。孫と一緒に楽しめるような施設
60歳代	利用なし	大上	会社員	無料駐車場、巡回バスの充実を図ってほしい
60歳代	利用なし	大上	専業主婦・主夫	建物が分かりづらい。バスを乗り継がないと行けない
60歳代	利用なし	蓼川	無職	利用向上に向け、図書館独自の情報発信を(新刊紹介etc)定期的に実施。イベント開催・静かな環境集中できるスペースなど
60歳代	利用なし	蓼川	無職	綾瀬市図書館の蔵書を大和市シリウスで貸出・返却が出来ると便利
60歳代	利用なし	寺尾綾北	会社員	新しい企画・イベントも大切だが従来からの図書館のイメージ・環境も大切にしてほしい
60歳代	利用なし	寺尾北	公務員	安易な建て替えには反対です。今ある建物でできる限り頑張ってください
60歳代	利用なし	寺尾北	専業主婦・主夫	誰もが行きたくなるような、オシャレな図書館にしてください
60歳代	利用なし	寺尾天台	無職	綾瀬市の図書館は古く遠い為、近くのいずみ会館で本の取り寄せだけしていました。魅力のある図書館ができる機会があるのであれば楽しみにしています
60歳代	利用なし	吉岡	自営業	昨今の図書館は近隣市の状況を見ても、昔の貸出し中心の図書館とは異なり、利用法が変わってきていると感じます。綾瀬市の場合は駅前図書館ではないので、若者がカフェのように利用する図書館を目指す必要はないと思いますが、せめてタウンヒルズ内にあったらと思います。過去の利用者の流れを見ても、文化会館に来た人がその流れで図書館に来るということとはなかったと思います。また、現在の学習スペースは狭く、使いやすとは思えません。広くて環境のいいスペースが必要だと思います。私は勉強したい時は寒川町の図書館を利用しますが、広くて勉強しやすいです。その位のレベルは維持してください。今後の変革を期待しています
60歳代	利用なし	上土棚	専業主婦・主夫	足が悪いので図書館に行く事ができない 家にもりがちなので何か手段があれば良いと思っています
60歳代	利用なし	上土棚	専業主婦・主夫	大和市立図書館シリウスのように、いろいろなイベントや 飲食が出来るスペースがあるといいですね。キッズコーナーもいいけど大人の交流場も。車に乗らない私でも行きやすいようにバスの本数が増えないと利用出来ない
70歳代	利用あり	落合	パート・アルバイト	・増書してほしい。(数が少ない、古い)・歴史書物、人物伝関係が読みたい・狭い。もう少し広くしてほしい
70歳代	利用あり	中村	専業主婦・主夫	・冷房の効きが悪い。暑いのでもう少し涼しくしてほしい・学習室のイスが固いので座り心地の良いイスでお願いしたいです。長時間は無理。・図書館までのコミバスを増やしてほしい
70歳代	利用あり	中村	パート・アルバイト	綾瀬市は公共施設で立派な所が無い(市役所のみ?)いつも隣り村海老名・大和等を使っている。少しこれは近隣に負けない位の施設を作ってもらいたいものだ。今後何年か先を考えた未来性のある図書館にして欲しいものだ
70歳代	利用あり	上深谷	専業主婦・主夫	現在、徒歩か自転車寺で行っています。アクセスが良くないので晴れの日には自転車でいきます。雨の日にはバスで行きたいのですが1時間に1本しかありません(神奈中バスで本郷から吉岡工業団地行き利用です)。市コミュニティバスも運行してくださると、良いのですが
70歳代	利用あり	大上	専業主婦・主夫	海老名や大和図書館のように、ゆったりできて子供用スペースも別にあり飲食可能であれば、なお嬉しいですよ
70歳代	利用あり	寺尾北	専業主婦・主夫	年令、職業等の差を越えた、知の倉庫としての役割を果たしていただきたい。気軽に立ち寄れる場であり、子供達には成長に合わせてマナーを学ばせる場であって欲しい。知識は大きな財産であり、活用することによって人生に大きな影響を与えることを実感できる場にしていただきたい
70歳代	利用あり	寺尾天台	専業主婦・主夫	寺尾天台居住なので利用はいずみ会館が多くなります。あそこは狭いので静かに読書するか貸出しに限られてきます。できれば友人が集まっておしゃべりするスペースや、趣味に関する講座やイベントを開いて下さればと思います。高齢者になりあまり遠方ですと行きづらくなります
70歳代	利用あり	上土棚	専業主婦・主夫	館内が狭いのでゆとりのスペースがほしい
70歳代	利用あり	上土棚	専業主婦・主夫	南部ふれあい会館の雑誌充実を望む
70歳代	利用あり	上土棚	専業主婦・主夫	できるだけ新しい本が読みたいです
70歳代	利用あり	上土棚	専業主婦・主夫	新刊をもう少し入れてほしい。小説本に汚いのが多い

年代	本館利用有無	居住地	職業	図書館への意見・提案
70歳代	利用なし	落合	パート・アルバイト	個別に読書や勉強できる場所であり、またグループで集って調べものや打ち合せなどができる場所であって欲しい
70歳代	利用なし	中村	専業主婦・主夫	98才の母と夫の介護15年、今年亡くなり、本を読む間がなかった。これから時間が空き落ち着いたら行ってみようと思っています
70歳代	利用なし	上深谷	専業主婦・主夫	読書スペースが狭すぎる。リラックス出来ない
70歳代	利用なし	大上	無職	大和市のシリウス図書館のような広さ。雰囲気がとても良い
70歳代	利用なし	寺尾南	無職	図書館へは、子供が小さい頃、何度か行った事がありますが、それ以降は御無沙汰です。(約40年)なんとなく足が向かないし、読書の習慣もありません。雰囲気も堅いというイメージです。書店には時々行きませんが、読みたい本があれば、購入します。ちなみに長野県茅野市では、JR茅ノ駅の通路に本を何冊か置いてあり、自由に読んでいただきたい旨表示しています。利用しているか、どうかは確認していませんが
70歳代	利用なし	寺尾綾北	専業主婦・主夫	最近はおしゃれで喫茶があったりゆったりしたスペースのある図書館が増えています。その様な気楽に通える図書館が魅力だと思います。
70歳代	利用なし	寺尾北	自営業	山口県周南市立図書館を参考にすると良いでしょう。立地場所、内容とも申し分なし
70歳代	利用なし	小園	無職	図書館は、誰でも利用可能な施設として多に役割を果たして欲しいと思いますが、あまり中・高生が多く利用されると長時間場所を独占されるので、指定の場所等は時間制限を設ける等の対応も考慮する必要もあるのでは？
70歳代	利用なし	小園	無職	小園からはアクセスが悪い
70歳代	利用なし	早川	無職	・図書館としてのタイムリーな企画性をもってほしい。たとえばウクライナとロシアの歴史に関する本など、より深く理解する助けとなる本を展示・貸出。広報紙などで周知する。・隣の図書館(海老名・大和)と比べ、施設が古くて狭い。蔵書数も決して多いとはいえない。今の時代にあわせてリニューアルを図り、より多くの市民が利用しやすい図書館にしてほしい
70歳代	利用なし	吉岡	無職	興味の無い人も行きたくなる施設
70歳代	利用なし	綾西	専業主婦・主夫	私は「本は人生のパートナー」であり、書物に触れることでより多くの「引き出し」を持ち得ることができると心がけているひとりで。今回のアンケートを通し、「綾瀬市図書館基本構想」の策定がよりよい方向で、広くより多く市民の方々に活用していただくことを願っております
70歳代	利用なし	綾西	無職	図書館は、その市の文化のレベルのバロメーターです。綾瀬市には文化的施設が何も無いので寂しいです。図書館と幼児から小学校に上るまでの子供達がのびのびと遊べる様な広い施設と専門書等や、子供向けの本等の揃った大きな施設が綾瀬市にもほしいです。子育てに特化した、子育てに適した支援が手厚い市になって欲しいです。若い子育て中の人が集まる市になっていただきたい
70歳代	利用なし	綾西	無職	若い人達が積極的に利用出来る施設になれば良いと思います
70歳代	利用なし	上土棚	専業主婦・主夫	ゆっくり本を探せる環境がほしい
70歳代	利用なし	上土棚	専業主婦・主夫	市あるいは公的にどんな図書館にしたいのか？ 例えば“集い”を主にするのか、図書機能を先端的に発展させたものとするのか？
70歳代	利用なし	上土棚	専業主婦・主夫	発行月日の古い物が多く、専門書が少ない。交通の便も良くないので利用しない。ジャンル別のはっきりとした区別があった方が良くと思う。住んでいる所が綾瀬の図書館からみて藤沢市寄りになっていることもあり大和のシリウスへ行ってしまふ。階毎に分かれている、調べ物をするのに机、イス等多く、料金を払えばそれなりの場所がある。コンビニやコーヒーショップもあり便利。書籍専門書も多くあり良いと思っている。脳トレや健康に関する綾瀬市らしい図書館になってほしい。わざわざ他市へ行かなくても良いように
70歳代	利用なし	上土棚	専業主婦・主夫	近年は本屋さんがどんどん無くなり、好きな小説やパズルの本なども遠くまで行かないと買えないのでネットで購入したりしていますが、手に取って見たいです
70歳代	利用なし	上土棚	パート・アルバイト	図書館が好きな自分にとっては図書館は静かな空間が好ましいので、お話できるスペースは子供コーナーなら良いですが、大人の場所としては不必要であると考えます。子供コーナーはどんどん力を入れて図書館離れを小さい頃からなくし、大人になってもワクワク通える本好きな想像力ある豊かな人間へと育ててほしいと願います
70歳代	利用なし	上土棚	無職	図書館はその町の文化のバロメーターの一つだと思います。もっと蔵書を増やして欲しい。なお、蔵書に無い本を読みたいときには、黄色い紙に記入して受付場所まで出かけて提出している。せっかくホームページを開設しているのだからホームページから簡便に申請できるように改善して欲しい
80歳以上	利用なし	寺尾綾北	専業主婦・主夫	バスで行かないと(コミュニティバスはかなり歩かないと無いのです)家からだとして少し遠いですね。若い頃は行っていました
無回答	利用なし	無回答	無回答	頑張ってください。応援してるよ

綾瀬市立図書館に関する市民アンケート調査（図書館利用の有無別クロス集計結果）

2. 今後の綾瀬市立図書館（本館）に望むこと

問2-1 望ましい図書館像

全体として、ゆったりとくつろいで読書できたり、飲食ができたり、無料WiFiなどを利用できたり、静かな空間で集中して学習できることを望む傾向があるが、利用したことがある回答者は、疑問や調べ物について気軽に相談できたり、子ども連れで読み聞かせをしたり遊んだりできることを望む傾向が相対的に高い

[3つまで回答]

	望ましい図書館像														
	合計	ゆったりとくつろいで読書できる	静かな空間で集中して学習できる	無料Wi-Fi作業などを利用しながら	疑問や調べ物について気軽に相談できる	子ども連れで読み聞かせをしたり遊んだりできる	家族や友人などと相談しながら調べものや学習ができる	会話や交流を気軽に楽しむことができる	飲食可能なスペースがある	さまざまなイベントや講座に参加できる	綾瀬市の歴史や文化、特徴を知ることができる	図書館内で作品展示や鑑賞ができる	図書館に関する市民活動やボランティア活動に参加できる	無回答	
合計	476 100.0%	298 62.6%	124 26.1%	188 39.5%	69 14.5%	85 17.9%	50 10.5%	52 10.9%	217 45.6%	57 12.0%	40 8.4%	45 9.5%	13 2.7%	15 3.2%	
利用したことがある	173 100.0%	117 67.6%	48 27.7%	64 37.0%	36 20.8%	38 22.0%	18 10.4%	17 9.8%	76 43.9%	27 15.6%	14 8.1%	11 6.4%	4 2.3%	0 0.0%	
利用したことがない	300 100.0%	181 60.3%	76 25.3%	123 41.0%	33 11.0%	47 15.7%	31 10.3%	34 11.3%	141 47.0%	30 10.0%	26 8.7%	34 11.3%	9 3.0%	13 4.3%	
無回答	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	

問2-2 充実してほしい資料

全体として、趣味や知識の本、小説やエッセイなどの充実を望む傾向があるが、利用したことがある回答者は雑誌、児童書・絵本・紙芝居、利用したことがない回答者は館内PCで見られる調べ物のためのデータベースの充実を望む傾向が相対的に高い

[3つまで回答]

	充実してほしい資料														
	合計	趣味や知識の本	小説やエッセイなど	専門書	児童書・絵本・紙芝居	辞書、事典、年鑑などの調べ物のための本	市や地域に関する資料・行政資料	外国語資料	大活字本・点字資料・LLブック	電子書籍	雑誌	CD、DVD等	館内PCで見られる調べ物のためのデータベース	その他	無回答
合計	476	330	195	149	101	45	44	12	14	42	113	56	48	9	20
	100.0%	69.3%	41.0%	31.3%	21.2%	9.5%	9.2%	2.5%	2.9%	8.8%	23.7%	11.8%	10.1%	1.9%	4.2%
利用したことがある	173	123	87	51	45	13	14	6	5	15	50	18	7	4	3
	100.0%	71.1%	50.3%	29.5%	26.0%	7.5%	8.1%	3.5%	2.9%	8.7%	28.9%	10.4%	4.0%	2.3%	1.7%
利用したことがない	300	206	107	98	56	32	30	6	9	27	62	38	41	5	15
	100.0%	68.7%	35.7%	32.7%	18.7%	10.7%	10.0%	2.0%	3.0%	9.0%	20.7%	12.7%	13.7%	1.7%	5.0%
無回答	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	100.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%

問2-3 充実してほしいサービス

全体として、図書館以外の施設での返却や予約本受渡しを最も望み、次いで仕事やお金、健康など暮らしに役立つ展示を望む傾向があるが、利用したことがある回答者は、テーマ別の調べ方ガイド（パスファインダー）や子育て関連情報の提供を望む傾向が高いのに対して、利用したことがない回答者は、電話やメール、チャット等による相談や調べ物の受付を望む傾向が相対的に高い

[3つまで回答]

	充実してほしいサービス										
	合計	電話や調べ物の受付	テーマ別の調べ方ガイド（パスファインダー）	利用者からの専門家・専門機関の紹介、利用	仕事や市民の興味関心に応じた展示	仕事やお金、健康など暮らしに役立つ展示	子育て関連情報の提供	図書館以外の施設での返却や予約本受渡し	図書館に交流するボランティア開催	その他	無回答
合計	476 100.0%	106 22.3%	113 23.7%	59 12.4%	82 17.2%	174 36.6%	81 17.0%	243 51.1%	22 4.6%	9 1.9%	37 7.8%
利用したことがある	173 100.0%	32 18.5%	46 26.6%	28 16.2%	26 15.0%	59 34.1%	40 23.1%	92 53.2%	6 3.5%	4 2.3%	11 6.4%
利用したことがない	300 100.0%	73 24.3%	66 22.0%	30 10.0%	56 18.7%	114 38.0%	41 13.7%	151 50.3%	16 5.3%	5 1.7%	26 8.7%
無回答	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問2-4 充実してほしいイベントや講座

全体として、趣味などに関する市民向け講座やイベント、医療や健康に関する講座や相談会を望む傾向があるが、利用したことがある回答者は、子ども向けのおはなし会やイベントを望む傾向が高いのに対して、利用したことがない回答者は、情報やITを適切に活用する力を身につけるための講座を望む傾向が相対的に高い

[3つまで回答]

	充実してほしいイベントや講座											
	合計	子ども向けのおはなし会やイベント	学青少年向けの体験型イベント（科学館など）	談会 子育てや子どもに関する講座や相談会	医療や健康に関する講座や相談会	仕事や職業に関するセミナーや講習会	情報やITの活用する力を身につけるための講座	地域文化や歴史、特徴を知ることをできる展示や講座、イベント	趣味などに関する市民向け講座やイベント	市民による学習・活動の成果の展示会や発表会	その他	無回答
合計	476 100.0%	114 23.9%	107 22.5%	63 13.2%	178 37.4%	84 17.6%	120 25.2%	91 19.1%	206 43.3%	26 5.5%	8 1.7%	35 7.4%
利用したことがある	173 100.0%	46 26.6%	42 24.3%	27 15.6%	70 40.5%	30 17.3%	41 23.7%	36 20.8%	83 48.0%	10 5.8%	4 2.3%	8 4.6%
利用したことがない	300 100.0%	68 22.7%	64 21.3%	36 12.0%	107 35.7%	54 18.0%	78 26.0%	54 18.0%	122 40.7%	16 5.3%	4 1.3%	27 9.0%
無回答	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問2-5 充実してほしい施設・設備

全体として、ソファ席、個人利用席、スツール席などの多様な閲覧席、飲料や軽食などを購入・飲食できる休憩スペース、静かに集中できる静寂読書スペースを望む傾向がある

[3つまで回答]

	充実してほしい施設・設備																		
	合計	ソファなどの多様な閲覧席	個人利用席、スツール	関心をひく開架書架	特集やテーマ別の配架などで興味	静かに集中できる静寂読書スペース	自習のための学習スペース	研究・仕事のための個人利用スペース	気軽におしゃべりや読み聞かせなどができる児童スペース	子どもが遊んだり、思い思いの形で本が読めたりするスペース	レ・ビーカー置き場や子ども用トイレ	用で合せるフリースペースなど多目的に利用できるフリースペース	活動しながら利用できるグループ	会話しながら利用できるグループ	端末利用者用PCや貸出用タブレット	セルフで受け取れるコーナー	自動貸出機や返却機、予約資料を	飲料や軽食などを購入・飲食できる休憩スペース	その他
合計	476 100.0%	269 56.5%	52 10.9%	160 33.6%	112 23.5%	42 8.8%	50 10.5%	87 18.3%	37 7.8%	38 8.0%	41 8.6%	22 4.6%	91 19.1%	190 39.9%	7 1.5%	19 4.0%			
利用したことがある	173 100.0%	108 62.4%	28 16.2%	60 34.7%	45 26.0%	11 6.4%	20 11.6%	36 20.8%	16 9.2%	13 7.5%	13 7.5%	9 5.2%	32 18.5%	64 37.0%	1 0.6%	3 1.7%			
利用したことがない	300 100.0%	160 53.3%	24 8.0%	100 33.3%	66 22.0%	31 10.3%	30 10.0%	51 17.0%	21 7.0%	25 8.3%	26 8.7%	13 4.3%	59 19.7%	125 41.7%	6 2.0%	16 5.3%			
無回答	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%			

綾瀬市立図書館に関する市民アンケート調査（年齢層別クロス集計結果）

1. 綾瀬市立図書館（本館）の利用について

問1-1 過去1年以内の図書館（本館）利用の有無

20歳代の8割、30歳代及び50歳代から70歳代の6割以上が過去1年以内に本館を利用していない

[単数回答]

	過去1年以内の図書館（本館）利用の有無			
	合計	利用したことがある	利用したことがない	無回答
合計	476 100.0%	173 36.3%	300 63.0%	3 0.6%
10歳代	10 100.0%	5 50.0%	5 50.0%	0 0.0%
20歳代	21 100.0%	4 19.0%	17 81.0%	0 0.0%
30歳代	60 100.0%	16 26.7%	44 73.3%	0 0.0%
40歳代	100 100.0%	44 44.0%	56 56.0%	0 0.0%
50歳代	89 100.0%	34 38.2%	54 60.7%	1 1.1%
60歳代	80 100.0%	26 32.5%	54 67.5%	0 0.0%
70歳代	104 100.0%	36 34.6%	66 63.5%	2 1.9%
80歳以上	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%
無回答	7 100.0%	4 57.1%	3 42.9%	0 0.0%

問1-2 図書館(本館)を利用する際の主な交通手段

※問1-1で「利用したことがある」と回答した、計173人を対象

30歳代から70歳代の6割以上は自動車、10歳代の6割は徒歩、80歳以上の5割はバスで来館している

[単数回答]

	利用する際の主な交通手段							
	合計	自動車	付自動車 二輪・原	自転車	徒歩	バス	その他	無回答
合計	173 100.0%	117 67.6%	4 2.3%	18 10.4%	22 12.7%	12 6.9%	0 0.0%	0 0.0%
10歳代	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
20歳代	4 100.0%	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30歳代	16 100.0%	12 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 12.5%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
40歳代	44 100.0%	33 75.0%	2 4.5%	4 9.1%	5 11.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
50歳代	34 100.0%	24 70.6%	0 0.0%	4 11.8%	4 11.8%	2 5.9%	0 0.0%	0 0.0%
60歳代	26 100.0%	18 69.2%	2 7.7%	1 3.8%	3 11.5%	2 7.7%	0 0.0%	0 0.0%
70歳代	36 100.0%	23 63.9%	0 0.0%	5 13.9%	4 11.1%	4 11.1%	0 0.0%	0 0.0%
80歳以上	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問1-3 図書館(本館)を利用しない主な理由

※問1-1で「利用したことがない」と回答した、計300人を対象

20歳代、60歳代はアクセスが悪い、30歳代、50歳代は情報はインターネット等で収集する(50歳代は同率で時間がない)、40歳代は読書の習慣がない、70歳代は本は購入している・家にあるが最も多い

[3つまで回答]

	図書館(本館)を利用しない主な理由												
	合計	読書の習慣がない	本は購入している・家にある	図書館に読みたい本がない	情報はインターネット等で収集	アクセスが悪い	時間がない	施設が古い	閲覧スペースが少ない	雰囲気が苦手である	子ども連れで使いづらい	その他	無回答
合計	300 100.0%	91 30.3%	78 26.0%	38 12.7%	86 28.7%	101 33.7%	80 26.7%	38 12.7%	33 11.0%	17 5.7%	9 3.0%	49 16.3%	2 0.7%
10歳代	5 100.0%	2 40.0%	2 40.0%	2 40.0%	3 60.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
20歳代	17 100.0%	3 17.6%	6 35.3%	3 17.6%	3 17.6%	9 52.9%	4 23.5%	0 0.0%	3 17.6%	2 11.8%	1 5.9%	5 29.4%	0 0.0%
30歳代	44 100.0%	14 31.8%	10 22.7%	3 6.8%	17 38.6%	11 25.0%	12 27.3%	1 2.3%	3 6.8%	2 4.5%	5 11.4%	8 18.2%	0 0.0%
40歳代	56 100.0%	23 41.1%	10 17.9%	6 10.7%	16 28.6%	16 28.6%	18 32.1%	9 16.1%	5 8.9%	1 1.8%	3 5.4%	12 21.4%	0 0.0%
50歳代	54 100.0%	17 31.5%	8 14.8%	9 16.7%	19 35.2%	18 33.3%	19 35.2%	8 14.8%	8 14.8%	4 7.4%	0 0.0%	5 9.3%	0 0.0%
60歳代	54 100.0%	13 24.1%	17 31.5%	7 13.0%	9 16.7%	23 42.6%	12 22.2%	12 22.2%	5 9.3%	5 9.3%	0 0.0%	11 20.4%	0 0.0%
70歳代	66 100.0%	19 28.8%	25 37.9%	7 10.6%	16 24.2%	23 34.8%	12 18.2%	7 10.6%	6 9.1%	3 4.5%	0 0.0%	7 10.6%	1 1.5%
80歳以上	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
無回答	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%

綾瀬市立図書館に関する市民アンケート調査（年齢層別クロス集計結果）

2. 今後の綾瀬市立図書館（本館）に望むこと

問2-1 望ましい図書館像

20歳代を除くすべての世代で、ゆったりとくつろいで読書できることを最も望む傾向があり、10歳代は同率で、30歳代、70歳代、80歳代は次いで飲食可能なスペースを望む傾向がある。一方、20歳代及び40歳代から60歳代は無料WiFiなどを利用しながらパソコン作業ができることを望む傾向がある

[3つまで回答]

	望ましい図書館像														
	合計	ゆったりとくつろいで読書できる	静かな空間で集中して学習できる	パソコン作業ができる	無料Wi-Fiなどを利用しながら	疑問や調べ物について気軽に相談できる	子ども連れで読み聞かせをしたり遊んだりできる	家族や友人などと相談しながら調べものや学習ができる	会話や交流を気軽に楽しむことができる	飲食可能なスペースがある	さまざまなイベントや講座に参加できる	綾瀬市の歴史や文化、特徴を知ることができる	図書館内で作品展示や鑑賞ができる	図書館に関する市民活動やボランティア活動に参加できる	無回答
合計	476 100.0%	298 62.6%	124 26.1%	188 39.5%	69 14.5%	85 17.9%	50 10.5%	52 10.9%	217 45.6%	57 12.0%	40 8.4%	45 9.5%	13 2.7%	15 3.2%	
10歳代	10 100.0%	7 70.0%	4 40.0%	3 30.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	2 20.0%	7 70.0%	0 0.0%	1 10.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	
20歳代	21 100.0%	10 47.6%	7 33.3%	12 57.1%	1 4.8%	8 38.1%	3 14.3%	3 14.3%	8 38.1%	0 0.0%	1 4.8%	3 14.3%	1 4.8%	0 0.0%	
30歳代	60 100.0%	32 53.3%	20 33.3%	25 41.7%	6 10.0%	22 36.7%	10 16.7%	5 8.3%	30 50.0%	8 13.3%	4 6.7%	4 6.7%	1 1.7%	0 0.0%	
40歳代	100 100.0%	57 57.0%	22 22.0%	51 51.0%	14 14.0%	25 25.0%	13 13.0%	12 12.0%	50 50.0%	16 16.0%	5 5.0%	3 3.0%	1 1.0%	1 1.0%	
50歳代	89 100.0%	54 60.7%	22 24.7%	48 53.9%	11 12.4%	9 10.1%	11 12.4%	9 10.1%	47 52.8%	10 11.2%	7 7.9%	6 6.7%	3 3.4%	1 1.1%	
60歳代	80 100.0%	58 72.5%	24 30.0%	35 43.8%	11 13.8%	9 11.3%	3 3.8%	12 15.0%	34 42.5%	8 10.0%	8 10.0%	7 8.8%	5 6.3%	0 0.0%	
70歳代	104 100.0%	71 68.3%	21 20.2%	13 12.5%	23 22.1%	10 9.6%	7 6.7%	8 7.7%	36 34.6%	14 13.5%	14 13.5%	20 19.2%	2 1.9%	11 10.6%	
80歳以上	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	
無回答	7 100.0%	5 71.4%	3 42.9%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	

問2-2 充実してほしい資料

20歳代以上のすべての世代で、趣味や知識の本の充実を最も望む傾向があり、20歳代は次いで専門書、30歳代は次いで児童書・絵本・紙芝居、40歳代以上は小説やエッセイなどの充実を望む傾向がある一方、10歳代は小説やエッセイなどの充実を最も望む傾向がある

[3つまで回答]

	充実してほしい資料														
	合 計	趣味や知識の本	小説やエッセイなど	専門書	児童書・絵本・紙芝居	辞書、事典、年鑑などの調べ物	資料や地域に関する資料・行政	外国語資料	大活字本・点字資料・LLブック	電子書籍	雑誌	C D、D V D 等	館内 P C で見られる調べ物のデータベース	その他	無回答
合計	476 100.0%	330 69.3%	195 41.0%	149 31.3%	101 21.2%	45 9.5%	44 9.2%	12 2.5%	14 2.9%	42 8.8%	113 23.7%	56 11.8%	48 10.1%	9 1.9%	20 4.2%
10歳代	10 100.0%	4 40.0%	8 80.0%	7 70.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%	3 30.0%	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
20歳代	21 100.0%	14 66.7%	9 42.9%	10 47.6%	9 42.9%	2 9.5%	0 0.0%	1 4.8%	0 0.0%	3 14.3%	1 4.8%	2 9.5%	2 9.5%	1 4.8%	0 0.0%
30歳代	60 100.0%	40 66.7%	13 21.7%	23 38.3%	27 45.0%	4 6.7%	4 6.7%	4 6.7%	4 6.7%	9 15.0%	11 18.3%	8 13.3%	9 15.0%	1 1.7%	0 0.0%
40歳代	100 100.0%	67 67.0%	40 40.0%	32 32.0%	27 27.0%	8 8.0%	4 4.0%	1 1.0%	2 2.0%	8 8.0%	31 31.0%	14 14.0%	6 6.0%	5 5.0%	2 2.0%
50歳代	89 100.0%	62 69.7%	36 40.4%	27 30.3%	14 15.7%	7 7.9%	14 15.7%	4 4.5%	0 0.0%	10 11.2%	24 27.0%	14 15.7%	9 10.1%	1 1.1%	2 2.2%
60歳代	80 100.0%	61 76.3%	39 48.8%	23 28.8%	11 13.8%	8 10.0%	6 7.5%	1 1.3%	2 2.5%	8 10.0%	20 25.0%	7 8.8%	13 16.3%	1 1.3%	2 2.5%
70歳代	104 100.0%	75 72.1%	45 43.3%	24 23.1%	10 9.6%	13 12.5%	15 14.4%	0 0.0%	6 5.8%	1 1.0%	23 22.1%	8 7.7%	7 6.7%	0 0.0%	12 11.5%
80歳以上	5 100.0%	3 60.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%
無回答	7 100.0%	4 57.1%	3 42.9%	2 28.6%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%

問2-3 充実してほしいサービス

すべての世代で図書館以外の施設での返却や予約本受渡しの充実を最も望む傾向がある

[3つまで回答]

	充実してほしいサービス											
	合計	電話やメール、チャット等による相談への受付	インターネットの提供	利用者からの専門家・専門機関の紹介、利	司書からの専門家への情報照会や、利	時事や市民の興味関心に応じた展示	仕事やお金、健康などに暮らしに役立つ展示	子育て関連情報の提供	図書館以外の施設での返却や予約本	図書館や交流会の開催	図書館に関するボランティア向けの	その他
合計	476 100.0%	106 22.3%	113 23.7%	59 12.4%	82 17.2%	174 36.6%	81 17.0%	243 51.1%	22 4.6%	9 1.9%	37 7.8%	
10歳代	10 100.0%	4 40.0%	2 20.0%	2 20.0%	1 10.0%	3 30.0%	1 10.0%	5 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
20歳代	21 100.0%	10 47.6%	3 14.3%	3 14.3%	3 14.3%	8 38.1%	9 42.9%	14 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
30歳代	60 100.0%	17 28.3%	10 16.7%	4 6.7%	7 11.7%	24 40.0%	26 43.3%	35 58.3%	3 5.0%	2 3.3%	0 0.0%	
40歳代	100 100.0%	17 17.0%	25 25.0%	15 15.0%	10 10.0%	36 36.0%	23 23.0%	50 50.0%	3 3.0%	3 3.0%	6 6.0%	
50歳代	89 100.0%	28 31.5%	23 25.8%	8 9.0%	13 14.6%	38 42.7%	11 12.4%	48 53.9%	7 7.9%	3 3.4%	7 7.9%	
60歳代	80 100.0%	11 13.8%	23 28.8%	11 13.8%	22 27.5%	32 40.0%	5 6.3%	45 56.3%	5 6.3%	1 1.3%	4 5.0%	
70歳代	104 100.0%	15 14.4%	24 23.1%	14 13.5%	26 25.0%	31 29.8%	4 3.8%	38 36.5%	4 3.8%	0 0.0%	18 17.3%	
80歳以上	5 100.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	
無回答	7 100.0%	2 28.6%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	5 71.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	

問2-4 充実してほしいイベントや講座

10歳代、20歳代は仕事や起業、就職に関するセミナーや講習会（20歳代は同率で子ども向けのおはなし会やイベント、青少年向けの体験型イベント）、30歳代は子ども向けのおはなし会やイベント、40歳代は青少年向けの体験イベント、50歳代、60歳代は趣味などに関する市民向け講座やイベント、70歳代以上は医療や健康に関する講座や相談会（80歳以上は同率で趣味などに関する市民向け講座やイベント）を最も望む傾向がある

[3つまで回答]

	充実してほしいイベントや講座												
	合計	子ども向けのおはなし会やイベント	学工作やプログラミングなど（青少年向け）	青年向けの体験型イベント（相談会）	子育てや子どもに関する講座や相談会	医療や健康に関する講座や相談会	仕事や起業、就職に関するセミナーや講習会	情報やITを適切に活用する力を身につけるための講座	地域の文化や歴史、特徴を知ることでできる展示や講座、イベント	イベントなどに関する市民向け講座や趣味などに関する市民向け講座や展示や発表会	市民による学習・活動の成果の展示会や発表会	その他	無回答
合計	476 100.0%	114 23.9%	107 22.5%	63 13.2%	178 37.4%	84 17.6%	120 25.2%	91 19.1%	206 43.3%	26 5.5%	8 1.7%	35 7.4%	
10歳代	10 100.0%	2 20.0%	2 20.0%	3 30.0%	2 20.0%	6 60.0%	3 30.0%	3 30.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
20歳代	21 100.0%	9 42.9%	9 42.9%	4 19.0%	4 19.0%	9 42.9%	6 28.6%	2 9.5%	6 28.6%	1 4.8%	1 4.8%	0 0.0%	
30歳代	60 100.0%	28 46.7%	17 28.3%	22 36.7%	15 25.0%	15 25.0%	12 20.0%	11 18.3%	22 36.7%	1 1.7%	1 1.7%	1 1.7%	
40歳代	100 100.0%	27 27.0%	42 42.0%	14 14.0%	28 28.0%	18 18.0%	18 18.0%	15 15.0%	34 34.0%	4 4.0%	3 3.0%	7 7.0%	
50歳代	89 100.0%	19 21.3%	16 18.0%	8 9.0%	28 31.5%	18 20.2%	33 37.1%	15 16.9%	44 49.4%	5 5.6%	2 2.2%	6 6.7%	
60歳代	80 100.0%	13 16.3%	8 10.0%	8 10.0%	39 48.8%	9 11.3%	26 32.5%	22 27.5%	45 56.3%	2 2.5%	1 1.3%	3 3.8%	
70歳代	104 100.0%	14 13.5%	11 10.6%	4 3.8%	57 54.8%	6 5.8%	19 18.3%	20 19.2%	46 44.2%	12 11.5%	0 0.0%	15 14.4%	
80歳以上	5 100.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	
無回答	7 100.0%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	2 28.6%	2 28.6%	1 14.3%	2 28.6%	3 42.9%	1 14.3%	0 0.0%	2 28.6%	

問2-5 充実してほしい施設・設備

すべての世代で、ソファ席、個人利用席、スツール席などの多様な閲覧席の充実を最も望む傾向があり（80歳代以上は同率で飲食や軽食などを購入・飲食できる休憩スペース）、10歳代及び40歳代から70歳代は次いで飲食や軽食などを購入・飲食できる休憩スペース（40歳代は同率で自習のための学習スペース）、20歳代は静かに集中できる静寂読書スペース、30歳代は子どもが遊んだり、思い思いの形で本が読めたりするスペースを望む傾向がある

[3つまで回答]

	充実してほしい施設・設備																		
	合計	ソファ席、個人利用席、スツールなどの多様な閲覧席	関心をひく開架書架	特集やテーマ別の配架などで興味	静かに集中できる静寂読書スペース	自習のための学習スペース	研究・仕事のための個人利用スペース	気軽におしやべりや読み聞かせなどができる児童スペース	子どもが遊んだり、思い思いの形で本が読めたりするスペース	レ・授乳室	ベビーカー置き場や子ども用トイレ	打合せ、イベントなど多目的に利用できるフリースペース	活動スペース	会話しながら利用できるグループ	端末利用者用PCや貸出用タブレット	セルフで受け取れるコピー資料を	自動貸出機や返却機、予約資料を	飲料や軽食などを購入・飲食できる休憩スペース	その他
合計	476	269	52	160	112	42	50	87	37	38	41	22	91	190	7	19			
	100.0%	56.5%	10.9%	33.6%	23.5%	8.8%	10.5%	18.3%	7.8%	8.0%	8.6%	4.6%	19.1%	39.9%	1.5%	4.0%			
10歳代	10	9	3	3	2	0	0	0	1	2	1	1	3	4	0	0			
	100.0%	90.0%	30.0%	30.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	20.0%	10.0%	10.0%	30.0%	40.0%	0.0%	0.0%			
20歳代	21	9	2	8	7	2	5	5	5	0	3	4	6	5	0	0			
	100.0%	42.9%	9.5%	38.1%	33.3%	9.5%	23.8%	23.8%	23.8%	0.0%	14.3%	19.0%	28.6%	23.8%	0.0%	0.0%			
30歳代	60	28	3	21	16	5	18	25	12	3	8	2	11	19	0	0			
	100.0%	46.7%	5.0%	35.0%	26.7%	8.3%	30.0%	41.7%	20.0%	5.0%	13.3%	3.3%	18.3%	31.7%	0.0%	0.0%			
40歳代	100	63	6	28	37	13	12	24	8	8	12	3	14	37	1	2			
	100.0%	63.0%	6.0%	28.0%	37.0%	13.0%	12.0%	24.0%	8.0%	8.0%	12.0%	3.0%	14.0%	37.0%	1.0%	2.0%			
50歳代	89	56	7	27	19	10	2	10	7	8	8	6	21	38	3	5			
	100.0%	62.9%	7.9%	30.3%	21.3%	11.2%	2.2%	11.2%	7.9%	9.0%	9.0%	6.7%	23.6%	42.7%	3.4%	5.6%			
60歳代	80	50	12	33	16	6	6	13	1	7	1	3	19	35	1	1			
	100.0%	62.5%	15.0%	41.3%	20.0%	7.5%	7.5%	16.3%	1.3%	8.8%	1.3%	3.8%	23.8%	43.8%	1.3%	1.3%			
70歳代	104	45	19	35	14	5	7	10	3	7	6	3	14	44	2	10			
	100.0%	43.3%	18.3%	33.7%	13.5%	4.8%	6.7%	9.6%	2.9%	6.7%	5.8%	2.9%	13.5%	42.3%	1.9%	9.6%			
80歳以上	5	3	0	2	0	1	0	0	0	2	0	0	1	3	0	1			
	100.0%	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	20.0%			
無回答	7	6	0	3	1	0	0	0	0	1	2	0	2	5	0	0			
	100.0%	85.7%	0.0%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%			

綾瀬市立図書館に関する市民アンケート調査（居住地区別クロス集計結果）

1. 綾瀬市立図書館（本館）の利用について

問1-1 過去1年以内の図書館（本館）利用の有無
大上、寺尾綾北、吉岡の各地区では7割以上、上土棚、落合、蓼川、早川、寺尾天台の各地区では6割以上が過去1年以内に本館を利用していない

[単数回答]

	過去1年以内の図書館（本館）利用の有無			
	合計	利用したことがある	利用したことがない	無回答
合計	476	173	300	3
	100.0%	36.3%	63.0%	0.6%
落合	44	14	30	0
	100.0%	31.8%	68.2%	0.0%
中村	45	20	24	1
	100.0%	44.4%	53.3%	0.0%
上深谷	30	16	14	0
	100.0%	53.3%	46.7%	0.0%
大上	48	10	38	0
	100.0%	20.8%	79.2%	0.0%
蓼川	22	7	15	0
	100.0%	31.8%	68.2%	0.0%
寺尾南	26	11	15	0
	100.0%	41.7%	58.3%	0.0%
寺尾綾北	23	6	17	0
	100.0%	26.1%	73.9%	0.0%
寺尾北	24	11	13	0
	100.0%	45.8%	54.2%	0.0%
寺尾天台	34	13	21	0
	100.0%	38.2%	61.8%	0.0%
小園	33	13	19	1
	100.0%	39.4%	57.6%	3.0%
早川	32	12	20	0
	100.0%	37.5%	62.5%	0.0%
吉岡	18	5	13	0
	100.0%	27.8%	72.2%	0.0%
綾西	19	10	9	0
	100.0%	52.6%	47.4%	0.0%
上土棚	68	20	47	1
	100.0%	29.4%	69.1%	1.5%
その他	3	1	2	0
	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%
無回答	7	4	3	0
	100.0%	57.1%	42.9%	0.0%

問1-2 図書館（本館）を利用する際の主な交通手段
※問1-1で「利用したことがある」と回答した、計173人を対象
すべての居住地で自動車による来館が最も多い

[単数回答]

	利用する際の主な交通手段							
	合計	自動車	付自動車 二輪・原	自転車	徒歩	バス	その他	無回答
合計	173	117	4	18	22	12	0	0
	100.0%	67.6%	2.3%	10.4%	12.7%	6.9%	0.0%	0.0%
落合	14	8	1	1	2	2	0	0
	100.0%	57.1%	7.1%	7.1%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
中村	20	15	0	0	5	0	0	0
	100.0%	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
上深谷	16	8	0	3	4	1	0	0
	100.0%	50.0%	0.0%	18.8%	25.0%	6.3%	0.0%	0.0%
大上	10	6	0	0	0	4	0	0
	100.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%
蓼川	7	4	1	0	1	1	0	0
	100.0%	57.1%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
寺尾南	11	7	0	2	1	1	0	0
	100.0%	63.6%	0.0%	18.2%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%
寺尾綾北	6	6	0	0	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
寺尾北	11	7	0	1	3	0	0	0
	100.0%	63.6%	0.0%	9.1%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%
寺尾天台	13	8	0	1	2	2	0	0
	100.0%	61.5%	0.0%	7.7%	15.4%	15.4%	0.0%	0.0%
小園	13	10	0	3	0	0	0	0
	100.0%	76.9%	0.0%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
早川	12	7	0	3	2	0	0	0
	100.0%	58.3%	0.0%	25.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
吉岡	5	4	0	0	1	0	0	0
	100.0%	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
綾西	10	7	0	1	1	1	0	0
	100.0%	70.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%
上土棚	20	15	2	3	0	0	0	0
	100.0%	75.0%	10.0%	15.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	1	1	0	0	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	4	4	0	0	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問1-3 図書館(本館)を利用しない主な理由

※問1-1で「利用したことがない」と回答した、計300人を対象

全体として、アクセスが悪いが4割以上の地区が最も多い

[3つまで回答]

	図書館(本館)を利用しない主な理由												
	合計	読書の習慣がない	本は購入している・家にある	図書館に読みたい本がない	情報はインターネット等で収集	アクセスが悪い	時間がない	施設が古い	閲覧スペースが少ない	雰囲気が苦手である	子ども連れで使いづらい	その他	無回答
合計	300 100.0%	91 30.3%	78 26.0%	38 12.7%	86 28.7%	101 33.7%	80 26.7%	38 12.7%	33 11.0%	17 5.7%	9 3.0%	49 16.3%	2 0.7%
落合	30 100.0%	7 23.3%	9 30.0%	3 10.0%	11 36.7%	5 16.7%	10 33.3%	3 10.0%	2 6.7%	1 3.3%	0 0.0%	4 13.3%	0 0.0%
中村	24 100.0%	11 45.8%	7 29.2%	3 12.5%	9 37.5%	2 8.3%	6 25.0%	2 8.3%	4 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	5 20.8%	0 0.0%
上深谷	14 100.0%	5 35.7%	2 14.3%	3 21.4%	6 42.9%	2 14.3%	4 28.6%	0 0.0%	2 14.3%	1 7.1%	1 7.1%	3 21.4%	0 0.0%
大上	38 100.0%	11 28.9%	10 26.3%	7 18.4%	9 23.7%	19 50.0%	9 23.7%	8 21.1%	6 15.8%	1 2.6%	2 5.3%	6 15.8%	0 0.0%
蓼川	15 100.0%	4 26.7%	3 20.0%	0 0.0%	3 20.0%	7 46.7%	0 0.0%	1 6.7%	2 13.3%	1 6.7%	0 0.0%	2 13.3%	1 6.7%
寺尾南	15 100.0%	6 40.0%	2 13.3%	1 6.7%	6 40.0%	3 20.0%	7 46.7%	2 13.3%	0 0.0%	2 13.3%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%
寺尾綾北	17 100.0%	2 11.8%	7 41.2%	3 17.6%	3 17.6%	7 41.2%	2 11.8%	4 23.5%	3 17.6%	1 5.9%	0 0.0%	2 11.8%	1 5.9%
寺尾北	13 100.0%	2 15.4%	3 23.1%	1 7.7%	1 7.7%	8 61.5%	4 30.8%	2 15.4%	0 0.0%	2 15.4%	0 0.0%	3 23.1%	0 0.0%
寺尾天台	21 100.0%	10 47.6%	3 14.3%	4 19.0%	6 28.6%	6 28.6%	7 33.3%	1 4.8%	2 9.5%	0 0.0%	2 9.5%	4 19.0%	0 0.0%
小園	19 100.0%	4 21.1%	5 26.3%	2 10.5%	4 21.1%	10 52.6%	4 21.1%	4 21.1%	1 5.3%	3 15.8%	0 0.0%	5 26.3%	0 0.0%
早川	20 100.0%	9 45.0%	5 25.0%	3 15.0%	7 35.0%	3 15.0%	7 35.0%	3 15.0%	5 25.0%	2 10.0%	0 0.0%	4 20.0%	0 0.0%
吉岡	13 100.0%	7 53.8%	6 46.2%	2 15.4%	6 46.2%	3 23.1%	3 23.1%	0 0.0%	1 7.7%	1 7.7%	1 7.7%	1 7.7%	0 0.0%
綾西	9 100.0%	2 22.2%	3 33.3%	1 11.1%	2 22.2%	4 44.4%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%
上土棚	47 100.0%	11 23.4%	13 27.7%	4 8.5%	9 19.1%	21 44.7%	15 31.9%	6 12.8%	4 8.5%	2 4.3%	3 6.4%	5 10.6%	0 0.0%
その他	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
無回答	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%

綾瀬市立図書館に関する市民アンケート調査（職業別クロス集計結果）

1. 綾瀬市立図書館（本館）の利用について

問1-1 過去1年以内の図書館（本館）利用の有無

高校生以外のすべての職業で過去1年以内に本館を利用していない割合の方が高い

[単数回答]

	過去1年以内の図書館（本館） 利用の有無			
	合 計	利 用 し た こ と が あ る	利 用 し た こ と が な い	無 回 答
合計	476 100.0%	173 36.3%	300 63.0%	3 0.6%
会社員	153 100.0%	45 29.4%	107 69.9%	1 0.7%
公務員	25 100.0%	8 32.0%	17 68.0%	0 0.0%
自営業	20 100.0%	6 30.0%	14 70.0%	0 0.0%
高校生	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
専門学校・ 大学生等	11 100.0%	5 45.5%	6 54.5%	0 0.0%
専業主婦・ 主夫	97 100.0%	44 45.4%	52 53.6%	1 1.0%
パート・ アルバイト	85 100.0%	40 47.1%	45 52.9%	0 0.0%
無職	71 100.0%	17 23.9%	53 74.6%	1 1.4%
その他	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
無回答	8 100.0%	4 50.0%	4 50.0%	0 0.0%

問1-3 図書館（本館）を利用しない主な理由

※問1-1で「利用したことがない」と回答した、計300人を対象

専門学校・大学生等の6割以上が情報はインターネット等で収集することを主な理由としている

[3つまで回答]

	図書館(本館)を利用しない主な理由													
	合 計	読 書 の 習 慣 が な い	本 は 購 入 し て い る ・ 家	図 書 館 に 読 み た い 本 が	情 報 は イ ン タ ー ネ ッ ト	ア ク セ ス が 悪 い	時 間 が な い	施 設 が 古 い	閲 覧 ス ペ ー ス が 少 な い	雰 囲 気 が 苦 手 で あ る	い 子 ど も 連 れ で 使 い づ ら	そ の 他	無 回 答	
合計	300 100.0%	91 30.3%	78 26.0%	38 12.7%	86 28.7%	101 33.7%	80 26.7%	38 12.7%	33 11.0%	17 5.7%	9 3.0%	49 16.3%	2 0.7%	
会社員	107 100.0%	42 39.3%	18 16.8%	17 15.9%	34 31.8%	27 25.2%	35 32.7%	16 15.0%	14 13.1%	5 4.7%	3 2.8%	15 14.0%	0 0.0%	
公務員	17 100.0%	2 11.8%	8 47.1%	1 5.9%	7 41.2%	10 58.8%	5 29.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%	3 17.6%	3 17.6%	0 0.0%	
自営業	14 100.0%	4 28.6%	4 28.6%	1 7.1%	3 21.4%	3 21.4%	6 42.9%	2 14.3%	0 0.0%	2 14.3%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	
高校生	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
専門学校・ 大学生等	6 100.0%	3 50.0%	1 16.7%	1 16.7%	4 66.7%	2 33.3%	3 50.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	
専業主婦・ 主夫	52 100.0%	13 25.0%	14 26.9%	6 11.5%	12 23.1%	22 42.3%	10 19.2%	9 17.3%	7 13.5%	4 7.7%	2 3.8%	13 25.0%	1 1.9%	
パート・ アルバイト	45 100.0%	11 24.4%	14 31.1%	3 6.7%	11 24.4%	12 26.7%	12 37.8%	5 11.1%	4 8.9%	3 6.7%	0 0.0%	5 11.1%	0 0.0%	
無職	53 100.0%	15 28.3%	19 35.8%	7 13.2%	12 22.6%	24 45.3%	3 5.7%	6 11.3%	4 7.5%	2 3.8%	0 0.0%	9 17.0%	1 1.9%	
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	
無回答	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	

2. 今後の綾瀬市立図書館（本館）に望むこと

問2-1 望ましい図書館像

高校生、専門学校・大学生等、その他を除くすべての職業で、ゆったりとくつろいで読書できることを最も望む傾向があり（自営業は同率で無料WiFiなどを利用しながらパソコン作業ができる）、高校生は飲食可能なスペースがある、専門学校・大学生等は静かな空間で集中して学習できることを最も望む傾向がある。

[3つまで回答]

	望ましい図書館像													
	合計	ゆったりとくつろいで読書できる	静かな空間で集中して学習できる	無料WiFi作業が利用できる	疑問や調べ物について気軽に相談できる	子ども連れで読み聞かせしたり遊んだりできる	家族や友人などと相談しながら調べものや学習ができる	会話や交流を気軽に楽しむことができる	飲食可能なスペースがある	さまざまなイベントや講座に参加できる	綾瀬市の歴史や文化、特徴を知ることができる	図書館内で作品展示や鑑賞ができる	図書館に活動する市民活動やボランティアに参加できる	無回答
合計	476 100.0%	298 62.6%	124 26.1%	188 39.5%	69 14.5%	85 17.9%	50 10.5%	52 10.9%	217 45.6%	57 12.0%	40 8.4%	45 9.5%	13 2.7%	15 3.2%
会社員	153 100.0%	92 60.1%	41 26.8%	89 58.2%	14 9.2%	29 19.0%	19 12.4%	11 7.2%	79 51.6%	15 9.8%	14 9.2%	6 3.9%	3 2.0%	1 0.7%
公務員	25 100.0%	14 56.0%	8 32.0%	11 44.0%	4 16.0%	10 40.0%	2 8.0%	4 16.0%	11 44.0%	2 8.0%	1 4.0%	0 0.0%	1 4.0%	0 0.0%
自営業	20 100.0%	10 50.0%	5 25.0%	10 50.0%	6 30.0%	2 10.0%	1 5.0%	1 5.0%	8 40.0%	2 10.0%	2 10.0%	1 5.0%	1 5.0%	2 10.0%
高校生	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
専門学校・大学生等	11 100.0%	6 54.5%	7 63.6%	6 54.5%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	4 36.4%	0 0.0%	1 9.1%	2 18.2%	1 9.1%	0 0.0%
専業主婦・主夫	97 100.0%	66 68.0%	16 16.5%	22 22.7%	19 19.6%	19 19.6%	9 9.3%	17 17.5%	41 42.3%	16 16.5%	3 3.1%	12 12.4%	1 1.0%	6 6.2%
パート・アルバイト	85 100.0%	51 60.0%	23 27.1%	27 31.8%	12 14.1%	16 18.8%	14 16.5%	11 12.9%	36 42.4%	15 17.6%	6 7.1%	7 8.2%	3 3.5%	1 1.2%
無職	71 100.0%	50 70.4%	19 26.8%	17 23.9%	12 16.9%	7 9.9%	1 1.4%	7 9.9%	30 42.3%	7 9.9%	13 18.3%	16 22.5%	3 4.2%	4 5.6%
その他	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	8 100.0%	6 75.0%	3 37.5%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%

問2-2 充実してほしい資料

高校生、専門学校・大学生等を除くすべての職業で、趣味や知識の本の充実を最も望む傾向があり、高校生は小説やエッセイなど、専門書、専門学校・大学生等は小説やエッセイなどの充実を最も望む傾向がある

[3つまで回答]

	充実してほしい資料														
	合計	趣味や知識の本	小説やエッセイなど	専門書	児童書・絵本・紙芝居	辞書、事典、年鑑などの調べ物のための本	市や地域に関する資料・行政資料	外国語資料	大活字本・点字資料・ＬＬブック	電子書籍	雑誌	C D、D V D 等	館内P Cで見られる調べ物のためのデータベース	その他	無回答
合計	476 100.0%	330 69.3%	195 41.0%	149 31.3%	101 21.2%	45 9.5%	44 9.2%	12 2.5%	14 2.9%	42 8.8%	113 23.7%	56 11.8%	48 10.1%	9 1.9%	20 4.2%
会社員	153 100.0%	106 69.3%	53 34.6%	57 37.3%	37 24.2%	12 7.8%	16 10.5%	5 3.3%	1 0.7%	21 13.7%	38 24.8%	19 12.4%	20 13.1%	6 3.9%	3 2.0%
公務員	25 100.0%	16 64.0%	10 40.0%	11 44.0%	10 40.0%	1 4.0%	2 8.0%	1 4.0%	1 4.0%	2 8.0%	6 24.0%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.0%
自営業	20 100.0%	14 70.0%	5 25.0%	7 35.0%	3 15.0%	1 5.0%	2 10.0%	1 5.0%	0 0.0%	2 10.0%	4 20.0%	1 5.0%	2 10.0%	1 5.0%	2 10.0%
高校生	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
専門学校・大学生等	11 100.0%	6 54.5%	8 72.7%	7 63.6%	2 18.2%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	1 9.1%	0 0.0%
専業主婦・主夫	97 100.0%	73 75.3%	42 43.3%	15 15.5%	19 19.6%	13 13.4%	4 4.1%	2 2.1%	5 5.2%	4 4.1%	27 27.8%	13 13.4%	7 7.2%	0 0.0%	8 8.2%
パート・アルバイト	85 100.0%	59 69.4%	40 47.1%	22 25.9%	21 24.7%	7 8.2%	7 8.2%	2 2.4%	5 5.9%	6 7.1%	19 22.4%	9 10.6%	8 9.4%	0 0.0%	1 1.2%
無職	71 100.0%	48 67.6%	30 42.3%	24 33.8%	8 11.3%	7 9.9%	11 15.5%	0 0.0%	2 2.8%	5 7.0%	17 23.9%	9 12.7%	7 9.9%	1 1.4%	4 5.6%
その他	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	8 100.0%	5 62.5%	4 50.0%	3 37.5%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%

問2-3 充実してほしいサービス

すべての職業で図書館以外の施設での返却や予約本受渡しの充実を最も望む傾向がある（専門学校・大学生等は同率で電話やメール、チャット等による相談や調べ物の受付）

[3つまで回答]

	充実してほしいサービス												
	合計	電話や調べ物の受付	チャット等による相談	インターネットの提供	貸出機	利用者の専門家の紹介、利便性	司書の専門家の情報提供	展示や市民の興味関心に応じた展示	仕事やお金、健康などに暮らしに役立つサービス	子育て関連情報の提供	受渡書以外の施設での返却や予約本	図書館以外の施設でのボランティア向けの開催	その他
合計	476 100.0%	106 22.3%	113 23.7%	59 12.4%	82 17.2%	174 36.6%	81 17.0%	243 51.1%	22 4.6%	9 1.9%	37 7.8%		
会社員	153 100.0%	43 28.1%	30 19.6%	21 13.7%	24 15.7%	65 42.5%	36 23.5%	80 52.3%	9 5.9%	4 2.6%	5 3.3%		
公務員	25 100.0%	4 16.0%	8 32.0%	4 16.0%	4 16.0%	10 40.0%	8 32.0%	12 48.0%	2 8.0%	1 4.0%	1 4.0%		
自営業	20 100.0%	3 15.0%	6 30.0%	5 25.0%	6 30.0%	8 40.0%	3 15.0%	8 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 15.0%		
高校生	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		
専門学校・大学生等	11 100.0%	5 45.5%	2 18.2%	3 27.3%	2 18.2%	4 36.4%	1 9.1%	5 45.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		
専業主婦・主夫	97 100.0%	10 10.3%	20 20.6%	9 9.3%	13 13.4%	22 22.7%	15 15.5%	54 55.7%	3 3.1%	0 0.0%	15 15.5%		
パート・アルバイト	85 100.0%	19 22.4%	26 30.6%	7 8.2%	12 14.1%	32 37.6%	14 16.5%	43 50.6%	3 3.5%	4 4.7%	6 7.1%		
無職	71 100.0%	17 23.9%	19 26.8%	8 11.3%	20 28.2%	28 39.4%	3 4.2%	31 43.7%	4 5.6%	0 0.0%	6 8.5%		
その他	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%		
無回答	8 100.0%	3 37.5%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	3 37.5%	0 0.0%	6 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%		

問2-4 充実してほしいイベントや講座

会社員、公務員、専業主婦・主夫、パート・アルバイトは趣味などに関する市民向け講座やイベントの充実を最も望む傾向がある

[3つまで回答]

	充実してほしいイベントや講座											
	合計	子ども向けの おはなし会やイ ベン	学工作やブロッ グ体験型イベン ト(科	青少年向けの体 験型イベント(科	子育てや子ども に関する講座や 相	医療や健康に関 する講座や相談 会	仕事や起業、就 職に関するセミ ナーや講習会	情報やITを適切 に活用する力を 身につけるため の講座	地域文化や歴史 に関する講座、特 徴をイベントこ とができる展示や 展示、特徴を知 るイベント	趣味などに関す る市民向け講座 や	市民による学習 ・活動の成果の 展	無 回 答
合計	476 100.0%	114 23.9%	107 22.5%	63 13.2%	178 37.4%	84 17.6%	120 25.2%	91 19.1%	206 43.3%	26 5.5%	8 1.7%	35 7.4%
会社員	153 100.0%	46 30.1%	35 22.9%	24 15.7%	45 29.4%	44 28.8%	48 31.4%	30 19.6%	57 37.3%	7 4.6%	3 2.0%	5 3.3%
公務員	25 100.0%	11 44.0%	11 44.0%	7 28.0%	2 8.0%	2 8.0%	5 20.0%	6 24.0%	12 48.0%	1 4.0%	0 0.0%	1 4.0%
自営業	20 100.0%	4 20.0%	3 15.0%	1 5.0%	9 45.0%	6 30.0%	5 25.0%	5 25.0%	6 30.0%	1 5.0%	0 0.0%	3 15.0%
高校生	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
専門学校・ 大学生等	11 100.0%	2 18.2%	5 45.5%	1 9.1%	3 27.3%	4 36.4%	3 27.3%	5 45.5%	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
専業主婦・ 主夫	97 100.0%	17 17.5%	21 21.6%	9 9.3%	45 46.4%	6 6.2%	24 24.7%	8 8.2%	50 51.5%	6 6.2%	1 1.0%	13 13.4%
パート・ アルバイト	85 100.0%	23 27.1%	19 22.4%	14 16.5%	32 37.6%	13 15.3%	15 17.6%	16 18.8%	41 48.2%	5 5.9%	2 2.4%	3 3.5%
無職	71 100.0%	10 14.1%	9 12.7%	4 5.6%	37 52.1%	5 7.0%	18 25.4%	19 26.8%	33 46.5%	5 7.0%	2 2.8%	7 9.9%
その他	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	8 100.0%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	2 25.0%	2 25.0%	1 12.5%	2 25.0%	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%	3 37.5%

問2-5 充実してほしい施設・設備

ほぼすべての職業で、ソファ席、個人利用席、スツール席などの多様な閲覧席の充実を最も望む傾向がある

[3つまで回答]

	充実してほしい施設・設備																	
	合計	ソファ席、個人利用席、スツール	関心をひく開架書架	特集やテーマ別の配架などで興味	静かに集中できる静寂読書スペース	自習のための学習スペース	研究・仕事のための個人利用スペース	気軽におしゃべりや読み聞かせなどができる児童スペース	子どもが遊んだり、思い思いの形で本が読めたりするスペース	レ・アール・カンヌ置き場や子ども用トイレ	利用できるフリースペース	打合せ、イベントなど多目的に利用できるグループ	会話しながら利用できるグループ	端末利用者用PCや貸出用タブレット	セルフで受け取れるコピー資料を	自動貸出機や返却機、予約資料を	飲料や軽食などを購入・飲食できる休憩スペース	その他
合計	476 100.0%	269 56.5%	52 10.9%	160 33.6%	112 23.5%	42 8.8%	50 10.5%	87 18.3%	37 7.8%	38 8.0%	41 8.6%	22 4.6%	91 19.1%	190 39.9%	7 1.5%	19 4.0%		
会社員	153 100.0%	92 60.1%	11 7.2%	52 34.0%	42 27.5%	21 13.7%	15 9.8%	28 18.3%	17 11.1%	9 5.9%	12 7.8%	6 3.9%	30 19.6%	68 44.4%	2 1.3%	3 2.0%		
公務員	25 100.0%	15 60.0%	2 8.0%	10 40.0%	9 36.0%	0 0.0%	5 20.0%	9 36.0%	5 20.0%	1 4.0%	1 4.0%	0 0.0%	5 20.0%	6 24.0%	1 4.0%	1 4.0%		
自営業	20 100.0%	11 55.0%	5 25.0%	5 25.0%	4 20.0%	5 25.0%	2 10.0%	6 30.0%	0 0.0%	2 10.0%	1 5.0%	1 5.0%	1 5.0%	6 30.0%	0 0.0%	2 10.0%		
高校生	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%		
専門学校・大学生等	11 100.0%	8 72.7%	4 36.4%	6 54.5%	4 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	3 27.3%	3 27.3%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%		
専業主婦・主夫	97 100.0%	59 60.8%	8 8.2%	26 26.8%	16 16.5%	4 4.1%	11 11.3%	20 20.6%	4 4.1%	10 10.3%	7 7.2%	4 4.1%	15 15.5%	40 41.2%	3 3.1%	6 6.2%		
パート・アルバイト	85 100.0%	43 50.6%	8 9.4%	26 30.6%	25 29.4%	5 5.9%	15 17.6%	17 20.0%	9 10.6%	7 8.2%	12 14.1%	5 5.9%	20 23.5%	28 32.9%	1 1.2%	2 2.4%		
無職	71 100.0%	30 42.3%	13 18.3%	31 43.7%	10 14.1%	6 8.5%	2 2.8%	7 9.9%	1 1.4%	7 9.9%	4 5.6%	2 2.8%	12 16.9%	32 45.1%	0 0.0%	5 7.0%		
その他	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%		
無回答	8 100.0%	7 87.5%	0 0.0%	3 37.5%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	2 25.0%	5 62.5%	0 0.0%	0 0.0%		

問1-3 図書館(本館)を利用しない主な理由

「その他」の内容

項目	内容
他市(海老名市、大和市、藤沢市)の図書館を利用している	図書館は無いと思っていたので大和市のシリウス図書館に行っていた 綾瀬市に図書館があることを知らなかった。海老名の図書館を利用している 海老名図書館の方が利用しやすいから 必要な書籍、資料が無い場合が多く、近隣の図書館(海老名市、大和市)を利用する事になっている。学生の学習調べ資料自身の調べ物の為の書籍足りる事も無く尋ねて分からない場合ばかりで役に立つ事が無い 海老名市、大和市の図書館を利用している 大和市のシリウスを利用している 湘南台図書館の方が良い環境である為 大和市シリウスの方が近いし、綾瀬市民でも借りることができる 他市の図書館で借りる 海老名図書館が活気があり、おしゃれだし、スタバもあり、駅やららぽーと、飲食店も多数あるので、魅力的でそちらに行ってしまう 大和市立図書館を利用している
図書館の場所が分からなかった	場所がわからない・知らない(同様9件) 転居したばかりである 今年転居してきた為
図書館を知らなかった	図書館の存在を知らなかった(同様4件) どのような施設で、何があるのか知らなかった
コロナ禍の影響	コロナ禍だったため(同様2件) コロナ前は1週間に一回は利用していた コロナ以降利用しなくなった衛生面が心配
駐車スペースが少ない	いつも駐車出来ない 駐車場が狭い 隣接駐車場が少なすぎ、大駐車場までは遠い 駐車場スペースが少なくとめづらい
図書館まで遠いから	自宅から遠いため(同様3件) 数年前までは、よく利用してました高齢になり、自転車移動をやめ、徒歩か数年前までは、よく利用してました高齢になり、自転車移動をやめ、徒歩かバスになった為、通う回数が減ってしまったコミュニティバスも割引あるといえども、回数多くなると経済的ににも大変
自身の体調が良くない	病気による 身体的な事情 自分では読む事が出来ない
分室を利用している	本館ではなく分室利用している 別館が近くにある いずみ会館を利用している
閉館時間が早くて利用できない	閉館時間が早いので間に合わなくてあきらめる 閉館が早い
図書館の周辺に何も無いから	図書館のまわりに何も無い
どんな本があるか分からないから	読みたい本があるかわからないから

問2-2 充実してほしい資料

「その他」の内容

項目	内容
漫画本	まんが本読書コーナーの設置。まんがも資料として読みたい
	ストーリー展開がワクワクする漫画
	大和シリウスのように漫画など
	コミック
漫画本、試験対策の本	漫画、資格試験
試験対策の本	大手企業別入社試験対策
中高生向けの本、ネット上で話題の本	中・高生向けの本。ネットで話の本
写真集	写真集
過去の新聞	過去の新聞

問2-3 充実してほしいサービス

「その他」の内容

項目	内容
子供の一時預かりサービス	大人が本を選ぶ間だけ、子供の預かり
	他の人に迷惑がかからないように囲われたキッズルームの様な空間が無いと小さい子を連れて行けない
PCやネット上での書籍検索	PCで本を検索しやすく、せめてすべての本の画像が表示されるよう確認しやすくしてほしい
	蔵書リスト(オンライン)
近隣の市も含めた地域情報	近隣の市も含めた地域情報
法律や税に関する相談コーナー	法律や税に関する相談コーナー
SNSを利用した情報提供	SNSを利用して新入荷やオススメ作品などをジャンル別でお知らせする
新着情報	新着情報
静かな環境の提供	利用者が適切な利用時間かつ騒がしくならないような試み

問2-4 充実してほしいイベントや講座

「その他」の内容

項目	内容
市内公立校との連携	市内公立校との連携
古本配布のイベント	古本をもらえるイベントをまたやってほしいです
「静かにしなくても良い」イベントを数ヶ月に1回程度で良いので実施	赤ちゃん(子供)開放Day静かにしてられない子や人と会話しながら本を読みたい人向けの『静かにしなくても良い日』を作してほしい2~3ヶ月に1回等開放日は少なくとも良い。
読書愛好家の交流イベント	読書好きな人と知りあえるイベント
キーワードから関連本を見つけるなど、本を使ったゲームイベント	キーワードを2、3つ挙げて関連する本を見つけ出すなどの本を使ったゲーム的なイベント
図書館の役割や読書の魅力を伝えるもの	図書館の役割や必要性、読書のよさの普及
税金や相続、介護などの個別相談	税金や相続、介護などの個別相談
障害者も参加できる講座やイベント	障害児や障害のある人でも参加できる講座やイベント

問2-5 充実してほしい施設・設備

「その他」の内容

項目	内容
駐車場の整備	駐車場
	返却者専用等の短時間利用駐車スペース
	駐車場スペースの拡大
居心地の良い環境整備	太陽の陽ざしが自然に入る明るい雰囲気・・・たくさんの座われる椅子
	自然を感じながらのゆったりと読書ができるスペースで子供の騒ぎ声が聞こえないスペース。
交通手段の充実	交通手段の充実。バスがない。
ネットワーク環境の整備	光回線かwifi

資料3.2各種ヒアリング結果

3.2.1 綾瀬市の図書館を考える会（元会長1名、元副会長1名）

質問項目	分類	内容	
1.「あやせの図書館を考える会」を通じて、目指すべき図書館像や必要な機能について、多く挙げた意見			
	図書館像	子どもから高齢者まで誰もが利用しやすい	
		幅広い世代に来てもらう	
		平日の日中に人が自然と集まる	
	サービス	資料の貸出のみならずレファレンスをPRする	
		本を借りるだけではなく情報を得られたり、交流を図れたりするサービスがあればもっと良くなる	
	施設・設備	ゾーニングを意識した配架やレイアウトができると良いのでは	
		座席がもっとあると良い	
		照明がもう少し明るく温かいほうが良い	
	2.現在の図書館サービスの具体的な良さや強みについて		
強み	資料	読みたい資料をすぐ借りることができる	
	サービス	おはなし会、アウトリーチのサービスを積極的に行っている	
		リクエストした本をすぐに手に入れてくれる	
		利便性の悪さをカバーするための電子図書館も綾瀬市ならではの	
職員	職員の対応が良い		
	問題点	資料	電子図書館の資料とユーザーのニーズがうまくマッチングしていないのではないか
		サービス	良いサービスを行っているので各サービスをPRした方が良い
			目的を持ったユーザにとっては良い図書館だがふらっと立ち寄る図書館ではない
3.基本構想を策定するにあたり、盛り込みが必要と考えられるサービス面・施設面での具体的な取組みについて			
	サービス	郷土資料収集と合わせて、綾瀬の魅力を発信（小学校とのコラボ？）	
	施設・設備	タウンヒルズ等生活動線上に返却BOX設置	
		子連れの親がリラックスできる、動画を視聴できる場所がある	
		一人でゆっくり過ごす、色々な人と交流する、子どもが遊んでも大丈夫等利用の仕方に応じた棲み分け	
		市民参加	市役所や市民団体とコラボした交流の場の図書館（例：普段あまり図書館を利用しない層への講座、相談会、体験会）
	その他	図書館という名称は、本を読む場所という印象が強いため、他のネーミングを考えても良いのではないかと	

※ 下線は複数意見(以下同様)

3.2.2 図書館職員（4名）

質問項目	分類	内容
1. 本館・図書室の現状及び課題等		
施設に関する問題点	全体	建物の老朽化は否めない 採光や換気なども過不足に感じる
	各スペースの規模・配置	(閲覧、書庫、事務室、学習室など) 全てのスペースにおいて手狭
		全収蔵能力に対する開架スペースが少なく、除籍が必要であり、まだ新しい本でも閉架書庫に入れなければならない
		収蔵スペース、おはなしのへや、授乳室、会議室、飲食スペース等がない
		ベビーカー置き場がない
		郷土資料室を閉めて授乳室として使用している
		大人が利用する席付近にYAコーナーがあり、学生たちが座って読書等を行うことができない
		子ども向けの調べ物スペースがない
		イベント等を行えるスペースがなく、公民館を借りようとしても他グループが利用しており、難しい
		アウトリーチ用の作業場所がなく、通路に物を置いており、防災上も懸念がある
		カウンターと事務室が離れている
		職員のデスク・PCがない
		事務所内で休憩と作業スペースが混在しており、応接や打合せ用のスペースがない
	バリアフリー	エレベーターがない 高齢者や障がい者、ベビーカー利用の親子が2階に行くには階段しかなく不便
	駐車場	図書館専用駐車場、通送車用駐車場がない
	その他	複合施設であるが公民館と別棟であるため、公民館で事業を行っても図書館の利用に繋がりにくい
力を入れているサービス	利用者サービス	第3次綾瀬市子ども読書活動推進計画に基づいた子ども読書関連サービス 高齢者サービス 地域連携サービス 各種講座の企画運営
		書庫開放日
	資料提供	農業・工業関連資料の収集に重点を置いているが、資料を活かすコーナー作りまでは行えていない
	他施設との連携	学校連携(資料の貸出等)
	その他	市民にデジタルアーカイブ資料の提供を呼びかけているが、事業が浸透しておらず収集が困難

2. 今後の綾瀬市の図書館に求める機能等		
本館・図書室の役割やサービス	役割	「来館したくなる魅力のある図書館」づくり
		アウトリーチではなく来館・利用してもらえるようにシフトチェンジ
		本館は郷土資料や参考図書の充実と収集・保存の強化
		3つの図書室のうち、1ヶ所でも分館と呼べるような規模があると良い
		図書室は分館程度のサービス提供が可能な規模に
	サービス	市民に寄り添う運営及びサービス
		高齢者や障がい者に対するサービス(イベント等)
		障がい者サービスの対象者の拡充
		ビジネスマンやOL向けの講座等の開催
実現に必要な蔵書や施設	資料	郷土資料、地域資料の充実
		現在は資料の70%が書庫にあるため、開架率50%程度を目指したい
	施設規模	施設の十分なスペースの確保
		一般、学生、児童でのコーナーの棲み分けができる規模
	各スペース	保護者向けコーナー・赤ちゃん向けコーナー向けスペース
		イベントが開催できる独立した部屋
		学習室・授乳室
		学習室の席数は建物面積による
		必要最低限のものやスペース
		YA世代向けのカフェ
	設備	子どもが利用しやすい安全安心なトイレ
		エレベーター
	分室の規模拡大	図書室が分館程度の規模であれば、各館で注力するコーナーを設けて棲み分けができる
	他施設との連携可能性	教育機関以外の施設(病院、鉄道会社、商業施設、福祉的就労施設等)
		既存連携施設との「配本」から脱却し、それ以外の(図書館にとっても連携といえる)発展的な連携
		隣の病院に、図書館の文庫のようなものを設置
		市に鉄道の駅がないことから商業施設やバス会社と事業を一緒にやりたい
		夜間利用者向けのバス

3.2.3 ボランティア団体（読み聞かせ6団体、布絵本1団体）

質問項目	活動内容	分類	内容
1. 普段活動する上での問題点・課題等			
	読み聞かせ	会員	会員の高齢化
			メンバーが3人のため、会員の急な休み等の対応が厳しい
		参加者	開催を週末に切換えても、参加人数は1～2組
			参加者が減少し、継続参加がない
			子どもたちが忙しく来る時間がない
			ゲーム映像を好み、おはなし詩集を耳で聞き想像することが難しくなっている
		活動内容	子ども達を楽しめるプログラム作り、参加者皆が良い時間と思えるように努めている
			参加者の年齢予測がつきにくいいためプログラムの内容設定が難しい
			当日図書館で声がけする、プログラムを置くなど周知に努めている
	コロナ禍以降は、おはなし会まつりがなく、他の図書館ボランティアの様子が分からない		
資料	大型絵本、パネルシアター等の貸出を電話でも仮受付をして頂くと助かる		
スペース	研修場所がない		
その他	子どもと参加してくれる大人に活動に関心を持ち理解してもらう事が大事		
布絵本展示及びワークショップ	スペース	コロナ禍以降、商業施設での作品展示ができない状況	
2. 今後の活動と市立図書館との連携、市全体の図書館サービスの在り方についての意見等			
	読み聞かせ	連携	以前は担当職員が活動状況を見に来る等コミュニケーションを取っていた。その上で手伝えることがあれば協力をしたい
			会員が休みの場合等、職員さんに参加してもらっている
			活動は必要とする人がいてこそなので、行きたいと思わせる魅力的な図書館づくりが必要
		アウトリーチ	現在は子ども向けだが、施設・病院などへの出張等活動の幅を広げる方法もあるのではないかな
			生活が多様化している中、こちらから出向いていくことも必要
		スペース	紙芝居コーナーの資料を取り出しやすくしてほしい
			おはなし会室、会議室、充実した学習室が必要
		バリアフリー	エレベーターが必要、せめて中央公民館と図書館を2階でつないでほしい
		駐車場	図書館近くに駐車スペースがほしい／駐車場が必要
	その他	やりがいを感じ楽しく活動している	
布絵本展示及びワークショップ	スペース	20数年、作り続けてきた数々の作品（布絵本以外）をどこかに常設展示できないか	

3.2.4 図書館個人ボランティア（10名）

質問項目	活動内容	分類	内容
1. 普段活動する上での問題点・課題点等			
	ブックスタート	活動内容	ブックスタートで育児アドバイスを求められることがあり、時間に制限されずじっくりお母さんと話せたらと思うことがある
		スペース	4名の担当者と読み聞かせをするため、もう少し広い空間を用意してほしい
		その他	問題点も課題もまったくない
			4か月健診時に対面で行っているのは、非常に良い
			多くの市民や関係者等にブックスタート(赤ちゃんが泣き止む、お母さんが励まされる、読書活動の入口、図書館利用の促進)を見てほしい
	読み聞かせ	参加者	対象者が少なく、予想外に年齢が低い
		活動内容	本の持ち方・めくり方に悩んでいる
		その他	担当職員以外の職員にも活動の様子を見てほしい
	対面朗読	活動内容	対面朗読の資料を前もって見せてもらえず、初見で読まなくてはならなかったため、厳しい面があった
			利用希望がないと活動できず続かなかった
		その他	10年程前に、視覚障がい者の方から、来館が困難なため、あまり利用がないと聞いた
2. 今後の活動と市立図書館との連携、市全体の図書館サービスの在り方についての意見等			
	ブックスタート	サービス	乳幼児期からの啓蒙に力を入れていけば良いのではないかと
			新刊もあり、展示にも工夫が見られ、利用していない市民にもっと知ってほしい
		各スペース	図はなし会室
			職員との打合せや研修の場としての会議室
			学習室
		バリアフリー	エレベーターの設置
	駐車場	駐車場の充実	
	その他	本に親しむ機会を提供していることに、とてもやりがいを感じる	
		図書館の職員と連携をとりながら、ボランティア活動をしていきたい	
	読み聞かせ	活動内容	「大人に語るおはなし会」も続けてほしい
各スペース		図はなし会用の部屋を作ってほしい	
		DVDを視聴できる図書館もある	
その他		子どもたちの思いを聞いて、元気をもらっている	
対面朗読	その他	図書館の冷房が効き過ぎている	
	その他	ボランティアとして役に立てることがあれば、手伝いたい	

3.2.5 学校司書（小学校 10 名、中学校 5 名）

質問項目	分類①	分類②	内容
1. 学校図書館の業務及び市立図書館との連携について			
	団体貸出・ 学校支援貸出		授業利用時等に資料を提供してもらえることで助かっている
			団体貸出を依頼すると、スムーズに選書してもらえる
			団体貸出の選書も素晴らしく、自校の選書の参考になった
			授業とは別の図書室展示等でも利用してみたい
			資料の配送をしてほしい
			市立図書館から本を持ち帰るのに人力で行うため、運送便等があるとうれしい
			資料の貸出・返却に図書館に行く必要があると聞いており、利用しやすくしてもらいたい
			コンビニや駅等で返却できるように、使いやすくしてほしい
		市立図書館が遠いので、利用しづらい	
	その他サービス		本のことだけでなく、管理等の相談もでき心強い
			きめ細やかな対応に感謝している
			POPコンテスト等のイベントは、生徒たちの励みになっていた
	システム		市立図書館とシステム連携がされておらず、蔵書検索がしづらい
			連絡手段がTELかFAXしかないため、実際には担当者とLINEで連絡している
	その他		可能な限りの予算をつけてもらえると、図書室の魅力向上につながる
			市立図書館にはほとんど行かない子が多く、もったいない
2. 児童・生徒及び教員の利用傾向			
児童・ 生徒	学校図書館の 利用状況		児童はよく利用していると教員から聞いた
			低学年の利用が多いが、中学年や高学年でも必要としている児童はいる
			授業で来ている子や、高学年でも本の好きな担任がいる場合は利用する子も多い
			読書好きの子が来館しており、あまり読まない生徒は主に国語の授業がないと利用は進まない
			読書好きの子（先生）が主に来室しているように感じる
			高学年になるにつれ利用が減少する
			高学年は児童も教員も忙しいので、こちらからの投げかけが必要
			図書室の前の6年生の利用が多く、6年生が1年生に図書室の使い方を教える姿がみられた
	利用が多い本		学習まんが／TVアニメの本／ゲームキャラクターの本／文庫／こわい本／おり紙／料理／図鑑／スポーツ／ヨシタケシンスケの本／映画の原作本／YA分野の本
		市立図書館の 利用	
	その他		当校は学校図書館の場所が教室から遠く利用しづらい

	教員	利用状況	国語科と、カウンセラー、支援級の教員の利用が多い
			中学校での利用は国語等に偏っている
			読書好きの先生が主に来室しているように感じる
			あまり利用しない
		利用方法	本好きの教員は関連図書をクラスに貸出し、クラスに配架している
			福祉関係、修学旅行
			授業利用する時に突然の申出が多いように感じる
			支援級の授業での利用はあったが、多く利用されているわけではない
		市立図書館の利用	市立図書館を利用している話は聞かない
			図書館担当教員が学校及び市立図書館の利用について明るいので、学校として市立図書館の利用は多いのではないかと
		その他	学習時期や学習内容を把握し、教員と連携を図っていきたい
			総合等での利用も必要ではないか
分類の授業で2年生の先生がとても熱心で驚いた			
学校図書館の足りない本を市立図書館に借りに行くことで、先生方から感謝されている			

3. 今後の市立図書館との連携や市全体の図書館サービスの在り方について			
今後の市立図書館との連携	団体貸出・学校支援貸出	勤務中に市立図書館まで行くことができないので、学校図書館では対応できない調べ学習の本等、利用したい本を毎月届けてくれて、学校で返却できるようなサービスがほしい	
		貸出・返却が楽にできるようにしてほしい	
		資料の配送があると良い	
	配本	定期的な配本（貸出）があると良い	
		配本回数が増えると良い	
		年1回の配本が2回になるとなお良い	
	その他サービス	どのような選書をすれば良いか考えてしまうことが多いので、市立図書館の司書に教えてほしい	
		大和市のスーパーバイザーのような方がいると良い	
		市立図書館の本（リサイクルなど）もどんどん学校に回してほしい	
	学校間連携	学校間の本の貸し借りもあるとより利用しやすくなる	
		学校図書館と市立図書館だけでなく、他の学校図書館も含め「綾瀬市の本」として貸出のやり取りがスムーズにできる仕組みがあると便利	
		各学校間をネットワークでつないでもらいたい	
		市と各学校のシステム連携が図れると相互貸借や、他館の配架状況等を参考にできるので、取り入れてほしい	
	市全体の図書館サービスについて	蔵書	予約をしても人気の本は半年以上待つことが多く、もう少し冊数が増えるとうれしい
		駐車場	綾瀬市の図書館は駐車スペースが遠い
		その他	今の状況でとても助かっている

資料3.3市民ワークショップ結果

3.3.1 開催概要

ワークショップは、初めに全体で「指針」の「目指す図書館像」やワークの進め方を共有した上でワーク、発表の順番で行いました。

子育て・働き盛り世代のワークでは、参加者は2～3名ずつ4グループに分けられました。ワークは2部構成とし、第1部では CUT-UPS（自分が思い描くイメージに合う写真や文字を雑誌等から切り取り、並べ替える作業）を通じて「目指す図書館像」をイメージしました。続く第2部では、その実現に必要な資料・サービス・スペース・市民協働方法等について考え、付箋を貼付しました。

高校生を対象にしたワークショップでは、6人1グループで事例を参考にしながらミライの綾瀬市の図書館の具体的内容について付箋を使ってアイデア出しをしました。

表1 「市民とともに作る図書館ワークショップ」概要

項目	子育て・働き盛り世代	高校生
開催日	令和5年10月22日(日)	令和5年11月15日(水)
テーマ	ミライの図書館をカタチにすると？	ミライの図書館であつたらいいな！ できたらいいな！
対象	市内在住・在勤・在学者(18～50歳)	綾瀬高等学校・綾瀬西高等学校の生徒
場所	市役所6階視聴覚室	市役所3階会議室
募集方法	公募 ※広報： ・掲載媒体：広報あやせ 9月15日号等 ・Web掲載：市HP・市ネットニュース等 ・その他：市民アンケート2,000通にチラシ同封、 公募委員候補者名簿登録者(生涯学習分野該当年齢者)に個別案内送付等	各高等学校へ依頼
参加者	合計12名 20歳代：2名 30歳代：5名 40歳代：5名	合計6名

子育て・働き盛り世代のワークの様子



開会



「指針」内容等説明



第1部(綾瀬のミライの図書館は?)



第2部(ミライの図書館をカタチにすると?)



ワーク結果発表

高校生のワークの様子



進め方の説明と各自アイデアを付箋に記入



グループ内で意見交換



結果発表に向けたまとめ



ワーク結果発表



生涯学習課長挨拶

3.3.2 結果概要

(1) 子育て・働き盛り世代

全4グループに分かれてのワークでは、より幅広い層にとっての図書館の使いやすさの実現や、新たな利用者の獲得に向けて、ユニークなアイデアが出されました。

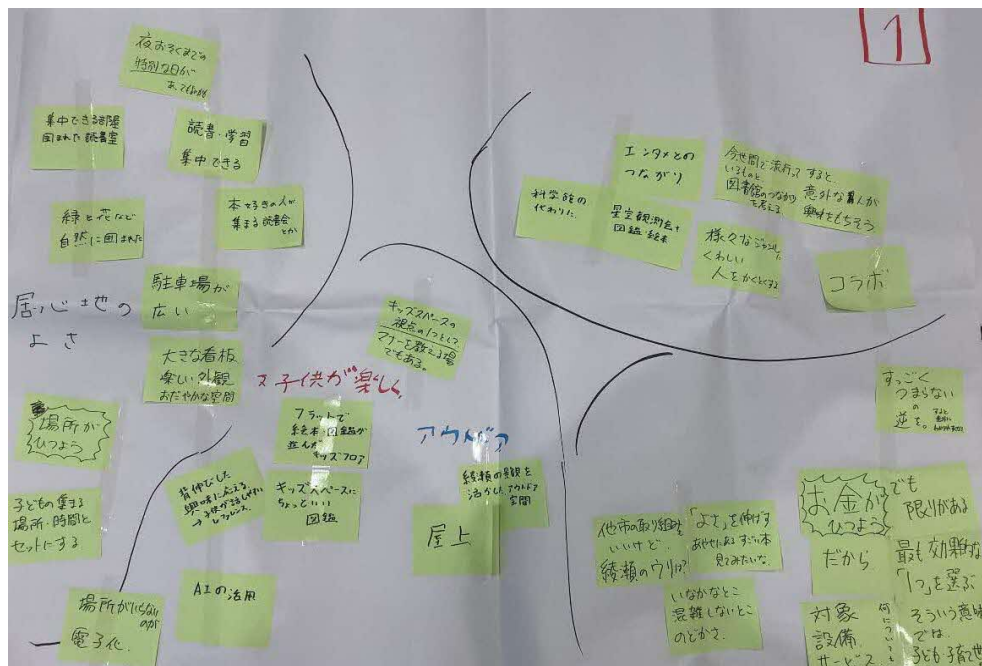
① 各グループの意見

1グループ

- 図書館の使いやすさや、図書館が今まで本に興味なかった人とつながること、新しい利用者をどう獲得するかなどにフォーカスして話し合った。
- 色々な方面に手を広げると予算的に苦しくなると考えると、ターゲットを絞るのも良い。
- 素敵なりフレッシュスペース、建物の屋上や明るいところで本が読めるのは楽しい。本を大事と思う人たちが集まる会やイベントも面白い。
- キッズスペースは、子どもたちが安心して楽しめるように階を分けるとともに、図書館のマナーを学ぶ場への配慮も必要。
- 駐車場の間口は広くして、イメージだけでなく、設備としての使いやすさも重要。
- 電子書籍は場所・空間が必要ないため良いと思う。綾瀬市の良さであるのどかさや、人との関わり面で安心できる場所を大事にできると良い。



第1部の模造紙



第2部の模造紙

2グループ

- 図書館は非常に堅苦しく、少し清潔感に劣るところがあるとの印象があるが、重要なのは子どもにたくさん来てもらうこと、SNS などを使って外からの来館者を増やすこと、なるべく長時間いてもらえるように内観・外観を整備することなどを考え、3つを分けて検討。
- 子どもは最近あまり本を読む機会がないという話を聞くので、なるべく本を読むようにするために、本を探す方法を教えること、保育園・幼稚園・小学校で図書館を見学する機会を設けるなど、なるべく本に触れる機会を増やすことが大事。例えば好きなキャラクターが来てくれたり、野球で優勝した横浜高校の人が来て野球の話すれば野球少年がきて、野球の本を紹介すれば必然的に読むようになる。
- 内観と外観に関しては、自分は海老名の図書館に行ったことがあるが、近代的な図書館で、縦に本が並んで都会的と感じた。無理にそこに合わせる必要はないが、なるべく落ちつきがあり、カジュアルでカフェ的な感じのデスクや椅子があり、みんなが和気あいあいと落ち着いて作業や本が読める空間を作れば良いと思う。
- 海老名や大和の外観はあまり力を入れていないイメージがしたので、季節によって咲く花を変えてみるのはありと思う。茨城の日立海浜公園は春先にネモフィラが咲き数十万人が来るなど、それだけでPR にもなるので、SNS や冊子でこの季節はこういう花が咲きますなどをアピールすると、インスタ映えとかにつながる。
- エンタメ面では、おすすめの本や、最近人気のバスケの本、たくさんノミネートされた芥川賞候補作家の本などを揃え、難しいかもしれないが綾瀬市の有名人、例えば志田未来さんに情報発信していただくというのも良いと思う。またアーティストや漫才師を呼んで図書館というのはこういう所だとPR してもらうのも良い。



第1部の模造紙



第2部の模造紙

3グループ

- 使いやすい図書館とするためには、綾瀬の自然などを活かしたリフレッシュスペースや、目を休めて遠くを眺め心が落ち着くスペースが良い。子ども向けの本を充実して赤ちゃんがいても安心できるスペースがあることも重要。
- 専門性を持ったスタッフがいて、話題になるコスプレや制服コスプレも面白い。



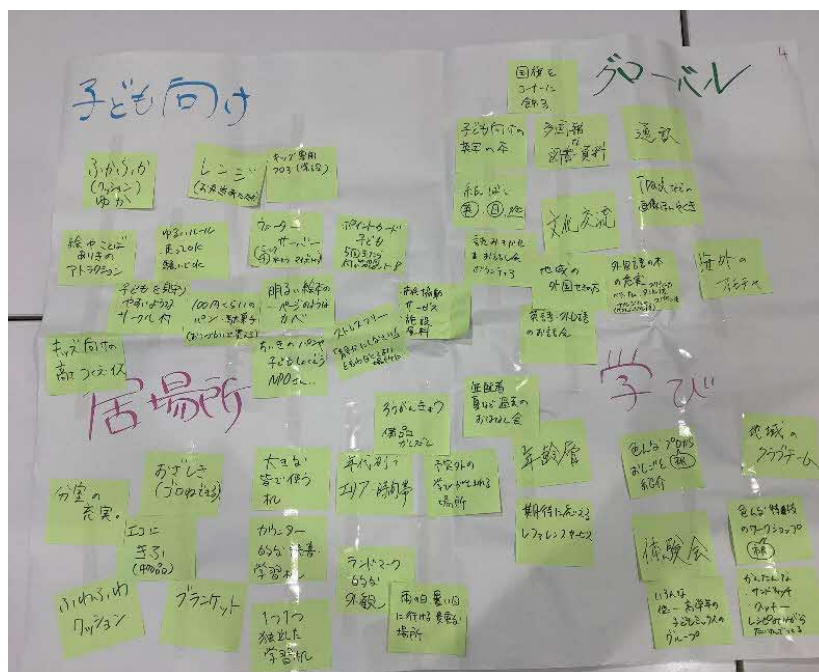
第1部・第2部の模造紙

4グループ

- 子ども向け、居場所、グローバル、学びの4つの柱に関していろいろ案を出した。
- グローバルは、綾瀬は基地があり、学校には色々な国籍の子がいるので、小さいうちから外国語の本に触れるのも大事だが、外国の子どもたちや大人とコミュニケーションをとることが、将来の生きた経験になると思うので、国籍豊かな図書・資料と通訳が重要。図書・資料は子ども向けの英字、絵本であり、翻訳に関しては、子どもでも翻訳しやすいように iPad を使うとか、外国籍の方をお呼びしておはなし会や文化の話を聞けたら良い。
- 学びに関しては、本からだけでなく体験会、例えばスポーツであれば地域のクラブチームのコーチを呼んでお話をしてもらい、そのスポーツに関する本を読む。お料理であればレシピ本を読みながら、小さい子であれば図を見ながら、年齢や学年問わずのグループで簡単にクッキーを作るなど、本と文字、絵がリンクした実体験を通して学べたら良いと思う。年配者にご協力いただけるのであれば、過去の戦争体験とか昔の遊びとか、子どもたちが経験できないことを伝えていただけたらすごく良い。
- 子ども向けには、ふかふかのクッションや、母親が気を使わずに子どもと過ごせる場所も重要。
- 居場所に関しては、色々な形の机や椅子があつてのびのびと本を読める環境と、逆にきちっと学習ができるようなスペースを設けて欲しい。暑い日や雨の日もいつでも気軽に行けるような図書館にしてほしい。



第1部の模造紙



第2部の模造紙

② 意見一覧

各組の発表内容を全般、施設、資料、サービス、運営に大別し集約すると、下表のとおりとなります。新図書館の在り方全般に係るアイデアとして、グローバルで先進的、綾瀬市の特長を出す、子ども・子育て世代をメインターゲットとする等があげられました。

施設面では、ランドマークとしての図書館の実現や、特に子ども及び親子が利用しやすい児童コーナー、飲食・休憩のためのスペース、多様な閲覧席等へのニーズがあげられました。また、資料・サービス面では、多文化共生を推進するための外国語資料の提供や外国語のおはなし会、未利用層の利用につながるおすすめ本の紹介やイベントについてのアイデアもあげられました。その他、他施設や市民と連携した幅広い取り組み等も求められています。

表2 意見集約

分類		内容
全般	位置づけ	暮らしの一部／便利／雨の日・暑い日に使える／遊び心／グローバルで先進的
	綾瀬市らしさ・対象	綾瀬のウリ／最も効果的な「1つ」／子ども・子育て世代
施設	規模・デザイン等	広く使われやすい／ランドマーク的な外観／穏やかな空間／時期による雰囲気
	ゾーニング・居心地	年齢別／子どもの空間と大人の空間／1日中いられる／気軽に行ける
	バリアフリー	高齢者や車椅子の人でも使いやすい
	閲覧スペース	集中できる囲まれた読書室／個室
	児童スペース	キッズフロア／絵本の壁／クッション床／遊べる／赤ちゃんがいても安心
	飲食・休憩スペース	休憩・リフレッシュスペース／お座敷／レンジ／ウォーターサーバー
	家具等	デスク＋椅子の充実／大きな机／居心地の良いソファ／カウンター机 独立した学習机／キッズ向け／ふわふわクッション／ブランケット／国旗を飾る
	外部・駐車場	屋上／アウトドア／緑と花／インスタ映え／ドライブスルー／駐車場が広い
資料	最新資料	トレンドを取り入れた書物
	児童資料	子ども向けの本の充実／ちょっといい図鑑
	地域資料	綾瀬にあるすごい本／映画原作／地域の習い事等の情報
	外国語資料	外国語の本／子ども向けの英語の本／紙芝居／他の国の電子書籍
	その他	電子化／オーディオブック／まんがやサブカルの本／古本
サービス	レファレンス	期待に応えられる／子どもが話しやすい／AIの活用
	児童サービス	悩んだときに情報を発信してもらえる／AIの活用／マナーを教える
	アウトリーチ	通訳／画像翻訳機／海外のおもちゃ
	展示	職員による特集の多様化・オススメ紹介／POPを充実

分類		内容
サービス	行事・イベント等	読書会／おはなし会(外国語・青空・年配者)／体験型(ゲーム・星空観測)／アーティスト・芸人・スポーツ選手・キャラクター／趣味／文化交流／リサイクル／図書館見学
運営	職員	プロのスタッフ／カッコイイ制服
	開館時間・利用規則	夜遅くまでの特別な日／緩いルール
	広報・利用促進	積極的なPR／ポイント
	連携	クラブチーム／パン屋・子ども食堂・NPO／エンタメ／色んな特技の市民 外国籍の方／団体／ボランティア／国内外の図書館／分室の充実／寄付

表3 意見一覧

大分類	中分類	内容
全般	位置づけ	・ 日々の暮らしの一部になる図書館 ・ 便利な図書館 ・ 雨の日、暑い日に行ける貴重な場所 ・ 遊び心のある図書館 ・ すぐくつまらないの逆を。すると意外に分かりやすくなる ・ グローバルで先進的な図書館
	綾瀬市らしさ	・ 他市の取り組みもいいけど、綾瀬のウリは？田舎などこ混雑しないとこのどかさ
	対象	・ 年齢層を問わず ・ お金が必要 でも限りがある だから 最も効果的な「1つ」を選ぶ - 対象・設備・サービス何についても そういう意味では、子ども・子育て世代かな？
施設	規模	・ 場所が必要 ・ 広く使われやすい図書館
	デザイン等	・ ランドマーク的な外観 ・ 大きな看板 楽しい外観 穏やかな空間 ・ 時期によって雰囲気を変える ←夏は花火 ホラー 春は桜 秋は月
	ゾーニング	・ 年代別でエリア・時間帯 ・ 子どもの空間(絵本)と大人の空間を完全に分ける(皆が居心地良く)
	居心地	・ 1日中いられる居心地の良い図書館 ・ お菓子が食べられるくらい気軽に行ける図書館
	バリアフリー	・ 高齢者や車椅子の人でも使いやすい図書館
	閲覧スペース	・ 集中できる部屋 囲まれた読書室 ・ 読書・学習 集中できる ・ デスクの間をパーティションで区切る等、個室のようなスペース
	児童コーナー	・ 子どもの集まる場所・時間とセットにする ・ キッズ専用フロア(常設) ・ フラットで絵本・図鑑が並んだキッズフロア ・ 明るい絵本の1ページのような壁 ・ ふかふか(クッション)な床 ・ 子どもを見守りやすいようなサークル付き ・ 赤ちゃんがいても安心するスペース ・ 赤ちゃん連れでも使いやすい図書館

大分類	中分類	内容
施設	児童コーナー	・ 小さな子どもが行きたくなる&リフレッシュできる 少し遊べるスペースを作る(内にも外にも) ・ 色んな子どもがミックスしたグループ(低年齢ー高学年) ・ 予定外の学びが生まれる場所
	飲食・休憩スペース	・ 休憩スペース ・ 目を休めて遠くを眺めることができるスペースがある ・ 綾瀬の自然の特色(バラ、富士山が見える等)を活かしたリフレッシュスペースを作る ・ お座敷(ゴロ寝できる) ・ レンジ(お弁当温め) ・ ウォーターサーバー(ミルク+水筒 マイボトル)
	家具等	・ 必要なもの 居心地の良いソファやデスク 広いテーブル ・ 落ち着きのあるデスク+椅子の充実 ・ 大きな皆で使う机 ・ 汚れても手入れしやすい椅子が沢山あること ・ カウンター的な読書・学習机 ・ 1つ1つ独立した学習机 ・ キッズ向けの高さの机・椅子 ・ ふわふわクッション ・ ブランケット ・ 老眼鏡 備品貸出 ・ 国旗をコーナーに飾る
	外部	・ 屋上 ・ 綾瀬の景観を活かしたアウトドア空間 ・ 緑と花等自然に囲まれた ・ 季節ごとに咲く花を紹介 ・ インスタ映え ・ ドライブスルーで利用できるカウンター(予約の本を受け取る)
	駐車場	・ 駐車場が広い
資料	最新資料	・ トrendを取り入れた書物
	児童資料	・ 子ども向けの本の充実する図書館 ・ キッズスペースにちょっといい図鑑
	地域資料	・ 「良さ」を伸ばす 綾瀬にあるすごい本見てみたいな ・ 綾瀬市のロケサービスと連動させ、映画原作や制作時のエピソードと合わせてピックアップする →有名人を活用 ・ 地域の習い事等の情報
	外国語資料	・ 多国籍な図書・資料 ・ 外国語の本の充実 スリランカ ベトナム タミル語 ブラジル(ポルトガル語)、スペイン語 ・ グローバル 外国の本は電子書籍中心でも…とにかく沢山！！ ・ 子ども向けの英字の本 ・ 紙芝居 英 日 スペイン ・ ネット上で他の国の図書館の電子書籍を見ることができる
	電子書籍	・ 場所がいらないのが電子化 ・ オーディオブックの新サービス
	コミック	・ まんがやサブカルの本が多数ある
	その他	・ 大きな規模の古本市場

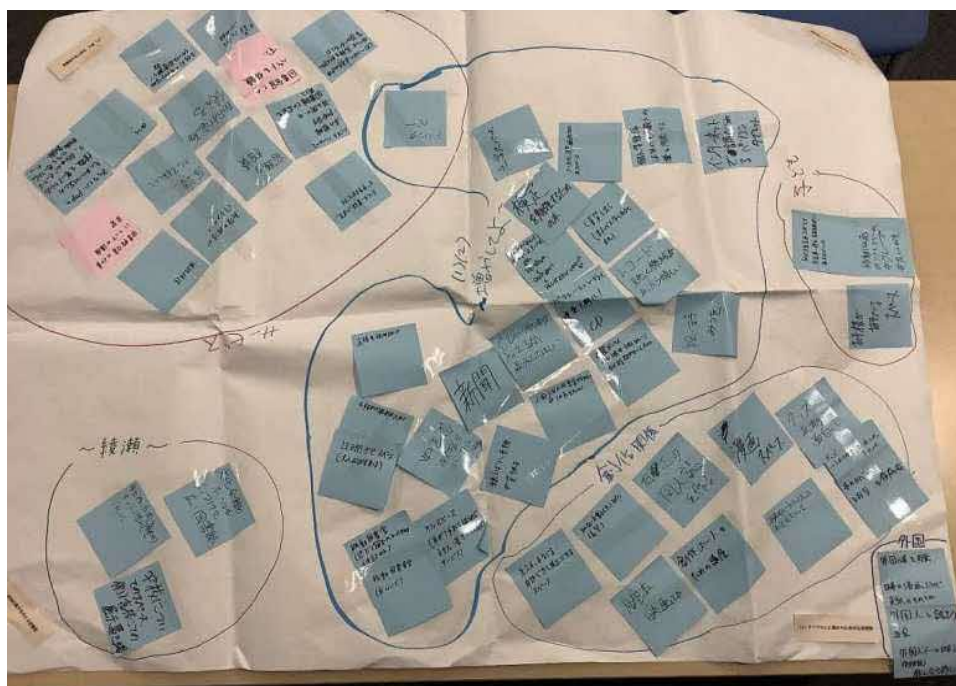
大分類	中分類	内容
サービス	レファレンス	・ 期待に応えられるレファレンスサービス ・ 背伸びした興味に応える→子どもが話しやすいレファレンス ・ AI 技術の活用(仮想人格、一緒に本を選ぶ楽しみ)
	児童サービス	・ 何か悩んだときに色んな世界がある。こんなに楽しいことがある、といったような選択肢を与えたり情報を発信してもらえるのが図書館。 ・ 何か悩んだら図書館へといったような場所になりたい ・ AI の活用 ・ キッズスペースの視点の1つとしてマナーを教える場でもある
	アウトリーチ	・ 通訳 ・ iPad 等の画像翻訳機 ・ 海外のオモチャ
	展示	・ 職員による特集の多様化 ・ 図書館員のオススメ紹介 ・ 本をあまり知らない人にも本好きになってもらえるような司書のオススメやベストセラー本の紹介 ・ 書店のように本ごとに POP を作り充実させる
	行事・イベント等	・ 本好きの人が集まる読書会とか ・ 年配者 夏等の過去のおはなし会 ・ 自然の中で読み聞かせ ・ 英語・外国語のおはなし会 ・ 科学館の代わりに 星空観測会+図鑑・絵本 ・ ファミリー向け&小学生向けに図書館探検イベントをしてマナーを守り楽しく利用できる教育をする！ ・ アーティストや芸人を招待 ・ キャラクターイベント(子ども向けのショー等) ・ 子ども達の未来をつくる ②創造の場を育てる図書館 →もっと図書館に気軽に来てもらえるようなイベントを開催 ex)有名絵本作家がやってくれる読み聞かせ会 ex)有名作家がオススメする絵本紹介等 ②ex)実験大会やスポーツ選手を読んでトークショーやどんなことをやっていたか等 ・ 絵や言葉ありきのアトラクション ・ 大人も子どもも楽しめる体験型ゲーム ・ 様々な趣味に対応 ・ 体験会 ・ 簡単な サンドイッチ クッキー レシピ見ながら体験で作る ・ リサイクル ジャンルごとに配布日を作る ・ リサイクル ひとつのイベントとし他の色いんな催しと一緒に名物イベントに！ ・ リサイクル 市民団体をお願いする ・ 文化交流
	図書館見学	・ 保育所、幼稚園、小学校の図書館見学。→本の探し方、調べ方等も司書が案内 →小さな子どもたちにも本に親しみを持ってもらえる
運営	職員	・ 専門性を持ったプロのスタッフ ・ カッコイイ話題になるような制服？コスプレ？
	開館時間	・ 夜遅くまでの特別な日があっても良いかも
	利用規則	・ ストレスフリー「静かにしなさい！」と言われなくてもよい場所に… ・ 緩いルール 走って OK 騒いで OK

大分類	中分類	内容
運営	広報・利用促進	・ 商業的くらいの積極的な告知 PR・催し ・ また図書館に来たくなる工夫やシステム、ポイント等？ ・ ポイントカード 子ども5回来たらとか 10 回 何かプレゼント！
	連携	・ コラボ ・ 地域の外国籍の方 ・ 地域のクラブチーム ・ 市内の団体と共に草木の手入れを行う ・ 読み聞かせ おはなし会ボランティア ・ 色んな特技の市民ワークショップ ・ エコに寄付(物品) ・ 様々なジャンルに詳しい人を獲得する ・ 色んなプロ(市民)からお仕事紹介 ・ 地域のパン屋 子ども食堂 NPO さん… ・ 100 円くらいのパン・駄菓子(おこづかいで買える)
		・ エンタメとのつながり ・ 今、世間で流行っているものと、図書館のつながりを考えると意外な人が興味を持ちそう ・ グローバル 国内はもちろん国外の図書館との連携 ・ 分室の充実

(2) 高校生

6名1組でワークを行い、ティーンズから見た図書館の活性化や利便性について活発な意見交換が行われ、多くのアイデアが出されました。意見を施設、資料、サービス、運営、その他に大別し集約すると、施設面では、学習スペース、飲食・休憩スペース等だけでなく、市民が情報発信できる展示スペースの設置の提案がありました。資料面では、児童資料として喋る絵本、飛び出す絵本、色んな絵本、地域資料として有志の同人誌等の収集があげられ、多様な資料が求められています。サービス面では、宿題の相談、学校同士の仲を深めるイベント等があげられ、人の交流のニーズがありました。運営やその他では、グッズの作成や返却ボックスの設置があげられました。

- 子育て中の母親が本を読んだり憩いに来たりした時に、子どものことを忘れて読書に没頭できるよう、子どもが遊べたり一緒に遊べるスペースや、喋る絵本や飛び出す絵本などがあつたりしたら小学生は興味が沸く。
- 絵本・本や本に関係するグッズ、例えば葉を作ったり、ミニ紙芝居を作ったり、キーホルダーを作ったりすることも、親近感が沸く。
- 市民が行きたくなり、使いやすいことが重要で、目の不自由な人のための点字本や新聞ニュース、小中高で導入されているものを図書館でもやっても良い。読み聞かせは子ども向けが多いが、大人向けの羅生門の読み聞かせなどがあっても良い。
- 綾瀬の図書館は広い図書館にして、詩に関する本を増やしたり、小中学校のクラフト部が作った作品を飾る。
- サービスに関しては、まずドリンクバーを設置してほしい。おじいちゃんおばあちゃんは図書館に行くのが大変なので、読みたい本をスマホで読んだり、はがきとかで予約ができるサービスがほしい。スマホで予約するためにはフリーWiFiもほしい。
- 高校生に限らず小中学生もバイト体験がしたいのではとの意見が出て、本の整理やおすすめの本のポップ作成、読み聞かせ体験ができると良い。
- 全小中学校が関われるようなイベントをみんなで考えるアルバイトも面白い。小中学生にはバイト代は払えないのでお菓子などがあれば良い。
- 小学生におすすめの本をおじいちゃん、おばあちゃんが考えて投書箱にいれてもらい、その仕分け作業を高校生がやるのも面白い。高校生のバイトとして、小中学生の宿題の相談を教えることも可能。
- 単純な希望としては、落語など文化的なことをやってほしいとの意見があり、落語の本があれば、それを高校生が見て練習して実演するとか、司書さんたちがイベントの劇をやれば子どもたちが楽しめ、その間にお母さんたちは本を読める。
- 子どもは目の前のことに集中できると思うので、たとえば塗り絵に夢中になっている間にお母さんは本を読み、塗り絵が終わった子どもがママにできたよって言ったらすごくよいと思う。もっと見たいと言って塗り絵に集中させられれば、お母さんはゆっくり時間が取れる。
- 綾瀬市は基地があり外国人の方が多いので、外国の本を置いたり、外国人と話し合う機会や交流の場があったら良い。外国人の方は異国の地から日本にやってくるので、交流することにより、ご近所さんのふれあいにつながれば、素敵な綾瀬市になるんじゃないかと思う。



高校生が付箋貼付した模造紙

表4 意見集約

分類		内容
施設	規模	広いゆとりのある図書館
	児童コーナー	子どもが遊べるスペース／読み聞かせスペース(大人向けもある)
	学習スペース	勉強や相談ができるスペース／個人学習席以外にも多人数の席
	飲食スペース	カフェ／食堂／移動販売／ドリンクバー
	その他	学校のスペース／本を自作・展示できるスペース／パソコン／タブレット
資料	児童資料	紙芝居、巻物／喋る絵本、飛び出す絵本、色んな絵本
	地域資料	市で作った(歴史の)本／文集をつくって出す／有志の同人誌
	外国語資料	外国の本／英訳まんが
	その他	脚本／アニメ化・映画化された本／洋楽 CD・レコード／検定を勉強するための本／詩・絵／新聞／点字／まんが／市民のいらなくなった本
サービス	レファレンス	宿題相談／進路相談
	展示	〇〇から〇〇へおすすめの本(高校生から小学生など)／色々な人にPOPを書いてもらう／おすすめ本を目立たせる／CDをもっと目立たせる
	予約	スマホ、電話、ハガキで予約
	行事・イベント	学校同士のイベント／落語／塗り絵／高校生の読み聞かせ／創作講座 外国人と話そうの会
運営	連携	図書館司書の仕事についての講座・実習
	グッズ	オリジナルグッズ(葉、ミニ紙芝居、キーホルダー、本のカバー)作成
その他	—	移動図書館／中高生向けの図書室／返却ポスト

表5 意見一覧

大分類	中分類	内容
施設	規模	・ 文化会館のホールもくっつけて広い図書館に
	児童コーナー	・ お子様が遊べるスペース ・ 読み聞かせスペース(大人向けもある)
	学習スペース	・ 勉強や相談ができるスペース ・ 個人学習席以外にも多人数の席を用意する
	飲食・休憩スペース	・ ロビーにカフェとか 食堂とか ・ カフェスペース(本が汚れてしまうのでネットカフェ、漫画喫茶程度のサービス) ・ 移動販売 ソフトクリーム クレープ たい焼き ・ ドリンクバー
	展示スペース	・ 学校についてのスペース 例:高校ごとの展示置き場(高校ごとの部活動作品などの展示) ・ 絵本、本などを自作できて展示できるスペース
	設備等	・ Wi-Fi や電源が使える ・ インターネットで調べられるパソコン タブレット
資料	児童資料	・ 紙芝居、巻物が借りられる ・ 喋る絵本、飛び出す絵本、色んな絵本があるスペース
	地域資料	・ 市で作った(歴史の)本をもっと増やしてほしい ・ みんなで文集を作って出す!!(希望) ・ 有志の同人誌を作る
	外国語資料	・ 外国の本を用意 日本の漫画だけで英訳のものとか
	原作本資料	・ 脚本 映画とか ・ アニメ化 映画化された本のスペース
	視聴覚資料	・ CD に何の曲が入っているか表示してほしい ・ バリエーション多く 洋楽も特に! CD ・ CD 貸出(まんべんなくあると良き。) ・ レコード 聴く機械があったら嬉しい
	その他	・ 検定を勉強するための本 ・ 絵・詩 みつを ・ 新聞 ・ 点字スペース ・ 漫画スペース ・ 市民のいらなくなった本を引き取って…
サービス	レファレンス	・ 宿題の相談 ・ 進路相談
	展示	・ ○○～○○へおすすめの本 例えば高校生から小学生等選び提供する ・ 色々な人に POP やその本につけ足しの情報を書いてもらったり、自分が持っている知識を書いてもらいたい ・ おすすめの本を目立たせる ・ CD をもっと目立たせて全世代に聴いてもらう!!→例 館内 BGM→○の曲だ→話ができる!→世代、友人話
	予約	・ スマホ、電話、ハガキで予約ができる
	行事・イベント	・ 学校同士の仲を深めるイベントを図書館で! ・ 落語やってほしい ・ 塗り絵 ・ 高校生読み聞かせ ・ 創作したい人のための講座 ・ 外国人と話そうの会 外国人⇄日本人 例(英語)教え合う感じ

大分類	中分類	内容
運営	連携	・ バイトについて 本の整理 POP 作り 読み聞かせ 図書館での企画を考える ・ 図書館でのバイトを体験する ・ 中・高校生でもできるバイト体験 ・ 図書館司書の仕事についての講座、実習
	グッズ	・ グッズあったら面白い ・ グッズ→栞作り、ミニ紙芝居、キーホルダー ・ 本のカバー 栞を作成する
その他	移動図書館	・ 移動図書室(小中高でやる) ・ 移動図書館(車などで)
	サービスポイント	・ 小園地域に図書室がほしい(中高生向け) ・ 返却ボックス 特に城山中学校範囲! 行く時間ない人向け

資料4.1 用語解説

NO.	用語	解説	出典・引用元	ページ
1	ICT	「情報通信技術」の略であり、IT(Information Technology)とほぼ同義の意味を持つが、コンピューター関連の技術をIT、コンピューター技術の活用に着目する場合をICTと、区別して用いる場合もある	知恵蔵	7,19,45
2	IC タグ	図書館の蔵書に登録番号等が記録されているICタグ(半導体集積回路)を貼り付けることで、複数冊を同時に貸出・返却処理ができ、貸出・返却や蔵書点検等の処理の迅速化につながるため、導入する図書館が近年増えている	文部科学省「無線 IC タグの活用による図書館サービス」	7,11,19
3	開架	図書館で、利用者が直接に書架から資料を取り出すことができる方式	デジタル大辞泉	9,10,13,17,18,35,42,43,45,49,50,51,52,54,62
4	回遊性	買い物客が、店舗内や商店街を歩き回ること。本構想では、何らかの目的で中心市街地を訪れた市民が、同エリア内の他施設にも足を運び、にぎわいを形成することをイメージしている		22,29,54
5	共創	異なる立場や業種の人・団体が協力して、新たな商品・サービスや価値観などをつくり出すこと		19,43
6	指定管理者制度	地方公共団体が設置する文化施設などの公の施設の管理、運営を株式会社や NPO を含む民間事業者に行わせることができる制度	図書館情報学用語辞典 第5版	8,16
7	書架	主として図書を収納、排列するための家具。書棚、本棚と同義。一般に幅約 90cm の棚板により何段かに仕切られているものを一つの単位とする		9,20,23,24
8	除籍	図書館で、所在不明であったり、破損、汚損があったり、あるいは不要となった資料を原簿から削除すること		13,49
9	ゾーニング	都市計画や建築設計において、地域や建築物を用途・機能ごとに分けし、相互の関係を考慮して位置関係を決めること	ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典	34,39,47,113,114
10	多文化共生	国籍や民族などの異なる人々が、文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、共に生きていくこと	デジタル大辞泉	28,38,113
11	図書館の設置及び運営上の望ましい基準(平成24年文部科学省告示172号)	「図書館法」第7条の2に基づく図書館の健全な発展に資することを目的とした、図書館の設置及び運営上の望ましい基準で、2012(平成24)年に文部科学大臣が告示した	図書館情報学用語辞典 第5版	17,49
12	閉架	図書館で、利用者が読みたい本や資料を請求して書庫から取り出してもらう方式	デジタル大辞泉	13,49,50,52
13	ボードゲーム	ボード(盤)上で駒や札を動かすなどして競う遊技の総称。将棋、チェス、碁、リバーシ(オセロゲーム)をはじめ、サイコロを使って駒を進めながら遊ぶ双六(すごろく)なども含まれる	日本大百科全書(ニッポニカ)	26,46

NO.	用語	解説	出典・引用元	ページ
14	レファレンス	何らかの情報あるいは資料を求めている図書館利用者に対して、図書館員が仲介的立場から、求められている情報あるいは資料を提供ないし提示することによって援助すること、およびそれにかかわる諸業務	図書館情報学用語辞典 第5版	7,14,15,34,39,40,41,46,113,116,119,120

資料4.2 綾瀬市の図書館の歴史に関する参考文献

- ・綾瀬市編『綾瀬市史 3 資料編近代』1995年
- ・綾瀬市教育委員会教育研究所編『綾瀬市教育史:年表編・資料編 1』1996年
- ・綾瀬市教育研究所編『綾瀬の教育よみもの三十撰:文明開化から平和の発信地まで』1998年
- ・綾瀬小学校創立八十周年記念事業実行委員会編『綾瀬小学校八十年史』1980年

発行年月 令和7年1月策定

編 集 綾瀬市市民環境部生涯学習課

〒252-1192 綾瀬市早川550番地

電話 0467-77-1111（代表）

